

リアホナ

**モンソン大管長——
良い働きをしながら
巡回する, 14ページ**

あなたの思いやりは、
家庭訪問に重要です, 28ページ

福音を分かち合ったときの
わたしの最初の成功, 58ページ

友達を作るチャンスを見逃す、
60ページ





ロンドン、ウオレス・コレクショナル理髮会／ニューヨーク・芸術ソースの厚意により掲載。描写は禁じられています

「イザヤ」アーネスト・メイソニア画

七十人のランドール・K・ベネット長老は、
使徒や預言者が証を述べたりほかの使徒や預言者の言葉を述べたりするときは
特別な注意を払うようにと教えています（今月号の42ページ参照）。

ニーファイ（1ニーファイ15：20参照）、ヤコブ（2ニーファイ6：4参照）、アビナダイ（モーサヤ書14章参照）を含む、
多くの現代と古代の預言者が、イザヤの言葉が真実であることを証してきました。

しかしイザヤの言葉には、さらにすばらしい支持者がいます。

主御自身が、正しいニーファイ人たちに、預言者イザヤについて語られました。「イザヤの言葉はまことに偉大だからである。」

主は「これらのことを熱心に調べなさい」と諭し、こう強調されました。

「これらのことを熱心に調べるようにという戒めを、あなたがたに与える。」（3ニーファイ23：1）



リアホナ 2012年 3月号

メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
なぜ預言者が必要なのでしょうか
ディーター・F・ワークトドルフ管長
- 7 家庭訪問メッセージ——
わたしの王国の娘

特集

- 14 ^{きょう}今日われ善きことせしか
トーマス・S・
モンソン大管長の半生
ハイディ・S・スウィントン
預言者の人生と教えをかいま見る

表紙

表紙——写真/トム・スマート、
Deseret News の厚意により掲載
裏表紙——写真/末日聖徒記録保管課の
厚意により掲載

20 福音の文化

ダリン・H・オックス長老
教会は、福音の文化に反する個人
や家族の伝統や行いはどのよう
なものであっても捨てるように教
えています。

28 家庭訪問——

教え導くことの力を理解する
中央扶助協会会長
わたしたちはより高い道を行き、
家庭訪問を通して弟子としての特
質を示すことができます。

33 わたしの王国の娘——
変化をもたらす

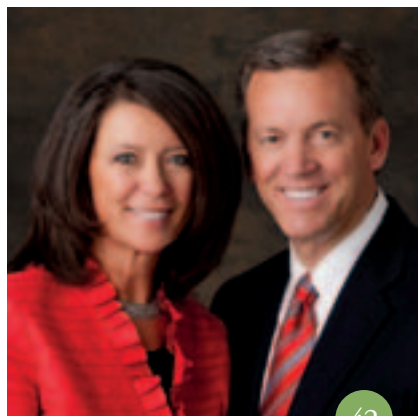
9人の末日聖徒が、この本がどの
ように自分たちの生活を祝福した
かについて語っています。

34 全世界で索引作成を

ヘザー・F・クリステンセン
あなたが行うファミリーサーチの
索引作成は、ほかの人が行うオン
ラインでの家族歴史検索の助け
になります。

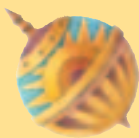
シリーズ

- 8 10月の大会ノート
- 10 わたしたちの家庭、
わたしたちの家族——
総大会に備える
マーク・A・バリオヌエボ
- 12 わたしたちが信じていること——
指導者を支持する
- 38 末日聖徒の声
- 74 教会のニュース
- 79 家庭の夕べのためのアイデア
- 80 また会う日まで——
たゆまず前進する
ミッシェル・グエッラ



42

42 わたしたちに対する指導者の言葉
—— 預言者に従う
ランドール・K・ベネット長老



こんげつごう なか かく
今月号の中に隠れている
リアホナを捜しましょう。
ヒント—— ベンソンに
聞いてみましょう。



50

- 46** そここが知りたい
- 48** ポスター——
あなたの神の宮を
大切にしてください
- 49** 教えに教え—— アモス 3:7
- 50** アレックスの偉大な模範
マイケル・R・モーリス
アレックス・エスコバルの模範
は、永遠に続く素晴らしい影響を
家族に与えました。
- 52** どのようにすれば
神殿参入を最も生かすことが
できるでしょうか
リチャード・G・スコット長老
神殿での礼拝をさらに価値ある
ものにする簡単な勧め
- 54** 独りでも孤独ではない
ジョシュア・J・パーキー
エクアドルのファン・カブレラは、
誘惑と戦う強さを見いだしました。
- 56** 日々^{あかし}の証
ステファニー・グドムンドソン
劇的な霊的な経験さえあれば、自
分には証があることが分かるのに。
- 57** わたしたちのスペース
- 58** 真の喜び
メリッサ・ルイス
福音を分かち合ったことは、アン
ジーの助けになりました—— そ
してわたしにも。



63

- 60** 最高^{さいこう}のサッカー選手^{せんしゅ}
アンジー・ベルイストローム・ミラー
ナンと友達^{ともだち}になったら、わたしは
みんなに愛^{あい}だと思^{おも}われます。
- 62** わたしたちのページ
- 63** 光^{ひかり}を えらぶ
ジェリット・W・ゴングちょうろう
ふくいんを、とおして^{ひかり} 光を ど
のように みいだすことが できる
でしょうか。
- 64** しょうきょうかいを かていても
—— 生^いける よげんしゃは
わたしが せいぎを えらぶのを
たすけてくれます
- 66** 今^{いま}すぐ決意^{けつい}する
トーマス・S・モンソン^{だいかんちょう}大管長
日々^{ひび}の決断^{けつだん}は、将来^{しょうらい}をどのように
変^かえることができるでしょうか。
- 68** 正直^{しょうじき}について 学^{まな}んだ アブー
アン・P・スミス
アブーは とても ビスケットが 食^た
べたかったのですが、それは ほ
かの 人^{ひと}の もの でした。
- 69** 色^{いろ}を めりましょう
- 70** ちいさな おともだちへ
- 81** モルモン書^{しょ}に 出^でてくる
じんぶつなどの 絵^え

リアホナ 2012年3月号
第14巻3号(10483300)

末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌(日本語版)

大管長会:トーマス・S・モンソン, ヘンリー・B・アイリング, ディーター・F・ウーグトルフ

十二使徒定員会:ボイド・K・パッカー, L・トム・ベリー, ラッセル・M・ネルソン, ダリン・H・オークス, M・ラッセル・バラード, リチャード・G・スコット, ロバート・D・ヘイルズ, ジェフリー・R・ホランド, デビッド・A・ベドナー, クエンティン・L・クック, D・トッド・クリストファーソン, ニール・L・アンダーセン

編集長:ポール・B・バイパー

顧問:キース・R・エドワーズ, クリストフェル・ゴールデン・ジュニア, ペア・G・マーム

実務運営ディレクター:デビッド・L・フリッシュニク

編集ディレクター:ビンセント・A・ボーン

グラフィックスディレクター:アラン・R・ロイボーク

編集主幹:R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐:ジェニファー・L・グリーンウッド, アダム・C・オルソン

共同編集者:スーザン・バレット, ライアン・カー

編集スタッフ:ブリタニー・ピーターズ, デビッド・A・エドワーズ, マシュー・D・フリットン, ラリーン・ポーター, ガント, キャリー・カステン, ジェニファー・マディー, リア・マクラナハン, メリッサ・メリル, マイケル・R・モリス, サリー・J・オデカーク, ジョシュア・J・パーキー, チャド・E・フレス, ジョアン・ビンボロー, ポール・バンデンバーク, マリッサ・A・ウィティンソン, メリッサ・ゼンテノ

実務運営アートディレクター:J・スコット・クヌーセン

アートディレクター:スコット・バン・カンベン

制作主幹:ジェーン・アン・ピーターズ

主任デザイナー:C・キンボール・ボット, コリー・シンクレア, エリック・P・ジョンソン, スコット・M・ムーイ

制作スタッフ:コレット・ネベカー・オース, コニー・ポウソープ・ブリッジ, ハワード・G・ブラウン, ジュリー・バーデット, レジナルド・J・クリステンセン, ブライアン・W・ギューギ, キャスリーン・ハワード, デニス・カービー, ギニー・J・コルソン

製版:ジェフ・L・マーティン

印刷ディレクター:クレグ・K・セドウィック

配送ディレクター:エバン・ラーセン

日本語版翻訳課長代理:藤谷繁樹

●定期購読は、「[リアホナ]注文用紙」でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●[リアホナ]のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話:03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047 東京都港区南麻布5-10-30
電話 03-3440-2351

定価 年間予約/海外予約 830円(送料共)
普通号/大会号 120円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は、英語版ホームページ liahona.lds.org からお送りください。また、下記の連絡先でも受け付けています。

Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA
電子メール: liahona@ldschurch.org

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語, アルメニア語, ビスマラ語, ブルガリア語, カンボジア語, セブアノ語, 中国語, 中国語(簡体字), クロアチア語, チェコ語, デンマーク語, オランダ語, 英語, エストニア語, フィンランド語, フランス語, ドイツ語, キリジャ語, ハンガリー語, アイスランド語, インドネシア語, イタリア語, 日本語, キリバス語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語, マダガスカル語, マーシャル語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語, ポルトガル語, ルーマニア語, ロシア語, サモア語, スロベニア語, スペイン語, スウェーデン語, タガログ語, タヒチ語, タイ語, トンガ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2012 Intellectual Reserve, Inc. 著作権所有。印刷:日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用する場合は複製することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール——cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:

March 2012 Vol. 36 No. 3. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Poste Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

インターネットで得られる追加情報

Liahona.lds.org [英語]

成人

バリオヌエボ兄弟は通学の途中で総大会の説教を聞いています(10ページ参照)。大会説教音声版は conference.lds.org からダウンロードできます。

青少年

あなたのコンピューター技術を生かして、家族歴史の業を助けることができます。「全世界で索引作成を」34ページを参照し、indexing.familysearch.org にアクセスしてください。

子ども

来月には、そう大会があります!(64ページを見ましょう) conferencegames.lds.org (英語) にアクセスして、じゅんぴをしましょう。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

あかし証, 56, 58	聖文, 4, 57
家族, 20, 50	聖霊, 20, 42, 62, 70,
家族歴史, 34	72
家庭訪問, 28	選択の自由, 66
神の特質, 7, 20	総大会, 4, 8, 10, 12,
犠牲, 80	64, 69
悔い改め, 9, 46, 80	弟子, 7
結婚, 20	伝統, 20
支持する, 12	伝道活動, 40, 41, 50,
従順, 20, 42, 66	57, 58
什分の一, 20	肉体, 48
祝福, 8	標準, 54
正直, 68	奉仕, 14, 39
女性, 7	模範, 50
自立, 42	扶助協会, 28
親切, 60	モルモン書, 57
神殿活動, 38, 52, 57	預言者, 4, 14, 42, 49,
聖餐, 47	64, 73



あなたの言語で

www.languages.lds.org で、「リアホナ」や教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

大管長会第二顧問
 ディーター・F・
 ウークトドルフ管長



なぜ 預言者が必要 なのでしょうか

天の御父は御自分の子供たちを愛しておられるので、子供たちがこの世の生涯を指示や導きなしに歩むよう放置してはられません。天の御父の教えは、近所の書店で売っている廉価版の書物から学べるような、ありきたりで予想のつく平凡な教えではありません。日の栄えに属し、御自分の子供たちを愛しておられる、全知全能の御方の知恵なのです。その御言葉には最もすばらしい深遠な教え、すなわち、この生涯と来るべき世で幸福を得る鍵が含まれています。

天の御父はこの知恵を、御自分の僕である預言者を通じて地上の子供たちに明らかにされます(アモス3:7参照)。アダム時代から、神は神託を伝える者を任命して御自分の御心と勧告を人々に明らかにする務めを与え、彼らを通じて御自分の子供たちに語ってられました。預言者は靈感を受けた教師であり、常にイエス・キリストについて証する特別な証人です(教義と聖約107:23参照)。預言者はその時代の人々だけでなく、あらゆる時代の人々に向けて語ります。預言者の声は、神の子供たちに対する神の御心についての証として、何世紀にもわたってこたえ続けます。

今の時代は過去の時代と変わりません。主は現代の人々を、過去の時代の人々と同じように愛しておられます。イエス・キリストの福音の回復に関する栄えあるメッセージの一つは、神は今もなおその子供たちに語られるということです。神は天に隠れてはおられず、昔の時代になさったように



今日も語られるのです。

主が預言者に明らかにされる事柄の多くは、わたしたちが個人として、また社会として悲しみを受けることのないようにするためのものです。神が語られるとき、その目的は御自分の子供たちを教え、啓発し、精錬し、警告することです。天の御父の教えをないがしろにする個人や社会は、試練や苦痛や労苦を招く危険があります。

神は御自分のすべての子供たちを愛しておられます。だからこそ、預言者を通してわたしたちにこれほど熱心に訴えかけてくださるのです。わたしたちが自分の愛する人にとって最善のことを望むように、天の御父はわたしたちにとって最善のことを望んでおられます。だからこそ、神の教えはきわめて重要であり、時に緊急を要するものなのです。だからこそ、神は今日わたしたちを見捨てることなく、引き続き預言者を通じて御自

分の御心を明らかにしてくださるのです。わたしたちの運命とわたしたちの世界の運命とは、神がその子供たちに明らかにされた言葉をわたしたちが聞いて心に留めるかどうかにかかっています。

聖書、モルモン書、教義と聖約、高価な真珠には、神が人類に与えてくださったかけがえのない教えが記されています。さらに、主は御自分の僕を通してわたしたちに語り、次回の総大会においても再び語られるでしょう。

そのようなことがあり得るのだろうかと思問に思う人、「今日神がわたしたちに語られることなどあるのですか」と



尋ねるすべての人を、わたしは心から招きます。「きて見〔てくだ〕さい。」(ヨハネ1:46) 聖典に記されている神の言葉を読んでください。総大会で末日の預言者を通して与えられる神の声に進んで耳を傾けてください。心を込めて、来て、聞いて、見てください。「もしキリストを信じながら、誠心誠意〔求める〕ならば、神はこれが真実であることを、聖霊の力によってあなたがたに明らかにしてください」からです(モロナイ10:4)。この力によって、またこの力を通して、わたしはイエス・キリストが生きておられ、生ける預言者トーマス・S・モンソン大管長を通して御自分の教会を導いておられることを知っています。

兄弟姉妹の皆さん、神は確かに今日もわたしたちに語られます。そして御自分のすべての子供たちがその声に耳を傾け、その声を心に留めるように望んでおられます。わたしたちがそうするとき、主はこの世においても来るべき世にわたっても、わたしたちを大いに祝福し、支えてくださるでしょう。■

今日も語る預言者と使徒

預言者と使徒の神聖な業は決してやむことはありません。総大会の期間以外にも、大管長会と十二使徒定員会は絶えず世界の人々を教え導いています。LDS.orgの「Prophets and Apostles Speak Today」(今日も語る預言者と使徒)では、現在も続いているこれらの教会指導者たちの務めが、映像や写真、記事で紹介されています(幾つかの言語で利用が可能です)。

これらの映像や記事から、預言者と使徒の務めについて学んでください。救い主についての彼らの証^{あかし}を聞いたり読んだりしてください。ソルトレーク・シティーの教会本部であろうと、割り当てを受けて訪れた世界のどの場所であろうと、自分が証を述べる地の会員に向けて彼らが語った愛と希望のメッセージを視聴・閲覧してください。

「今日も語る預言者と使徒」について、詳しくは [lds.org/study/prophets-speak-today](https://www.lds.org/study/prophets-speak-today) をご覧ください。



この資料を学び、必要に応じて訪問先の姉妹と話し合ってください。
質問を使うことによって、訪問先の姉妹を強め、あなた自身の生活の中で扶助協会を生かすようにしてください。

わたしの王国の娘

わたしたちは天の御父の娘です。御父はわたしたちを御存じであり、わたしたちを愛し、わたしたちのために計画を用意してくださっています。その計画の一部には、わたしたちが悪ではなく善を選ぶことを学ぶために地上にやって来ることも含まれています。神の戒めを守ることを選ぶとき、わたしたちは神をあがめ、自分が神の娘であることを認めます。扶助協会は、この神からの受け継ぎをわたしたちが思い起こせるように助けてくれます。

扶助協会とその歴史は、わたしたちを強め、支えてくれます。中央扶助協会会長であるジュリー・B・ベック姉妹は次のように述べています。「神の娘として、皆さんは永遠の称号を受ける準備をしており、各自が女性としての個性、特質、責任を備えています。家族や地域社会、この教会、そして貴い救いの計画が成功するか否かは、皆さんの忠実さにかかっているのです。……〔天の御父〕は扶助協会が民を築き、神殿の祝福に備えさせるのを助けるように意図されていました。主が〔扶助協会〕を設立されたのは、娘たちを御自身の業に協力させ、王国を築いてシオンの家庭を強めるうえで娘たちの力を求めるためでした。」¹

天の御父はわたしたちが御父の王国を築く手伝いをするよう、わたしたちに特定の務めを与えておられます。また、この特定の務めを成し遂げるために必要な霊的な賜物を授けてくださっています。扶助協会を通して、わたしたちは自分の賜物を用いて家族を強め、困っている人を助け、イエス・キリストの弟子としての生き方を学ぶ機会を得ています。

大管長会第二顧問のディーター・F・



ウークトドルフ管長は、主の弟子となることについて次のように述べています。「忍耐強く弟子の道を歩むことにより、わたしたちの信仰の強さと、自分の意思ではなく神の御心^{みこころ}を喜んで受け入れる気持ちの深さを自分自身に示すのです。」²

自分が神の娘であることを覚え、主の弟子として生活するように努めましょう。そうするとき、わたしたちはこの地上に神の王国を築くのを手伝って、神のもとに帰るのにふさわしい者となるでしょう。

聖文から

ゼカリヤ 2:10; 教義と聖約 25:1, 10, 16; 138:38-39, 56; 「家族——世界への宣言」(『リアホナ』2010年11月号, 129)

何ができるでしょうか?

1. 担当の姉妹たちが神の娘として秘めている可能性を發揮できるように、どのような助けができるでしょうか。
2. 教義と聖約第25章で女性に与えられている勧告と警告を、自分の生活にどのように取り入れることができるでしょうか。

わたしたちの歴史から

1842年4月28日、預言者ジョセフ・スミスは扶助協会の姉妹たちに次のように述べました。「皆さんは神が植え付けられた思いやりの精神に従って行動できる状況に置かれてい〔ま〕す。……もし与えられている特権にふさわしく生きるなら、天使は皆さんの友とならずにはいられないでしょう。」³

第3代中央扶助協会会長であるジーナ・D・H・ヤング姉妹は、扶助協会には人のために奉仕し、個人が信仰を増し加えるのを助ける力があることを認めて、1893年に姉妹たちに次のように約束しています。「もし皆さんが自分自身の心を奥深く掘り下げてみるなら、主の御霊^{みたま}の助けによって、この業についての証^{あかし}という高価な真珠が見つかるでしょう。」⁴

注

1. ジュリー・B・ベック「『わたしの王国の娘』——扶助協会の歴史と業」『リアホナ』2010年11月号, 112, 114
2. ディーター・F・ウークトドルフ「キリストの弟子として歩む道」『リアホナ』2009年5月号, 76
3. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』452, 454
4. ジーナ・D・H・ヤング, “How I Gained My Testimony of the Truth,” *Young Woman's Journal*, 1893年4月号, 319

10月の大会ノート

「主なるわたしが語ったことは、わたしが語ったのであ[る。]……わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである。」(教義と聖約1:38)

2011年10月の総大会を研究する際に、このページ(および今後の「大会ノート」)を使って、生ける預言者と使徒の最近の教えを学び、生活に取り入れることができます。

あなたの**夢**は
かないます

大会で話された逸話

金色のチケット

「**義**」にかなった神権者と神殿で結婚して母となり妻となることを何よりも願っている女性がいました。そうなることを子供のころからずっと夢見てきました。自分はどんなにすばらしい母親、愛くるしい妻になるだろうか。彼女の夢の家庭には、愛と優しさが満ちています。とげとげしい言葉など決して聞くことはありません。料理を焦がすこともありません。子供たちは友達とぶらぶら過ごすことよりも、むしろ夜も週末もパパやママと一緒に過ごす方が好きなのです。

それがこの女性の金色のチケットでした。彼女にとって、自分の存在自体がそれだけにかかっていた。それこそが、世界中の何よりも欲しくてたまらないものだったのです。

しかしそれは実現しませんでした。そして時がたつにつれてこの女性は一人で悩むようになり、意地悪で怒りっぽくなっていきました。この義にかなった願いをなぜ神がかなえてくださらないのか理解できませんでした。

この女性は小学校の教師をしていました。一日中子供たちと一緒にいると、金色のチケットが現れないことをまざまざと思い知らされるのでした。さらに年月がたつとますます落胆し、内気になりました。人は彼女に近寄らなくなり、できるだけ避けようとします。うつぶんを晴らすために学校で子供たちに当たることもありました。……

この話で残念なのは、金色のチケットが手に入らないことを嘆くあまり、目の前にある祝福に気づかなかったことです。家庭に子供はいませんでした。教室では子供に囲まれていました。家庭を持つことはできませんでしたが、主は、ごく少数の人にしか許されない機会を彼女に与えておられました。教師として多くの子供と家族の人生に良い影響を与えるという機会です。

ここから学び取れる教訓は、途方もなく美しいバラを待ちわびて日々を送っていると、辺り一面に咲いている、美しくすばらしい、小さな忘れな草を見落としてしまうということです。」

大管長会第二顧問 ディーター・F・ワークトドルフ管長
「忘れな草」『リアホナ』2011年11月号, 121-122

考えるための質問——

- あなたの「金色のチケット」として、どのようなことがあるでしょうか。またそれは、すでに受けている祝福に気づくのをどのように妨げているでしょうか。
- あなたが人生で見落としている可能性がある「小さな忘れな草」は何でしょうか。

あなたの考えを日記に書くか、ほかの人と話し合ってみてください。

そのほかの資料:LDS.orgの“Study by Topic”(テーマ別に学ぶ)の“Gratitude”(感謝)[英語]。大管長会第二顧問ディーター・F・ワークトドルフ管長「幸福——わたしたちの受け継ぎ」『リアホナ』2008年11月号, 117-120

conference.lds.org で、総大会の説教を読んだり、見たり、聞いたりすることができます。

愛されている わたしたち

「わたしたち一人一人は、自分の理解や想像を超えて主に愛されているのです。互いにより優しく、また自分自身にも優しくありましょう。」

十二使徒定員会 ロバート・D・ヘイルズ長老
「主を待ち望む——みこころが行われますように」
『リアホナ』2011年11月号, 73

預言者の約束

「教会の福祉の教義と原則を研究したら、学んだことをあなたが管理する義務を負っている人々の必要に当てはめるように努めてください。つまりたいいの場合、その方法を自分で見いだしていかなければならないということです。……

……皆さんは自分の地域で、キリストの弟子たちがあらゆる神権時代に行ってきたことを行わなければなりません。すなわち、ともに話し合い、利用できるあらゆる手段を使い、聖霊の導きを求め、主に確認を求め、その後、袖をまくって仕事に取りかかるのです。

もしこの規範に従うなら、主の方法でだれを、何について、いつ、どこで助ければよいか具体的な導きを受けられると約束します。」

大管長会第二顧問 ディーター・F・ワークトドルフ管長
「主の道にかないて助けをなす」
『リアホナ』2011年11月号, 55

あなたへの勧め

「わたしは……勧めます。
だれに——教会の若い人々に
何を——エリヤの霊について学び、経験すること
どのように——学び、先祖を探し出し、亡くなった
皆さんの親族のために主の宮で身代わりのバプテスマ
を行う準備をするように。」
十二使徒定員会 デビッド・A・ベドナー長老
「子孫の心は向かうであろう」『リアホナ』2011年11月号, 26

学習コーナー

共通する話の引用——悔い改め

大会で複数の話者が同じ原則について教えることがよくあります。ここでは4人の話者が悔い改めについて語ったことを採り上げます。大会の話者を研究する際に、ほかにも共通する話を探すようにしてください。

- 「皆さんの中に、何かにつまずいている人がいるなら、たとえそれが何であれ、戻って来る道があることを、はっきりと理解してほしいと思います。その道は悔い改めです。」¹——トーマス・S・モンソン大管長
- 「皆さんは不安に駆られ、大なり小なり過ちを犯した自分は救いにふさわしくないと思うかもしれません。自分はもう駄目だと思うのです。でも、そのようなことは決してないのです。痛みを癒せるのは悔い改めだけです。」²——十二使徒定員会 ボイド・K・パッカー会長
- 「皆さんがどんな人であろうと、どんな罪を犯してしようと、赦しを受けることができます。……これは『赦しの奇跡』であり、主イエス・キリストの贖罪の奇跡です。」³——十二使徒定員会 ジェフリー・R・ホランド長老
- 「悔い改めを通してのみイエス・キリストの贖いの犠牲と救いにあずかることができます。悔い改めは神の賜物であり、ほほえみをもって話すべき事柄なのです。」⁴——十二使徒定員会 ジェフリー・R・ホランド長老

注

1. トーマス・S・モンソン「一人でも気高く立ち」『リアホナ』2011年11月号, 62
2. ボイド・K・パッカー「若人への助言」『リアホナ』2011年11月号, 18
3. ジェフリー・R・ホランド「戦い止むまで」『リアホナ』2011年11月号, 45
4. D・トッド・クリストファーソン「悔い改めという神の賜物」『リアホナ』2011年11月号, 38

総大会に備える

わたしたちの家族は、総大会の内容を研究することによって、
日々の生活に御^み霊^{たま}を招くことができることを学びました。

マーク・A・バリオヌエボ

わ たしたち家族は、次の総大会に備えるための最も良い方法は、前の総大会で受けた勧告を繰り返し研究して実践することだと分かりました。妻は時間があるとき、『リアホナ』の大会号を読むようにしています。そして、その中で学んだ教えを実践しようと努力しています。例えば、デビッド・A・ベドナー長老の、祈りの質を高めるという説教を実践することで、わんぱくな二人の息子たちを育てるうえでさらに熱心に慈愛を願い求めるようになったと教えてくれました。¹

わたしもまた、前の大会をもう一度研究するようにしています。毎朝学校まで歩きながら、一つの説教を聞き、思い巡らし、祈り、預言者の教えがわたしの心と思いに刻まれるようにしています。これから始まる一日について、また夫や父親、末日聖徒、学生、市民としての自分の責任について、天の御父と話しています。

ある朝、L・トム・ペリー長老の「簡素に行わせなさい」という説教が、特に自分の状況に当てはまると感じました。² ペリー長老は、マサチューセッツ州ウォルデンでヘンリー・デビッド・ソローが教えた原則を応用して生活を簡素にし、霊の燃料を蓄え、世のストレスから解放されるように言いました。わたしが学校に通っているため、家族で出かけることはまれで、貴重な機会です。しかし、

ペリー長老の説教を聞く前のある夏の日、わたしたちはウォルデン沼を訪れ、復元されたソローの小屋で過ごし、物思いにふけることができました。ウォルデン沼の中を歩いたり、水辺で砂の城を作ったりして、その午後の時間を存分に楽しみました。家に戻ってから、家族で楽しんだ神の創造物を天の御父に感謝しました。

数か月後、雪で覆われた歩道を四苦八苦しなから歩いているとき、楽しかったあの夏の日を思い出しました。その経験とペリー長老のメッセージのおかげで、わたしは、家族とともに時間を過ごすことが、計画的に福音を中心とした生活を送るうえで決して欠かせないことだと、さらにはっきりと分かりました。

家族それぞれが説教を聞くのに加えて、日曜日の朝は教会に行く準備をしながら、家族全員でパソコンから大会説教を聞きます。あるとき妻とわたしは、4歳の息子が弟に、トーマス・S・モンソン大管長のお話が聞きたいから静かにしてほしいと言っている光景を目にしました。

現代の預言者の口を通して語られた救い主の教えは、わたしたち家族にとって祝福です。預言者、聖見者、啓示者の言葉を日々の生活の中で聞いて実践しようと努力したことで、常に聖霊の導きを受けられるようになりました。賛美歌にあるように、わたしたちは心から「感謝を神にささげん、預言者



の導き」と歌います。³

妻とわたしは、総大会で与えられた勧告を頻繁に研究することにより、次の総大会までに主の最新の教えをよりしっかりと理解することができました。わたしたちは霊的に強化され、主の僕しもべである預言者を通して主から頂く最新

の教えを受ける準備がさらによくできます。■

注

1. デビッド・A・ベドナー「常に祈りなさい」『リアホナ』2008年11月号、41-44 参照
2. L・トム・ベリー「簡素に行わせなさい」『リアホナ』2008年11月号、7-10 参照
3. 「感謝を神に捧げん」『賛美歌』11番

大会に焦点を当てる

前回の大会説教を研究することに加えて、最近開かれた大会から学ぶために、以下を行ってもよいでしょう。

- 話者の言葉を通して祈りの答えを受けられるように祈り、断食する。
- 特に尋ね求めたいことを心に留めながら、総大会に臨む。
- 総大会の説教を聞くことに集中できるように家事や買い物、そのほかの用事を済ませておく。
- 靈感を受ける準備ができるように大会前の数日は十分に睡眠を取る。
- 受けた靈感や促し、考えを書き留める。

これについて、さらに詳しく知るために

DS.org で、以下の記事が閲覧できます。

1. ポール・V・ジョンソン「総大会の祝福」『リアホナ』2005年11月号、50-52
2. “Preparing Our Children for General Conference,” *Ensign*, 2009年3月号、23-27.

指導者

を支持する

末日聖徒は、イエス・キリスト御自身が末日聖徒イエス・キリスト教会の頭であらると信じています。主は、御自分の教会を導くために、靈感を通して預言者や使徒を召されます。主は預言者や使徒に対して、七十人など、教会で奉仕するそのほかの人々を召す権能をお与えになりました。そして使徒や七十人はステーク会長を召し、ステーク会長はビショップを召し、ビショップはワードにおいて様々な責任を果たすよう会員を召します。このようにして、教会全体から各地域の集会所に至るまで、あらゆるレベルの教会の召しが、神権の権能と啓示によって導かれています。

これらの人々が召しを受けるに当たり、わたしたちには彼らを支持する機会があります。支持するとは、彼らを支え、助け、彼らのために祈ることを意味します。総大会やステーク大会、ワード大会、あるいは聖餐会せいさんにおいて、彼らの名前が読み上げられるとき、わたしたちは右手を挙げて、彼らを喜んで支持するという意志を表します。挙手は、わたしたち自身と彼らと主に対して、彼らを支持することを示すしるしです。

だれかを支持するために挙手することは、投票によってその人を責任に就かせることとは異なります。その人

は、召しを与える神権の権能を持つ者により、すでに召されているのです。支持の挙手は、わたしたちが支持する神権指導者を通してその人が神によって召されていることを認め、信頼を示すことを意味しています。

わたしたちは次のような方法で、中央幹部や地元の指導者や役員を支持することができます。

- 彼らのために信仰を表し、祈る。
- 彼らの勧告に従う。
- 彼らからの依頼を受けるとき、助ける。
- 召しを与えられたときは、それを受ける。

指導者を支持することは、わたしたちが善意、信仰、連帯感を抱いていることを表します。■

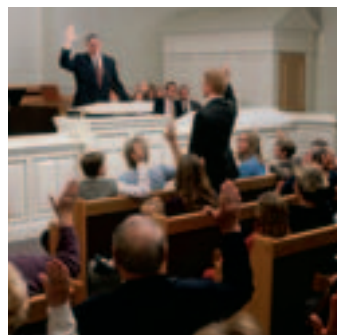


下—写真/ジョン・ルーク。右—写真/レスリー・ニルソン
フットイラスト/レイ・ジョンソン/レイク・タイムズ
ウエルデン・C・ファーターセン

3. 指導者の勧告に従うことによって、彼らを支持します。



2. 挙手によって、わたしたちに奉仕するよう召しを受けている地元の指導者や会員を支持するという意志を示すことができます。



1. わたしたちは教会の中央幹部を支持します。



「皆さんは、挙手によって、主と互いに対して交わした約束を守り、これら様々な組織の……すべての役員を支持し、……彼らを助け、彼らのためになることを行い、彼らに恵みをもたらし、彼らが携わっている良い業を進めるよう励ますことでしょう。」

ジョセフ・F・スミス大管長
(1838 - 1918 年)
『歴代大管長の教え——
ジョセフ・F・スミス』218



4. わたしたちは召しを受け入れることによって指導者を支持します。なぜなら、召しは「権能を持つ者」によって(信仰箇条1:5)、与えられるからです。

5. わたしたちは指導者のために祈ることによって、彼らを支持します(教義と聖約107:22 参照)。

詳しくは、『歴代大管長——ジョセフ・F・スミス』第24章；『歴代大管長——ジョージ・アルバート・スミス』第6章を参照。



右—写真／トム・クワート スチュアート・シモンズ、ゲリー・アバント、DESBERT NEWSの巻にの掲載。総大会の写真／クリグ、タイムズ
左—写真／D'S 教団誌「福音の厚意」にの掲載

きょう 今日われ 善きことせしか

トーマス・S・モンソン大管長の半生

ハイディ・S・スウィントン

2008年6月18日のことです。当時わたしは、イングランド・ロンドン南伝道部の会長だった夫とともに奉仕していました。電話が鳴ったので出ると、トーマス・S・モンソン大管長からでした。大管長は持ち前の気さくな調子で、こう話しかけてきました。「伝道部の様子はいかがですか。ご家族はいかがですか。古き良きイングランドはいかがですか。」そして、一息置くとこう言ったのです。「妻のフランシスとも話し、わたしも祈ってきたのですが、わたしの伝記を書いていただけないでしょうか。」

言うまでもなく、わたしは光栄に思うと同時に責任のあまりの重さに圧倒されました。すると大管長は、翌朝から書き始めれば、夫が任期を終えて国に帰るまでに半分書き終えることができると言います。3年間の任期が終わるまで、当時あと1年ありました。

モンソン大管長は、「主から召される人は、主によって適格な者とされる」¹と教えています。わたしはこの約束に感謝するようになりました。

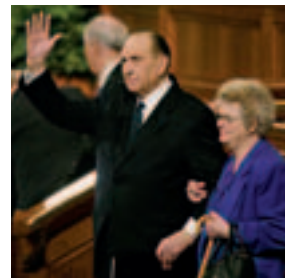
預言者の伝記はどうやって書くのでしょうか。それは、パソコンに向かうことからではなく、ひざまずいて祈ることから始まります。

初期の段階で分かったのは、日付や時期、場所、旅の記録を並べたような典型的な伝記にはならないだろうということでした。世界ができる前から備えられ、「この末日にわたしたちを導くために」神に召された人物の伝記です。² へりくだる思いがしたというのがわたしの気持ちを表現する最適な言葉であり、身のすくむ

ような、難しい、骨の折れるといった言葉がそれに続きます。

主は言われました。「わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである。」(教義と聖約1:38) トーマス・S・モンソンは1963年に使徒に召されてから、預言者を通して語られる主の言葉をずっと聞いてきたのですから、伝記は彼が使徒に召されたところから始めました。モンソン大管長が様々な状況で語った何百という言葉の数か月かけて読みました。この教会のすべての大管長の伝記と、多くの著名な宗教指導者の伝記を読みました。モンソン大管長の祖先が暮らしていたスコットランドやスウェーデン、イングランドにおける初期の教会について調べ、少年時代に多大な影響を与えた大恐慌や第二次世界大戦、ドイツが東西に分かれていた大戦後の状況についても調べました(モンソン大管長は、教会の指導者としてこの地域を20年間管轄していました)。モンソン大管長が1985年に家族のためだけに書いた自伝を読み、次に、47年間にわたってつけてきた自身の日記を読みました。彼とともに働いた世界各地の教会指導者や、彼の教えに深く感銘を受けた教会員たちから聞き取り調査もしました。親しい友人であり歴史学者であるトリシア・H・ストーカーと契約して調査を手伝ってもらいました。彼女は『歴代大管長の教え』の数々の執筆委員会で働いてきており、預言者の生涯については調査方法をよく理解しています。

わたしはイングランドにいたころは毎月モン



左——
1967年、教会執務ビル玄関の階段を上るモンソン大管長(当時はモンソン長老)。
上——写真上から/
2011年、執務室にて。
2002年、ブリガムヤング大学のジョセフ・F・スミスビルの継入れ式にて
M・ラッセル・バラード長老と。
2010年、ハワイ州ライエ神殿の再奉獻式にて。
2008年4月の総大会の後、妻のフランシス姉妹と。



上 —
1960年代、モンソン大管長の肖像写真。
中央 —
ドイツにて、会員や宣教師と一緒に。
下 — 左から/
第6・第7ワードのビショップとして
二人の顧問と一緒に。
1965年、トンガ伝道部訪問の際に
ボーイスカウトと話すモンソン長老。

ソン大管長とテレビ電話で話し、ユタ州に戻ってからは14か月にわたって大管長執務室で働いているときに直接話を聞きました。いつでも温かみを感じ、まるで食卓を囲んで座っているかのような感じでした。大管長は子供時代や家族について、またデビッド・O・マッケイ大管長（1873 - 1970年）から召しを受けたときのことについて、また少し名前を挙げると、J・ルーベン・クラーク・ジュニア管長（1871 - 1961年）、ハロルド・B・リー大管長（1899 - 1973年）、マーク・E・ピーターセン長老（1900 - 1984年）のような良き指導者からどんな影響を受けてきたかについて話してくれました。

大管長は、キリストのような生き方を家庭で学びました。家庭では、キリストの純粋な愛である慈愛や憐れみ、ほかの人の生活を高め、祝福したいという望みを持つことが当たり前でした。そして両親は、モンソン少年に聖文を読み聞かせはしませんでした。聖文の教えを実践していました。

個人に対する奉仕へのこだわりは、大管長が好んで「線路わき」と呼ぶソルトレーク・シティー西部で育った大恐慌の初期のころにさかのぼります。物質的なことを言えば、近所の人も友達もほとんど何も持っていませんでした。しかし、隣人がいて友達がいるだけで、お互いに十分でした。大好きなおじたちを含めて、親しい人の多くは教会員ではありませんでした。しかし、教会に入っているかどうかは障害になることはなく、大管長はすべての人を愛しました。両親はだれに対しても心を開きました。モンソン大管長は、この原点を離れたことはありません。

大管長は、会う人すべてを大切に、彼らの生活や心配事や問題に関心を持つ、たぐいまれな人物です。外国から来た要人にも、夜に自分の机をふいてくれる人にも、同じような心配りをするのです。明らかに、モンソン大管長の偉大なところは、だれとでもつきあうことができ、だれと会ってもその人から何かを学び取ることができるということです。

モンソン大管長が言うように、組織がその長について行く影のようなものだとするならば、³一人一人を元気づけ、励まし、引きつけ、仲間に入れ、助けようという望みを持つことは、わたしたちに下された至上命令です。このような生き方は、「神が共におられるので、よい働きをしながら、……巡回され



〔た〕救い主の模範を体現しています(使徒10:38)。

モンソン大管長は、救い主のようになりなさいと、長年にわたってわたしたちに呼びかけてきました。十二使徒定員会会長のボイド・K・パッカー会長から話を聞いたとき、わたしが抱くようになったモンソン像を話すと、それを認め、「モンソン大管長は、ほかのだれよりもキリストに似た者です」と言ったのです。⁴

モンソン大管長は半世紀以上にわたって貧しい人たちに衣類を提供し、病気の人や年老いた人のベッドのわきに腰を下ろしました。病院や家庭で人々に祝福を与えたことは数え切れないほどあります。一人の友人の顔をちょっと見るために予定を変更したこともあれば、集会の合間を縫って友人の葬儀に駆けつけ、弔辞を述べたこともあります(このような友人は何人くらいいるのかと聞けば、モンソン大管長は「少なくとも1,400万人」と答えるでしょう)。自分の方から来るのが困難な車いすの人には自分から近づいて行き、10代の若者たちとは手の平をたたき合わせ、最前列に座っている執事に向かっては耳を動かして見せます。天の御父以外にはほとんど知られていない、彼の言葉によると「目立たず、気にも留められない人たち」の生活に、多大な敬意を示しているのです。

端的に言えば、モンソン大管長は、たいていの人がしようと**考えはするけれども実践しないことを実行に移しています。**

彼の話には、実話が実にたくさん出てきます(「こんな話

端的に言えば、
モンソン大管長は、
たいていの人が
しようと**考えは
するけれども
実践しないことを
実行に移しています。**

がありまして」とは決して言いません)。福音の原則を実話で教えるのです。こう説明しています。「神と隣人を自分自身のように心から愛していることを示す行いとは、ほとんどの場合、世間から注目や称賛を浴びるようなものではありません。普通わたしたちは、日常生活での人とのかかわりの中で愛を示すのです。」⁵

世界各国で果たした教え導く務めの中でも、モンソン大管長が最も興味深い経験をしたのは「鉄のカーテン」の内側で教会を管理した年月だったと思います。2009年に夫の伝道部会長の任期が終わったとき、夫とわたしはドイツに行き、モンソン大管長が歩いた土地を歩き、彼が深く愛した人々と話して、彼が奉仕した年月の余韻を感じ取ってきました。そこで出会った献身的な神権者たちは、モンソン大管長が常に訪問してくれたこと、イエス・キリストを愛していたこと、励まし、関心を寄せてくれたことを涙ながらに話してくれました。わたしたちはゲルリツで、今では使われず、廃虚と化したかつての工場に入りました。1968年、この建物の中でモンソン大管長は説教台に立ち、疲弊していた東ドイツの聖徒たちに、忠実であれば、主がその子供たちに約束しておられるすべての祝福が注がれると約束しました。その日聖徒たちは、熱意を込めてこう歌いました。「試練の多い道もひるむな。……イエスは決してわれらをお見捨てにならず。……ひるむな。」⁶モンソン大管長は、大管長会の指示の下で、聖徒たちを救いに来たのです。20年後、ベルリンの壁はまだありましたが、この東ドイツの末日聖徒たちにはステーキがあり、集会所があり、祝福師も宣教師もいて、神殿もありました。その後、この壁は崩壊し、東西両ドイツの聖徒たちは一つの国家の中で家族と再会したのです。

モンソン大管長は常に主の手を見いだすことを人生での経験から学んできたことを強調し、「偶然などというものはありません」とよく言います。⁷

東ドイツの偉大な指導者の一人はヘンリー・ブークハルトです。20年間にわたって、同国の転換期となる重要な場面では、必ずモンソン大管長のそばにいて一緒に働きました。この間、ブークハルト兄弟は、「鉄のカーテン」の内側で、政府に対する教会の代表として、非常に忠実に、しかも大きな危険を冒しながら奉仕しました。とりわけ、ドレスデン伝道部の会長と、フライベルク神殿の会長として奉仕したことで知られています。



モンソン大管長が教え導く中で、特に際立って記憶に残っていることは何かと、わたしはブークハルト兄弟に尋ねました。ゲルリツでの集会でしょうか、1975年の同国の奉獻、最初のステーキの組織、フライベルク神殿の奉獻でしょうか。それとも、宣教師の入国と、宣教師の外国への派遣許可を申請するためにモンソン大管長が東ドイツ共産党の最高幹部ホーネッカー氏と会った時のことでしょうか。壁で警備する国境警備隊の存在を考えると途方もない申請でしたが、ホーネッカー氏はこう答えました。「わたしたちはあなたがたを長年見てきて信頼しています。許可しましょう。」この中のどれをブークハルト兄弟は選んだでしょうか。

ブークハルト兄弟は涙を流しながらこう答えたのです。「それは、1979年12月2日の出来事です。」この日にどんな重大な出来事が起こったのか思い当たらなかったのも、わたしは尋ねました。「何が起こったのですか。」

「これは、モンソン大管長がわたしの妻のインゲに祝福を与えるために東ドイツに来てくれた日なのです。」モンソン大管長には週末に割り当てのない週があり、ただそれだけのためにアメリカ合衆国から飛行機でドイツまでやって来たのです。ブークハルト姉妹は外科手術後の合併症で9週間も入院しており、病状が悪化していました。モンソン大管長は日記にこう書いています。「わたしたちは信仰と祈りを結集して彼女に祝福を与えました。」⁸モンソン大管長は、人助けのために、数か月に1度あるかないかの自由時間を使って何千キロも離れた所まで行ったのです。

モンソン大管長は言いました。「自分自身に次のように問いかけてみましょう。『わたしは今日、何か善いことをしたでしょうか。』『助けを必要としている人に手を差し伸べたでしょうか。』そのような問いかけは幸福を得るための原則であり、……満足感と内なる平安を得るための処方せんです。……わたしたちには、喜ばせるべき心、伝えるべき思いやりの言葉、与えるべき贈り物、なすべき行い、そして救うべき人々が存在します。」⁹

左——2002年、イリノイ州ノーブー神殿の奉獻式でのモンソン大管長夫妻。
右——2008年4月の総大会で話すモンソン大管長。
この総大会で、モンソン大管長は教会の大管長に支持された。
2009年、ユタ州オーカーマウンテン神殿の定礎式にて。
2011年6月、カナダ・オンタリオ州に住む古くからの友人と。

モンソン大管長は、
手を差し伸べ
合いなさいと
いつも
わたしたちに
呼びかけています。

モンソン大管長はこのようにして人々を教え導きます。打ちひしがれた者、孤独な者、落胆している者に常に手を差し伸べます。十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老が言うように、「主はトーマス・モンソンの度量が非常に大きいので、体もそれに合わせて大きく作らざるを得なかったのです。」¹⁰

2008年6月1日にブラジル・クリティーバ神殿を奉獻したとき、

モンソン大管長は一人の少年を呼んで定礎式の手伝いをさせました。写真を撮るためにカメラマンの指図で帽子が取られると、この少年には髪の毛がありませんでした。癌の治療を受けていたのです。モンソン大管長は少年の肩に優しく手を回して、壁にモルタルを塗るのを手伝いました。予定どおりに式を終えるため、そろそろ神殿に戻らなければならないと側近の一人から言われると、モンソン大管長は首を振って、「いいえ、もう一人呼びたい人がいます」と言いました。そして、集まった群衆を見回すと、後ろの方にいる一人の女性に目を留め、目が合うと、前に出て来るよう手で招いたのです。大管長はこの女性の肩に腕を回し、一緒に壁の所に行き、隅の礎石を塗り込めました。

翌日、奉獻式に参列していた十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老は、なぜあの女性が少年の母親だと分かったのかモンソン大管長に尋ねました。すると、こんな答えが返ってきました。

「わたしには分かりませんでした。主は御存じでした。」この少年は、その後何か月もたたないうちに亡くなりました。



ネルソン長老はこう言っています。「[奉獻式での経験が]あの家族の母親にとってどんなに大切なものだったか考えてみてください。主はこう言っておられたのです。『わたしはあなたを知っています。あなたを心にかけています。あなたを助けたいのです。』わたしたちは、神の預言者として

このような人物を頂いているのです。」¹¹

腰を下ろして話す代わりに携帯メールや電子メールで意思の疎通を図る現代にあつて、モンソン大管長は、手を差し伸べ合いなさいといつもわたしたちに呼びかけています。大管長はこの呼びかけを、自分に手紙をくれた会員の言葉を借りてこう言っています。「人々の祈りはたいていの場合、ほかの人々の行いによってこたえられる〔のです〕」¹²大管長はよく、主の次の勧告を引き合いに出します。「わたしはあなたがたに先立って行こう。わたしはあなたがたの右におり、また左にいる。わたしの御霊^{みたま}はあなたがたの心の中にある。また、わたしの天使たちはあなたがたの周囲にいて、あなたがたを支えるであろう。」(教義と聖約 84:88)モンソン大管長は、わたしたちがお互いに対してたえずこの天使となっていることを十分に理解しています。アルマはモルモン^{モルモン}の泉で、「重荷が軽くなるように、互いに重荷を負い合う」という聖約を聖徒たちに交わさせました(モーサヤ 18:8)。この聖約を実践するよう、モンソン大管長はわたしたちに呼びかけているのです。

モンソン大管長はわたしの重荷を負ってくれました。伝記を書くことが重責としてわたしにのしかかっていることに気がつくと、大管長は自分の執務室にわたしを呼んで、これ以上ないほど優しく思いやりのある声で「何かお手伝いできることはありますか」と言ってくれたのです。

わたしはこの申し出に飛びつきました。そして、力不足を感じていること、大任を仰せつかって身のすくむ思いがしていること、また、入手し、整理して組み立てるべき資料が膨大な数に上ることをすべて話しました。このときモンソン大管長と意見交換をしたことは、わたしの人生で最も貴重な経験となっています。まるでベテスダの池にいるわたしの

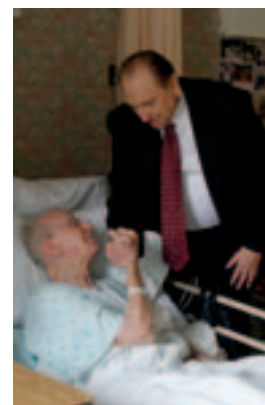
もとに救い主がとばりを上げてやって来て、力づけてくださったように感じました。モンソン大管長は贖^{あがな}いには救いの力があることを理解しており、主に遣わされて人を励ますことを特権と考えています。

「手を差し伸べて高齢者や夫に先立たれた人、病める人、障がいのある人、あまり教会に来ていない会員を助けてください」と大管長は言い、このように命じています。「このような人たちに助けの手を差し伸べ、哀れみの心を向けてください。」¹³

ほかの人に対する心配りと関心を見ると、モンソン大管長が救い主イエス・キリストに対してどれほど証^{あかし}を持っているかが分かります。「主について学び、主を信じ、主に従うことにより、主のようになる力が得られます。表情が変わり、心が和らぎ、成長が速まり、視野が広がります。生活は、本来あるべき状態に高められます。」¹⁴ ■

注

1. トーマス・S・モンソン「召しの義務」『聖徒の道』1996年7月号、52
2. 「感謝を神に捧げん」『賛美歌』11 参照
3. ケレイン・リックス、「BYU Leader Begins 'Lord's Errand,」 *Church News*, 1989年11月4日付、3 参照
4. ボイド・K・バッカー、ハイディ・S・スウィントン、*To the Rescue* (2010年)、1で引用
5. トーマス・S・モンソン、「To Love as Jesus Loves,」 *Instructor*, 1965年9月号
6. 「If the Way Be Full of Trial, Weary Not,」 *Deseret Sunday School Songs* (1909年), no. 158; トーマス・S・モンソン「忍耐——天の徳」『リアホナ』2002年9月号、6も参照
7. トーマス・S・モンソン、*To the Rescue*, 60で引用
8. トーマス・S・モンソン、*To the Rescue*, 1で引用
9. トーマス・S・モンソン「今がその時である」『リアホナ』2002年1月号、69
10. リチャード・G・スコット、*To the Rescue*, 162で引用
11. *To the Rescue*, 521 参照
12. トーマス・S・モンソン「模範となりなさい」『聖徒の道』1997年1月号、53で引用
13. トーマス・S・モンソン、ソルトレーク・シティ—南ステーキ、ステーキ大会(2009年10月18日)の放送。非公開。
14. トーマス・S・モンソン「主の道」『リアホナ』2003年1月号、2



この記事は2010年11月21日に
アフリカで放送された
地区ステーク・地方部大会における説教から
抜粋したものです。

福音の文化

有名な映画『アフリカの女王』の中で、第一次世界大戦時、東アフリカで戦禍を逃れた二人が比較的 안전한ビクトリア湖を目指します。幾多の危難を何とか乗り越えた後、彼らのちっぽけな船「アフリカの女王」号は湿地で立ち往生してしまいます。水がどちらに向かって流れているか分からないうえに、丈のある茂みに取り囲まれて、二人は方向感覚を失い途方に暮れます。気力も信仰も尽き、あきらめかけて、死が目前に迫ります。

そのときです。この大きな見せ場で、彼らの危機を伝えているカメラが高い位置に移動し、わたしたちは新たな観点から彼らの実際の居場所を見ることになります。彼らには見えていませんが、ほんの数メートル先に、この状況から解放してくれる念願のビクトリア湖があるのです。

イエス・キリストの福音は、わたしたちの現世の旅について説明し、永遠における目的地を示してくれます。「アフリカの女王」号に乗った二人のように、わたしたちは悪や危難から逃れようとしています。周りの至る所に障害物があります。目的地に到達しようと懸命に努力しますが、時々、まったく前進していないように思えることがあります。疲れ果て、落胆してしまうこともあります。目的地を見失ってしまうことさえあるかもしれません。しかし、あきらめてはいけません。現状を乗り越えた先に目を向け、永遠の命に至る旅において実際に自分がどの地点にいるかを知ることさえできたなら、わたしたちは自分がどれほど大きく前進しているかを理解するでしょう。



フォートミズベリー・ジョン・リチャード・M・ロムム

十二使徒定員会
ダリン・H・オークス長老



この福音の文化は、救いの計画、神の戒め、
生ける預言者の教えが原点となっています。
世界中の会員を助けるために、
教会は、この福音の文化に反する個人や家族の伝統や行いは
どのようなものであっても捨てるように教えています。





聖霊の賜物は、
わたしたちが
信仰によって歩むときに
現世の困難な旅にあって
支えを得られるように
神が与えてくださった
賜物です。

聖霊に頼る

幸いなことに、立ちはだかる試練の先を見通せないときにも導きを得られるように、救い主は一種の方向探知機を下さっています。聖霊の賜物です。ただし、わたしたちはこの神聖な賜物を進んで用い、信頼し、いつもよく手入れしておかなければなりません。

教会がひどい苦難の中にあつた時期に大管長を務めたウィルフォード・ウッドラフ大管長(1807-1898年)は、聖霊の大切さについて次のように教えています。「神の教会に入り、罪の赦しのためにバプテスマを受け〔聖霊の賜物を授かった〕すべての男女は、啓示を受ける権利、神の御霊を受ける権利があります。それは人が自分の務めをな〔す〕うでで助けとなります。」¹

ウッドラフ大管長は次のように説明しています。「この御霊は信仰を持つすべての人に、益となる事柄を日々明らかにします。」² 聖霊の賜物は、わたしたちが信仰によって歩むときに現世の困難な旅にあって支えを得られるように神が授けてくださった賜物です。

この貴い導きを受けたいと思う人は、戒めを守らなければなりません。ウッドラフ大管長は次のように教えています。「聖霊は清くない幕屋には住まわれません。もし自分の宗教が持つすべての力と賜物を享受しようとするのであれば、清くなければなりません。もし弱さや愚かさ、罪があるならば、悔い改めなければなりません。つまり、完全に捨てなければなりません。」³

主は毎週聖餐会に出席して聖餐を受けるようわたしたちに命じておられます(教義と聖約59:9-12参照)。聖餐を受けるとき、わたしたちは罪を悔い改めます。また、主に仕え、いつも御子を覚え、御子の戒めを守るという約束を新たにします。そうするときに、わたしたちは「いつも御子の御霊を受け〔る〕」という貴い約束を受けます(教義と聖約20:77)。これこそ、この世の障害物や落胆の先を見る力を得て、天の家に導かれる手段なのです。

トーマス・S・モンソン大管長は次のように

言明しています。「わたしたちは……不道徳、ポルノグラフィ、暴力、薬物、その他現代社会を悩ます数々の病に取り囲まれています。わたしたちは自分自身を『世の汚れに染まらずに』身を清く保つ責任だけではなく(ヤコブの手紙1:27)、子供たちや自分に託された人々を、いつか天の御父とともに暮らせるよう、取り巻く罪の荒海の中にあつて安全に導くという責任も与えられています。」⁴

わたしたちは間違いなく御霊の導きを必要としており、御霊を伴侶とするために必要な事柄を行うよう熱心に努めなければなりません。具体的に言えば、戒めを守り、祈り、聖文を研究し、毎週聖餐にあずかる度に悔い改めなければなりません。

世の人々と異なる生き方

神の戒めを守るうでで助けとなるものとして、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員には、いわゆる福音の文化があります。それは世の人々と異なる生き方であり、すべての会員が共有している価値観と標準と慣習です。この福音の文化は、救いの計画、神の戒め、生ける預言者の教えが原点であり、わたしたちが家族を築き、個々の人生を歩む際の導きとなってくれます。家族に関する宣言で述べられている原則には、この福音の文化が見事に言い表されています。⁵

世界中の会員を助けるために、教会は、イエス・キリストの教会の教えとこの福音の文化に反する個人や家族の伝統や行いほどのようなものであつても捨てるように教えています。この点について、わたしたちは使徒パウロの警告を心に留めています。パウロは次のように言っています。「哲学で、人のとりこにされ〔てはならない〕。それはキリストに従わず、世のもろもろの霊力に従う人間の言伝えに基くものにすぎない。」(コロサイ2:8)

誤った伝統や文化を捨てることに関して、わたしたちは若い会員の柔軟さと進歩を称賛すると同時に、年長の会員の皆さんも、成長と進歩の道からわたしたちを遠ざけるような

伝統や文化的な慣行、部族の慣習を捨てるよう心から呼びかけます。福音の文化、すなわち回復されたイエス・キリストの福音に根ざした慣習や伝統によって自らを高めるよう、すべての人に勧めます。

アフリカの伝統には、福音の文化に一致していて、神の戒めを守るうえで教会員の助けとなるものがたくさんあります。アフリカの堅固な家族文化は、家族に対する価値観が崩壊しつつある多くの西洋諸国に勝っています。アフリカの家庭に見られる愛と忠誠の模範は、福音の文化に欠かせないそうした伝統をほかの人々に教える際に助けになると期待しています。慎み深さもまたアフリカの人々の美德の一つです。アフリカで出会うほとんどの若人のように、ほかの地

域の青少年もまた慎み深くあるよう願ってやみません。

その一方で、アフリカの各地に見られる文化的伝統の中には、福音の文化や価値観に照らすと望ましくないものもあります。その幾つかは家族関係に関するものであり、誕生や結婚、死に際して行われる事柄です。例えば、アフリカの夫の中には、家で妻が家事の大部分をこなす間、夫は休息を取るのが当然である、あるいは、妻と子供は夫の奴隷にすぎないといった間違った考えを持っている人がいます。これは主がお喜びになることではありません。そのような考えは、永遠にわたって存続することになる家族関係の^{あり}有様に反していますし、永遠の祝福を受ける資格を得るためにこの地上で遂げなければならない成長を妨げるからです。



わたしたちは
若い教会員の
柔軟さと進歩を
称賛すると同時に、
年長の会員の皆さんも、
成長と進歩の道から
わたしたちを
遠ざけるような
伝統や文化的な慣行、
部族の慣習を捨てるよう
心から呼びかけます。

聖文を研究してください。そうすれば、わたしたちの最初の先祖であり皆の手本であるアダムとエバはともに祈り、ともに働いていたことが分かります（モーセ5：1, 4, 10 - 12, 16, 27 参照）。これを家族生活の規範とするべきです。愛をもって敬い合い、ともに働くのです。

もう一つの望ましくない文化的伝統は、花婿がロボラすなわち婚資を支払う慣習です。この慣習は、若い男女が回復されたイエス・キリストの福音の戒めを守るうえで大きな妨げとなります。花婿は花嫁を買い取るために花嫁の父親に大金を支払わなければなりません、その資金を蓄えるのに何年もかかるため、若い帰還宣教師は中年になるまで婚資を用意することも結婚することもできません。これ

は婚外の性的な清さ、結婚、子育てに関する福音の計画にかなっていません。神権指導者はこの慣習をやめるよう両親に教えるべきであり、若人は婚資を支払えるようになるのを待たずに聖なる神殿で結婚するという主の規範に従うべきです。

そのほか、婚礼や葬儀にも、福音の文化と相いれない文化的慣習や伝統が幾つかあるようです。婚礼や葬儀に関連して、多額の負債を招くような計画を立てないでください。長旅やぜいたくな会食を避けてください。過度の負債は皆さんが^{じょうぶん}什分の一を納めたり、神殿に参入したり、子供を伝道に送り出したりする力を弱め、それらを行う妨げとなります。この先皆さんが活発な教会員として過ごす力を弱め

結婚に関する主の戒めと
指導者の勧告に
従うとき、
わたしたちは
ほかのあらゆる
事柄について
主に祝福を請い願うことが
できます。



るのではなく、強めるような計画を立ててください。

結婚の大切さ

わたしたちは邪悪な世に生きています。このように言うとき、まず思い浮かぶのは故意に命を奪う行為であり、そうした行為がアフリカやそのほかの地における部族紛争や内戦で実に頻繁に繰り返されてきました。また、神は盗みや欺きによって他人の財産を奪ってはならないと命じておられます。もう一つの大きな悪事は、「あなたは^{かんいん}姦淫してはならない」という戒めと、それに関連する戒めを破ることで（出エジプト20：14）。神はこれらの戒めによって、生殖の偉大な力は神の目的を果たすために与えられたものであり、結婚のきずなの中でのみ用いるべきであることを明らかにしておられます。結婚外で性的な関係を持つことは罪深い行いです。

わたしたちは結婚が不可欠なものではなく選択肢の一つと見なされている時代に生きています。例えば、現在合衆国で誕生する子供の40パーセントが未婚の母親から生まれています。多くの人が結婚をせずに^{どうせい}同棲しています。そのような関係の下で生まれる子供には、神がエデンの園でわたしたちの最初の先祖に対してお定めになった結婚により互いに献身し合う両親がもたらす安定がありません。⁶

結婚は非常に重要なものですが、アフリカにおいてもほかの国々においても、問題はどのような結婚かということです。法律に基づく正式な結婚もあれば、その一方で容易に始めたりやめたりできるような様々な慣習や部族の伝統に基づく結婚もあります。神殿で結婚の結び固めの儀式を受ける要件として定められている主の標準は、人の法律が認め得るかぎり永続的に結ばれる結婚です。

教会の指導者は、海外勤務など遠隔地での仕事といった理由で夫婦が長期にわたって離れて暮らすべきではないと勧告してきました。わたしはその勧告を再度強調します。そのよう

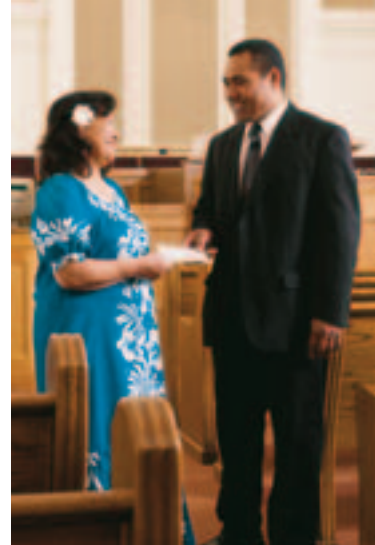
な別居生活に続いて重大な罪が生じるケースが非常に多いのです。別居生活が永遠の聖約を破ることにつながり、心痛を招き、祝福を失う原因になります。現代の啓示の中で、主は「あなたは心を尽くして妻を愛し、妻と結び合わなければならない。その他のものと結び合ってはならない」と命じておられます（教義と聖約42：22）。結婚に関する主の戒めと指導者の勧告に従うとき、わたしたちはほかのあらゆる事柄について主に祝福を請い願うことができます。

什分の一の祝福

什分の一は約束を伴う戒めです。マラキは、什分の一を倉に携えて来る人に対して主が「天の窓を開いて、あふるる恵みを、……注〔がれる〕」と約束し、救い主もマラキの言葉を改めて確認しておられます。約束されている祝福には、物質的なものも霊的なものもあります。什分の一を納める人に対して、主は「食い減ぼす者を……おさえ」、「万国の人は、あなたがたを祝福された者となえるであろう。あなたがたは楽しい地となるからである」と約束しておられます（マラキ3：10-12。3ニーファイ24：10-12も参照）。

これらの約束は、わたしたちが住むそれぞれの国に当てはまるものであると信じています。神の民が什分の一とささげ物を納めなかったとき、神は「すべての国民」を罪にお定めになりました（マラキ3：9）。同様に、ある国の国民の多くが忠実に什分の一を納めるとき、国全体のうえに天の祝福を招くことになると、わたしは信じています。聖書は次のように教えています。「少しのパン種でも、粉のかたまり全体をふくらませる。」（ガラテヤ5：9。マタイ13：33も参照）「正義は国を高く〔する〕。」（箴言14：34）忠実に什分の一を納めることによって、このぜひとも必要な祝福を得ることができるのです。

什分の一を納めることは、什分の一を納める個人にもかけがえのない霊的および物質的な



ある国の国民の多くが
忠実に什分の一を
納めるとき、
国全体のうえに
天の祝福を
招くことになると、
わたしは信じています。



現在、
教会の中心地にある
ステーキはいずれも
強固になっているので、
わたしたちは
会員が母国にとどまって
教会を築き上げるよう
勧めています。
この方針を
推し進めるために、
教会は世界中に
神殿を建設しています。

祝福をもたらします。第二次世界大戦中、夫を亡くしていたわたしの母は、教師としてのわずかな給料で3人の幼い子供を養っていました。十分なお金がなかったため、わたしたちは、あったらよいと思うものでも、なしで済ませていました。そのことに気づいたとき、わたしは母に、どうして給料からそれほど多くを什分の一として納めるのか尋ねました。わたしはそのときの説明を忘れたことはありません。「ダリン、什分の一を納めずにやっていける人があるかもしれないけれど、うちは貧しいからそのようなことはできないのよ。主はお父さんを連れて行かれ、あなたたちの養育をわたしにお任せになったけれど、主の祝福がなければ、わたしにはできないわ。そして正直に什分の一を納めることで、その祝福が得られるの。わたしが什分の一を納めれば、主は祝福を与えると約束してくださっていて、わたしたちが何とか暮らしていくためにはその祝福がどうしても必要なの。」

それらの祝福を生涯にわたって受けてきた者として、わたしは神の慈しみと、神が什分の一を納める御自分の子供たち^{あかし}に与えてくださる豊かな祝福について証します。

教会を築き上げる

アフリカやほかの国々で教会を確立しようとするとき、指導者や会員の中に第3世代や第4世代の忠実な末日聖徒の家族がいなければなりません。忠実な末日聖徒が外国に移住すると、母国の教会は弱まってしまいます。もちろん教会は会員がより良い暮らしを求めて別の地へ移り住むのを禁じてはいませんが、教会がそうした移住を奨励してから幾多の歳月が流れています。

ずいぶん前に、末日聖徒はアメリカのシオンに集合し、その地に教会を確立し神殿を建設するように奨励されていました。現在、教会の中心地にあるステーキはいずれも強固になっているので、わたしたちは会員が母国にとどまって教会を築き上げるよう勧めています。この方

針を推し進めるために、教会は世界中に神殿を建設しています。

主の方法に従うのは容易なことではありません。わたしたちが世の人々と異なる方法、すなわち主の方法によって物事を行うために、この世はわたしたちを憎むでしょう。主は自ら、また御自分の僕を通して、繰り返しそのように警告しておられます(ヨハネ15:19参照)。

幸いなことに、主の業を主の方法で行うとき、わたしたちを助けるために主の祝福が与えられることが約束されています。主は次のようにおっしゃっています。「わたしはあなたがたに先立って行こう。わたしはあなたがたの右におり、また左にいる。わたしの御霊はあなたがたの心の中にある。また、わたしの天使たちはあなたがたの周囲にいて、あなたがたを支えるであろう。」(教義と聖約84:88)

互いに愛し合う

回復されたイエス・キリストの福音にわたしたちはどれほど感謝していることでしょうか。福音はわたしたちが何者であるかを教えてくれます。自分と神との関係を理解するとき、自分とほかの人の関係についても理解が深まります。このことは伴侶や子供との関係についても言えます。戒めを守り、神殿で神聖な聖約を交わし、それらの聖約を守るなら、家族の関係は永遠のものになるのです。

肌の色や国籍にかかわらず、この地上にいるすべての男女は神の子供であり、霊の兄弟姉妹です。神の独り子が互いに愛し合うよう命じておられるのも不思議ではありません。もし兄弟姉妹としての愛や無私^{あかし}の支援を、部族や国家、信条、肌の色の境界線をすべて越えて届けることができたなら、世界はどれほど違ったものになるでしょう。そのような愛をもってしても、意見や行動の違いが完全に消え去ることはないでしょうが、愛は隣人に対する憎しみや抑圧よりも互いの協力関係に基づく取り組みに力を注ぐよう、わたしたち一人一人を導いてくれるでしょう。

わたしは天の御父が御自分のすべての子供たちを愛しておられるという大なる真理を、確信をもって宣言します。これは非常に力強い知識であり、このことについて子供たちはまず地上の両親の愛と犠牲を通して理解することができます。愛はこの世で最も偉大な力です。わたしはすべての両親が愛にあふれた模範を示しているよう祈っています。そしてその模範を見る次の世代の子供たちが、自分たちに対する神の愛を理解しますように。また、天の御父が地上にいる御自分のすべての子供たちに、永遠のえり抜きの祝福を受ける資格を得るために必要なことを行うよう強く望んでおられるということを理解しますように。

わたしたちには御父の福音が与えられており、御父のえり抜きの祝福を享受するには戒めを守る必要があります。わたしはこのことを証し、皆さん一人一人のうえに天の御父の祝福があるよう願っています。■

注

- 1.『歴代大管長の教え——ウィルフォード・ウッドラフ』49
- 2.『歴代大管長の教え——ウィルフォード・ウッドラフ』51
- 3.『歴代大管長の教え——ウィルフォード・ウッドラフ』54
- 4.トーマス・S・モンソン「天の家——永遠の家族」『リアホナ』2006年6月号、68
- 5.「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号、129参照
- 6.『リアホナ』2010年11月号、129参照



もし兄弟姉妹としての
愛や無私の支援を、
部族や国家、
信条、肌の色の
境界線を
すべて越えて
届けることが
できたなら、
世界はどれほど
違ったもの
になるでしょう。



家庭訪問

教導くことの
力を理解する

天の御父は、わたしたちがより高い道を行き、弟子としての特質を示すために御父の子供たちを心から世話することを求めておられます。

地 上におられたとき、キリストは人々を教導されました。主の弟子になりたいのなら、わたしたちは主の模範に倣わねばなりません。主はこうに教えられました。「わたしがするのを見たその行いを、あなたがたもしなさい。」(3 ニーファイ 27:21) 新約聖書にはキリストが教導された事例があふれています。主はサマリヤの女に御自身がメシヤであることを明らかにされました。主はペテロの母親を癒されました。ヤイロの娘をその両親のために生き返らせ、そして悲しみに暮れる姉妹

中央扶助協会会長



たちのためにラザロを生き返らせられました。十字架上で苦しんでおられるときでさえ「母親を気遣っておられました。母親は寡婦で、世話をする必要があったと思われます。」¹ 主は十字架上で、母親の世話をヨハネに頼まれました。

中央扶助協会会長のジュリー・B・ベック姉妹はこう語っています。「扶助協会〔と家庭訪問〕を通して、わたしたちはキリストの弟子となれることを実践します。主の望まれることを学び、主の望まれることを行い、主の望まれるような人になるのです。」²

教え導くことの力を理解する

人を教え導き、支援することは常に扶助協会の業の中心となってきました。「何年にもわたって扶助協会の姉妹たちと指導者は少しずつ学び、人々を見守る能力を身に付けてきました。訪問をすべて達成し、レッスンを教え、担当する姉妹の家庭に立ち寄ったときにはメモを残すといったことに姉妹たちが焦点を当てていた時期がありました。こうした習慣によって、姉妹たちは見守ることの規範を学ぶことができました。モーセの時代の人々が多くの規則を守ることに全力を注いだように、扶助協会の姉妹たちも互いに強め合う方法を探るあまり、成文化されているかどうかは別にして、自分自身に幾つも規則を課してきました。

姉妹たちとその家族の人生に助けと救助がますます必要になっている今日、天の御父は、わたしたちがより高い道を行き、弟子としての特質を示すために御父の子供たちを世話することを求めておられます。この大切な目的を念頭に置いて、指導者は、姉妹たちとその家族の霊的および物質的な状態について、また訪問教師が行った奉仕について報告を求めるよう教えられています。また訪問教師は『真心から姉妹一人一人を知り、愛し、信仰を深めるのを助け、奉仕を行う』責任があります。³

扶助協会の歴史記録『わたしの王国の娘』と『手引き第2部——教会の管理運営』は、わたしたちがより高い道を行き、弟子としての特質を示すための方法を示しています。

- 訪問先の姉妹とその家族のために毎日祈る。
- 姉妹の必要について知るために靈感を求める。
- 慰め、強めるために定期的に訪問する。
- 訪問、電話、手紙、電子メール、携帯メール、簡単に親切な行いによって頻繁に接触する。
- 教会であいさつをする。
- 病気の時、そのほか差し迫った必要が生じたときに助ける。
- 聖文や家庭訪問メッセージから福音を教える。
- 良い模範を示すことによって姉妹を鼓舞する。
- 姉妹の霊的および物質的な福利について扶助協会の指導者に報告する。⁴

教え導くことに焦点を当てる

わたしたちは主の手です。主はわたしたち一人一人を頼りにしておられます。家庭訪問の割り当てが、自分が受けている中で最も大切な責任の一つであると分かれば分かるほど、訪問先の姉妹を教え導くことができます。

1. 御霊を招く経験を提供し、姉妹たちが信仰を深め、義にかなった人格を築くのを助けます。
2. 訪問する姉妹を心から思いやり、彼女たちが家庭や家族を強められるように助けます。
3. 姉妹たちが困っているときにはそれに対処します。

以下は教え導くことの力を理解している二人の訪問教師、マリアとグレッチェンの例です。この例から、現在は訪問教師が別々に、あるいは二人で一緒に訪問できることが分かります。一緒に訪問してメッセージを伝えたかどうかにかかわらず、「思いやりを示したこと」を家庭訪問と見なすことができます。二人は要請がなくても適切な行動を取れます。訪問先の姉妹一人一人の霊的および物質的な必要にこたえる方法を知るために積極的に個人の啓示を求めてそれを受け、実行することができます。

レイチェルは初めての出産を控えていて、妊娠期間の



奇跡を起こす

「わたしたちが……信仰をもって揺らぐことなく託された召しを全力で果たし、またその責任につける働きについて全能者からの靈感を求めるとき、わたしたちは奇跡を起こすことができるのです。」

トーマス・S・モンソン大管長
『わたしの王国の娘——
扶助協会の歴史と業』91

ほとんどをベッドで安静にして過ごさなければなりませんでした。訪問教師は彼女を助ける最良の方法を知るために靈感を求めました。近くに住んでいたマリアはほとんど毎日、出勤前にレイチェルの家に手伝いに行くことができました。ある日は浴室の一部を掃除し、翌日には残りの部分をきれいにしました。別の日は居間に掃除機をかけて、翌日はレイチェルの昼食を準備しました。マリアは洗濯や掃除など、レイチェルが必要としていることは何でもして、継続的に仕えてきました。

グレッチェンはレイチェルに頻繁に電話をかけ、元気づけました。あるときはおしゃべりをしながら笑い合いました。別のときには、グレッチェンとマリアはレイチェルのベッドの傍らで話し、自分たちの証を述べたり、聖文を読んだり、家庭訪問メッセージを伝えたりしました。レイチェルの赤ちゃんが生まれた後も助け続けました。

この間、マリアとグレッチェンはまた、扶助協会会長会とともに働き、レイチェルと家族のそのほかの必要を満たせるように調整しました。扶助協会会長会はビジョップやワード評議会と相談し、ホームティーチャーやほかの会員がさらに支援を提供できるようにしました。

この姉妹たちが互いへの愛をはぐくみ、霊的な経験を分かち合っていく中で、教え導くことができます。わたしたちは訪問教師としてこれらの教え導くための規範と原則に倣い、同じ祝福を受けることができます。

キリストのように教え導く

「救い主に従う献身的な弟子として、わたしたちは、もし主がここにいればなさるであろう



ことを行う能力を伸ばしているのです」とベック姉妹は述べています。「主にとって大切な人は人を思いやるわたしたちの心であり、リストに書いたことをすべて行うことではなく、姉妹たちのことを心にかけることに集中しなくてはならないことをわたしたちは知っています。真の働きは、申し分のない統計を作成したかどうかではなく、わたしたちの慈愛の深さによって測られます。」⁵

訪問先の姉妹から次のような言葉を聞いたら、わたしたちは訪問教師としての務めに成功していることが分かります。「わたしの訪問教師はわたしが霊的に成長するのを助けてくれます。訪問教師がわたしと家族のことを心から気にかけていることを知っています。そして何かあったときには、必ずわたしを助けてくれるでしょう。」訪問教師としてより高い道を歩むなら、わたしたちは主の奇しき業に携わっていて、信仰を深め、義にかなった人格を築き、家族と家庭を強め、困っている人々に手を差し伸べるという扶助協会の目的を達成しているのです。■

注

1. 『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』3
2. 『わたしの王国の娘』7
3. ジュリー・B・ベック「扶助協会について孫娘たちに理解してほしいこと」『リアホナ』2011年11月号、112および *Ensign*、2011年11月号、112
4. 『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』123 参照
5. 『リアホナ』2011年11月号、112-113 および *Ensign*、2011年11月号、112-113

家庭訪問は どのように強化されましたか

以下は家庭訪問プログラムの変更点をまとめたものです。扶助協会指導者や訪問教師は『手引き 第2部——教会の管理運営』第9章を読んで、変更点の詳細を確認するようお勧めします。さらに、教え導くことの力と、家庭訪問で教え導くことの大切な役割について、ビジョンと洞察、理解力を得るために『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』第7章も読んでください。（この2冊はLDS.orgでオンラインで閲覧できます。）

訪問教師を召す

1. 会長だけでなく、扶助協会会長が訪問教師に対して責任があります。	『手引き 第2部』 9.2.2 参照
2. ある姉妹に家庭訪問の割り当てを与える際、扶助協会の指導者は家庭訪問が重要な霊的責任であることをその姉妹が理解できるように助けます。	『手引き 第2部』 9.5 ; 9.5.1 参照
3. 扶助協会会長は、訪問教師が訪問先の姉妹をより効果的に教え導く方法を継続的に訓練します。訓練は月の第1日曜日の扶助協会で、あるいはそのほかの扶助協会集会で行うことができます。	『手引き 第2部』 9.5 参照

評議する

1. 扶助協会会長は訪問教師と定期的に会合を持ち、助けに必要な姉妹の霊的および物質的福祉について話し合い、支援する計画を立てます。訪問教師は扶助協会会長が助けに必要な姉妹のために短期または長期の奉仕活動を調整するのを助けることができます。	『手引き 第2部』 9.5 ; 9.5.1 ; 9.5.4 参照
2. 扶助協会会長は定期的に評議し、助けに必要な人々の霊的および物質的な福祉について話し合います。	『手引き 第2部』 9.3.2 ; 9.5.4 参照
3. 扶助協会会長は、霊的および物質的な必要のある人々を助ける方法についてワードまたは支部の指導者がともに評議できるように、ワードや支部の評議会集会で家庭訪問の報告から適切な情報を伝えます。	『手引き 第2部』 4.5.1 ; 5.1.2 ; 6.2.2 参照
4. ビショップまたは支部会長は必要に応じて、ホームティーチングと家庭訪問の割り当てを調整するために扶助協会会長をワードまたは支部の神権役員会に招待できます。	『手引き 第2部』 9.3.1 参照
5. 扶助協会会長とヤングシングルアダルトリーダーは定期的に会合を持ち、家庭訪問の割り当てがヤングシングルアダルトの必要に合っていることを確認します。	『手引き 第2部』 9.7.2 ; 16.3.3 参照

家庭訪問を編成し、監督する

<p>1. ビショップまたは支部会長と扶助協会会長会は、家庭訪問の編成を地元の必要に合わせるためにも話し合い、祈って考えます。(家庭訪問は個人の必要に焦点を当てたものであるため、家庭訪問を目的に姉妹たちをグループに編成するべきではありません。) ビショップまたは支部会長が一つの割り当てを承認します。</p>	<p>『手引き 第2部』 9.5.2 参照</p>
<p>2. 可能な地域では、会長会は姉妹たちを二人組にして割り当てます。『手引き 第2部』には地元の必要に合わせるためのほかの方法が述べられています。会長会は以下の選択肢についてビショップまたは支部会長と評議します。</p> <p>a. 一時的に、特定の家族にホームティーチャーのみ、あるいは訪問教師のみを割り当てる。あるいは、ホームティーチャーと訪問教師が毎月交互に訪問することもできる。(『手引き 第2部』9.5.3 参照)</p> <p>b. 伝道部会長の承認を得て、限られた範囲で姉妹の専任宣教師に家庭訪問を手伝ってもらう。(『手引き 第2部』9.5.3 参照)</p>	<p>『手引き 第2部』 9.5.2 ; 9.5.3 参照</p>
<p>3. 家庭訪問は単に毎月訪問することではなく、教え導く業です。姉妹たちの個々の必要を見守り、彼女たちを強めるために、訪問教師は訪問、電話、電子メール、手紙、そのほかの方法で継続的に接触します。</p> <p>指導者は以下の姉妹たちを特に優先し、世話が確実に行き届くようにします。若い女性から扶助協会に入って来る姉妹、独身の姉妹、新しく転入して来た会員、最近改宗した会員、新婚の姉妹、あまり活発でない姉妹、特別な必要を抱えた姉妹です。(『手引き 第2部』9.5.2 参照)</p>	<p>『手引き 第2部』 9.5.1 ; 9.5.2 参照</p>

家庭訪問の報告

<p>1. 訪問教師は特別な必要や行った奉仕、すなわち教え導いた事柄について報告するように求められます。単に訪問した件数だけでなく、思いやりを示した件数を数えます。</p>	<p>『手引き 第2部』 9.5.4 参照</p>
<p>2. 扶助協会会長はビショップまたは支部会長に毎月家庭訪問の報告をします。この報告には特別な必要や訪問教師が行った奉仕、そして接触できなかった姉妹の一覧を含みます。</p>	<p>『手引き 第2部』 9.5.4 参照</p>

わたしの王国の娘

変化をもたらす

『わたしの王国の娘——
扶助協会の歴史と業』
の「はじめに」の中で、
大管長会は読者に「本書を研究
し、その不変の真理と靈感あふ
れる模範から啓発を受ける」よう
に勧めています。¹ 以下はこの靈
感あふれる記録によって変化を
経験した男女の証です。

「この書物にははっきりとした御
霊があります。わたしの心が変わ
られていくのを実感しました。」
——シェリー・ベルタグノッリ

「『わたしの王国の娘』を讀ん
で啓発され、さらに献身的な夫
および父親になり、もっ
と忠実に聖約を守ろう
と決意しました。」——

アロン・ウエスト

「『わたしの王国
の娘』に登場する扶
助協会の姉妹たちにつ
いて讀んだとき、彼女たち
が実在の、身
近な存在とな
り、その信仰を
実感しました。
キリストの純粋な愛を
もって人に仕えるなら、
主の望まれる人物になれる

ことを彼女たちは知っていました。
それが扶助協会の目的で、すべて
の姉妹に当てはまります。独身で
も既婚でも、若くても、年を重ねて
いても。わたしにも当てはまるの
です。」——カトリーナ・キャン

「わたしはチリ、アルゼンチン、
ブラジル、そして合衆国に住んだ
ことがあります。どこへ行っても、
すばらしい姉妹の輪の一員で
あることを知っています。強くて
忠実な女性たちが受け継いでき
た輪です。」——マルタ・ブラボ

「グラフィックデザイナーとして
『わたしの王国の娘』にかかわれ
たことは、貴重で特別な経験で
した。中央扶助協会会長のジュ
リー・B・ベック姉妹は、最初の
打ち合わせで、この書物が啓示
と生ける預言者の指示によって世
に出ることを証しました。その初
日から、啓示があらゆる工程の指
針となりました。原稿に目を通す
人はだれでも御霊に包まれ、より
良く変わることができました。
これはわたしも経験しましたし、編
集者、デザイナー、イラストレー
ター、製作美術担当者、印刷職員に
も同じことが起きるのを見ました。」
——タッド・ピーターソン

「自分がより良いものの一部で
あることに気づきました。扶助協
会から力をもらえば、わたしも
もっと善い人になれます。」——
ジャネット・アンドリュース

「この歴史書は強力な資料であ
り、世界中の男女が神の娘として
の女性の価値と神の王国におけ
る女性の大切な役割を理解する
のを助けることができます。」——
スーザン・ロフグレン

「かつては、自分がほかの人と
同じでなければいけないと思っ
ていました。今は、それぞれの
姉妹に違う状況、強さや弱さがあ
るけれど、一人一人が大切な存在
であることを知りました。」——
ニコール・エリクソン

「『わたしの王国の娘』からピ
ショップとして大きな影響を受け
ました。扶助協会と神権者が車
の両輪のように一緒になって働く
ときに大いなる力が生まれること
を証します。」——マーク・ステー
ブルズ■

注

1. 『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史
と業』 ix





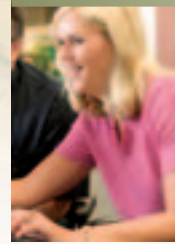
全世界で 索引作成を

2006年に
ファミリーサーチの索引作成が導入されて以来、
8億件を超える記録がデジタル化されてきましたが、
まだ仕事は終わってはいません。
そのため世界中で索引作成者を必要としています。

教会機関誌
ヘザー・F・クリステンセン

アメリカ合衆国ユタ州のヒラリー・レモン姉妹は伝道を終えて戻ると、再び学校が始まるまで2、3か月ありました。その時間を有意義に使う方法を考えた結果、インターネットでファミリーサーチの索引作成を手伝い始めました。最初は英語で始めましたが、伝道中に覚えた言語であるポルトガル語も含め、ほかの言語でも索引作成の機会があることがすぐに分かりました。

「ポルトガルで伝道したので、ブラジルとポルトガルの索引作成プロジェクトとして記載され



ファミリーサーチの 使い方は簡単

イギリス、チャーリー・ステークの15歳のマッケンジーは、ほかの青少年同様、ステーク会長会から200人分の名前を索引作成するように勧められました。「200人のはずが2,000人分できました!」とマッケンジーは振り返ります。「索引作成はあっという間に簡単にできます。名前と地名は読みやすいように画面上に印が出てきます。わたしは、索引作成について知っていることを家族や友人に教えました。アカウントの作り方を教えたり、索引作成の作業が易しく楽しいことが分かるよう実際にやって見せたりしました。」

ているものに関心がありました。伝道地の一つだったポルトガルのセトゥバルから提出されたプロジェクトを目にしたとき、じっとしてはられなくなりました」とヒラリーは言います。

ファミリーサーチの中でも、非英語圏の記録を索引作成する需要が高まってきており、ヒラリーはそれを手伝うボランティアの一人です。ほかの12万7,000人の現役ボランティア同様、ヒラリーは亡くなった人々の名前と生涯の出来事を抜き出して入力しています。そうして会員は、探している情報を見つけ出し、自分の先祖の儀式を神殿で完了することができます。

索引作成とはどんなものでしょう

ファミリーサーチの索引作成とは、書類上の記録——国勢調査、戸籍、遺言の公正証書、および教会の記録など——をデジタル化した画像を見て、そこにある情報をオンラインの検索可能データベースに入力することです。索引作成ボランティアのこの働きによって、会員やその他家族歴史の探求者は、インターネット上で容易に自分の先祖の情報を見つけられるのです。

索引作成のおかげで、家族歴史の作業は簡潔で易くなりました。「これまで親戚の記録を探そうとすると、マイクロフィルムを動かして見なければなりません。探していた家族が見つかり、関連した名前を見つけれられることもあります。そうすると、マイクロ

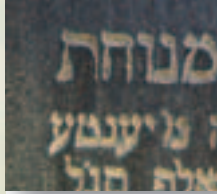
フィルムを何度も巻いたり戻したりことになり、ハンガリーで索引作成をするヨーゼフ・サバドカイ兄弟は言いました。

現在ファミリーサーチでは、世界各国に手を広げ、政府当局および記録所有者から歴史記録を収集しています。しかし、ファミリーサーチの従業員たちは、単に記録をフィルムに収めて探求者が利用できるようにするだけでなく、索引作成プログラムに画像を取り込んで、索引作成プログラムに画像を取り込んでいます。ボランティアは自分のコンピューター上で画像を引き出し、写し出されたとおりに情報を入力します。こうして情報がデジタル化されると、探求者は自宅に居ながらにして、FamilySearch.orgの検索機能を使い閲覧することができます。

索引作成の進行状況は?

2006年にファミリーサーチの索引作成が導入されて以来、ボランティアの索引作成者たちは、大きく前進しました。これまでに約8億件の記録を書き写しています。しかし、まだすべきことはたくさん残っています。撮影した記録が保管されている、ソルトレーク・シティのグラナイト山記録保管庫には、約150億件の記録があります。そしてさらに多くの記録が絶えず追加されています。これらの記録には、100か国以上から収集された何十億人もの情報が含まれ、言語の数にして170以上あります。





家族歴史に時間を割く

多くの人が家族歴史の作業に時間が割けないと思うかもしれませんが。アメリカ合衆国ユタ州のジョンニ・スー・スキラッチ姉妹は、自分の予定に索引作成の時間を組み込む方法を見つけました。「索引作成は大好きです」とスキラッチ姉妹は言います。「夫と二人で長時間車を運転するときは、ノートパソコンにバッチをいくつかダウンロードして、車に乗ったらオフラインにします。行き先に到着したらオンラインにして、完成したバッチをアップロードし、帰り道用にさらにいくつかバッチをダウンロードします。索引作成に使える時間は1分たりとも逃しません。車で移動する間の作業は、わたしに最適だと思います。」

ロバート・マニユスキー兄弟は、ポーランド出身の教会の奉仕宣教師であり、現役の索引作成者ですが、非英語圏のボランティアがもっと必要であることを実感しています。「国土は1772年から1918年まで分割されていたため、ポーランドの記録は4つの言語、つまりロシア語、ドイツ語、ラテン語、ポーランド語で保管されていました」とロバートは説明します。ポーランドの索引作成者はほとんどがポーランド語を話すため、最初はポーランド語の記録から始めました。このためロシア語、ドイツ語、ラテン語の記録については、まだ作業が残っています。様々な言語に心得のある世界各国のボランティアの助けによって、その重要な情報がどんな言語で記録されていると、世界中の家族歴史探求者は自分の先祖を見つけることができます。

これらの記録を利用できるようにしているのが索引作成プログラムで、インターネット上で11の言語で利用できるようになりました。利用できる言語は、オランダ語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、スウェーデン語です。これらの言語を話す人

は——それが母語であろうと、伝道や学校、あるいはその他の訓練を通して習得したものでであろうと——登録して、記録の索引作成に取りかかるよう勧められています。

始めるにはどうすればよいでしょう

ボランティアの索引作成者として作業を始めるのに手間は要りません。簡単です。indexing.familysearch.orgにある指示に従って、自分のコンピューターにプログラムをダウンロードします。次にアカウントを設定し、索引作成する記録のグループである「バッチ」を選択します。記録は20人から50人分の名前が、バッチという小単位にグループ分けされていて、ボランティアは自分の時間の都合に合わせて索引作業をすることができます。各バッチの処理には30分ほどかかりますが、作業の途中で停止することが可能です。プログラムは完了したところまでの作業を保存してくれるので、後から続きをすることができます。バッチを1週間以内に終了することができなかった場合は、自動的にほかの人が残りを完了できるような仕組みになっています。

ファミリーサーチが世界各国から記録を入手すると、索引作成用のバッチが提供されます。ハンガリー出身のザバドカイ兄弟は、母国の記録を手がけられるようになるまでは、英語とアフリカーンス語の記録を索引作成することから始めました。「2011年になって間もなく、最初のハンガリー語のバッチが公開されたときは、最高にうれしかったです」とザバドカイ兄弟は言います。「そのときから多くのハンガリー人の教会員が、古いも若きも、登録して『熱狂的な』索引作成者になっています。」ザバドカイ兄弟の熱心さの理由は、これらの記録が書き写されれば、自分の先祖の多くが見つかるという希望にあります。「このすばらしいデータベースを作り上げれば、さらに多くの



家族の名前が見つかり、時間を節約できるようになります。そして、先祖が救いの儀式をもっと早く受けられるよう助けることができます。」

もしコンピューターを持っていないときは？

世界の様々な地域では、索引作成をしたくてもコンピューターを手に入れたり、インターネットにアクセスしたりすることが困難な人たちもいます。この問題に直面したのが、メキシコシティー、ザラヘムラステークの指導者たちです。青少年を索引作成に参加させることに決めたのですが、中には家庭にコンピューターのない青少年もいました。そのためステークの指導者たちは、地元の学校にあるコンピューター実習室を放課後に使わせてもらえるよう手配することにしたのです。

こうして青少年は、1930年のメキシコの国勢調査記録を索引作成する作業を行いました。「青少年は書類を調べているうちに、一軒一軒訪ね回って情報を集めた当時の人たちの姿を想像しました。その人たちは自分の骨折りが後に『人の不死不滅と永遠の命をもたらす』主の業（モーセ1：39）の助けになるとは知らずに情報を集めていたのです」とダリオ・サパタ・ヴィヴァスビショップは言います。

ステーク指導者たちの独創的な取り組みを通して必要な機器が手に入り、ステークの青少年とその他の会員たちは、ひと月のうちに30万件を超える記録の索引を作成することができました。

ザラヘムラステークの青少年のように、自分のコンピューターがなくても参加できます。索引作成プログラムは、インターネットにアクセスできればこのコンピューターでも実行できます。ほかの会員の家庭でも、家族歴史センター、教会の集会所、さらには許可が得られれば学校や図書館のコンピューターでも使えます。



索引作成の祝福

ヒラリー・レモン姉妹が索引作成したポルトガル語の書類は、200年以上前のバプテスマ記録でした。ページは色あせ、複雑な手書きの文字は読みにくいものでした。しかし、そのページに載っている名前は、神殿で儀式が執行されるのを待っている人たちであると考えながら、最後までプロジェクトをやり遂げたのです。

「索引を作成している途中で、いつかポルトガル語圏の末日聖徒が、わたしが索引作成したバプテスマ記録を開き自分の先祖を見つけることになるという快い確信を何度となく感じました」とヒラリーは語りました。「今、ポルトガルのリスボンに神殿の建設が計画されています。ですから、ポルトガルの会員が、ファミリーサーチの索引作成作業のおかげで、自分の先祖を見つけられる日がやって来ることを知っています。」

レモン姉妹のようなボランティアの助けによって、これからますます多くの記録が保存され、亡くなった人々が福音の完全な祝福を得る道が開かれます。■

詳細については、indexing.familysearch.org を見るか、ワードまたは支部の家族歴史のスペシャリストにお問い合わせください。

だれでも 索引作成ができます

索引作成は、学生、専業主婦、会社員、退職者を含め、あらゆる年代の人に向けて作られたものです。デビッド・プライド兄弟と妻のバーニス姉妹は専任宣教師として7回奉仕し、ニュージーランドに落ち着いた現在も奉仕を続けています。「教会には、夢中になったり活発でいられるよう助けてくれるものが何かしらあります」とプライド姉妹は言います。「索引作成はそのようなわたしたちの必要にぴったりです。」2009年以来、プライド姉妹は18万人以上の名前を索引作成してきました。「このすばらしい資料提供作業に携われてとてもうれしいです。この業は先祖を探し、彼らに進歩する機会をもたらすために、なくてはならないものです」と彼女は語ります。



ロシア語ができますか？

とても忙しい日々を送っていましたが、夫のダニールとわたしは2009年のうちにもう一度イングランド・プレストン神殿に行くことにしました。わたしたちの住むスコットランドの小さな町から神殿に行くには、バスを乗り継いで約6時間かかります。

出発を予定していた朝はどんよりと曇り、雨も降っていましたが、わたしたちは神殿に行けることをうれしく思い

ました。途中、バスの乗り換えで1時間待たされ、その間に土砂降りになり、寒くなってきました。

それでも、もうすぐ神殿に行けるという希望が心を温めてくれました。プレストンに着いたとき、わたしたちは直ちに神殿に向かうべきだと強く感じました。空腹で、ずぶぬれでしたが、わたしたちは聖霊の導きに従いました。

神殿に入ると、親切そうな神殿ワーカーに神殿推薦状の提示を求められました。その兄弟は眼鏡を外して、わたしたちの推薦状に書かれた名前を見直しました。

「ロシアの方ですか。」ワーカーの兄弟は驚いて尋ねました。

「はい。」わたしたちはその反応に少し驚きながら答えました。

「ではロシア語ができますか。」

「もちろんです」とわたしたちは答えました。

するとその兄弟は受話器を取ってだ

イングランドの
プレストンに着いたとき、
わたしたちは
直ちに神殿に向かうべきだと
強く感じました。



れかに電話をしました。

間もなく神殿会長がやって来ました。眼鏡の奥に涙を浮かべているのが見えました。神殿会長はほほえみながら、「あなたたちは神に遣わされた天使です」と言い、ついて来るように言いました。そこでついて行くとすぐに、困惑した様子の若い宣教師と、その周りに神殿ワーカーたちが立っているのが見えました。

この宣教師はアルメニアから来ていて、ロシア語を話すことが分かりました。イングランド・ロンドン伝道部で奉仕するように召されたのですが、まだ英語ができませんでした。神殿に隣接する宣教師訓練センターにはロシア語のできる人は一人もいませんでした。その日、その宣教師は自分のエンダウメントを受けることになっていたのですが、神殿ワーカーたちは彼と意思の疎通ができずにいました。そこに、全身ずぶぬれのロシア人夫婦が入って来たというわけです。

ダニールは即座に、その若い宣教師の付き添いをさせてほしいと申し出ました。宣教師は大喜びでした。後で聞いたのですが、その宣教師はわたしたちが到着したときに特別な気持ちがあったそうです。

多忙なスケジュールと雨にもかかわらず、あの日、夫婦で神殿に行くことにし、イギリスでロシア語を話す神の息子を助けられたことを感謝しています。わたしたちの人生に特別な光と意義をもたらしてくれる神殿の祝福に感謝します。聖霊の導きに心を留めるなら、天の家に戻れるように聖霊が導いてくださることを知っています。あの日、夫とわたしを主の宮に導いてくださったように。■

アンナ・ニキチチェバ(スコットランド)

注意を払って いませんでした

最近、モルモン書を読んでいたとき、次の勧告が目にとまりました。「なぜあなたがたは……飢えている人や乏しい人、着る物のない人、病人、苦しんでいる人を見過ごしにし、彼らに注意を払わないのか。」(モルモン 8:39)

普段聖文に見いだしている平安と慰めを感じる代わりに、わたしは悲しみに打ちのめされ、その悲しみはなかなか薄れていきませんでした。自分があり周りに注意を向けていないことはずっと前から自覚していました。自分の生活や召し、家族に力を注ぐあまり、ほかの人が抱えている問題に注意を払っていなかったのです。

「重荷が軽くなるように、互いに重荷を負い合[い]、悲しむ者とともに悲しみ、慰めの要る者を慰める」ために、自分にできることをすべて行っていないのは分かっていました(モーサヤ 18:8-9)。変わりたい、もっと善い人になりたいと思いました。ただ、どうすればよいか分かりませんでした。わたしは主の助けを祈り求めました。

答えは思いがけない、そして望まない形で与えられました。わたしは慢性の病気になり、それが原因で、手に負えないほどの忙しさが少しずつ解消していったのです。病気が進行するにつれて、外での活動も、召しも、教会への出席もあきらめざるを得なくなりました。今は外出できず、孤独で、自分に注意を払ってくれる人などだれもいないように感じます。

いつの日か主が癒^{いや}してくださるよう祈っています。癒^{いや}していただけたときには、二度とあのような盲目の状態にはなるまいと自分に誓っています。教



もっと善い人になれるように
主が助けくださるよう祈りました。
答えは思いがけない、
そして望まない形で与えられました。

会に着いたら、独りで座っている人や、その日に出席していない人に目を向けようと思います。毎週時間を取り、恥ずかしさを乗り越えて、病気の人や苦しんでいる人、またはちょうど友達を必要としている人を訪問しようと思います。兄弟姉妹を、日曜日や教会の活動の間だけでなく、日々愛そうと思います。

主の次の言葉を覚え、主にそのように言うにやぶさかしくなる者になりたいと思います。「わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである。」(マタイ 25:40) ■

シェリー・プロフィット・ハウエルズ
(アメリカ合衆国、カリフォルニア州)

伝道に出たくありませんでした

11歳のとき、南アフリカのヨハネスブルクでの地区大会で、ハワード・W・ハンター大管長（1907 - 1995年）がわたしの手を握って次のように言いました。「あなたはいつか伝道に出て立派な宣教師になるでしょう。」

たいていの若い男性なら、その言葉をいつまでも大切に心に抱き続けることでしょう。でもわたしは違いました。その後10年間、伝道に出たいとはまったく思いませんでした。それよりもスポーツでいい結果を出すことや友達とのつきあいに関心があったのです。2年間をささげるなら、すべてを捨てることになると思いました。

支部会長やステーク会長との面接では、伝道に出たくない言い訳をひねり出していました。

依然として伝道に出る気がなかった21歳のとき、アメリカ合衆国アイオワ州にいる家族に会いに行きました。家族は前の年にそこに移っていたのです。アイオワ州に滞在中、地元の独身会員支部の人たちと一緒にネブラスカ州ウィンタークォーターズ神殿に行く機会がありました。わたしはエンダウメントを受けていなかったため、死者のためのバプテスマを受けようと思いました。

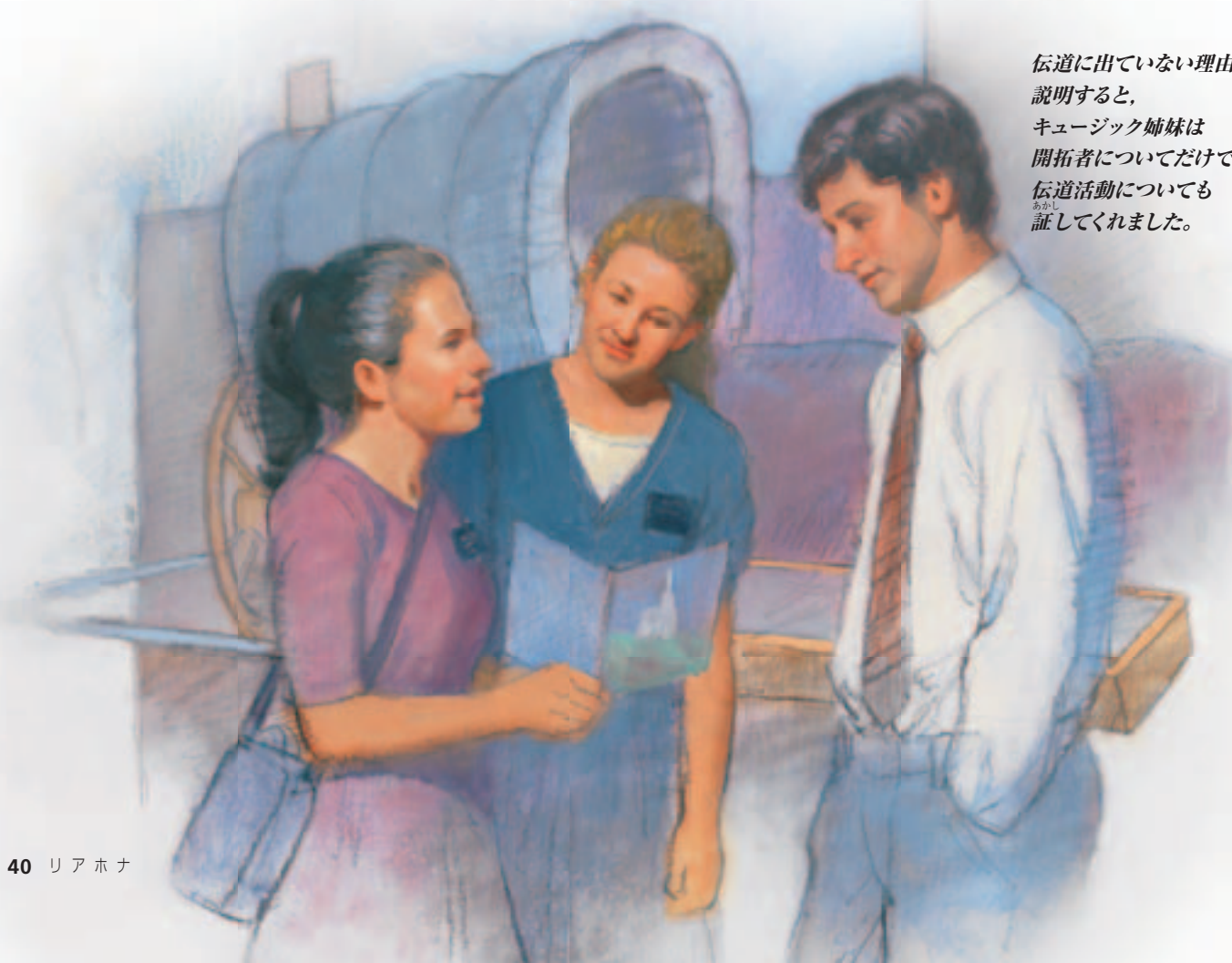
神殿に着くと、その日の午後はバプテスマのセッションは予定されてい

いことが分かりました。「参ったな。これから2時間半、何をしようか。」

わたしは通りの向こうにあるモルモン・トレイル訪問者センターに行くことにしました。開拓者についての15分の映画を見た後、二人の姉妹宣教師がわたしを個人ツアーに案内しようと迎えてくれました。わたしのことを少し聞くと、キュージック姉妹はどうして伝道に出ていないのかと尋ねました。いつもの言い訳が口をついて出ました。その後、キュージック姉妹は開拓者についてだけでなく、伝道活動についても証^{あかし}してくれました。

ツアーを終え、わたしは神殿のロビーで腰を下ろして考えていました。すると突然、伝道に出ない言い訳にしていた事柄への思いが鈍くなりました。伝道に出るべきだと、御霊^{みたま}が強く証し

伝道に出ていない理由を説明すると、キュージック姉妹は開拓者についてだけでなく、伝道活動についても証^{あかし}してくれました。



ました。姉妹宣教師たちと話し始めたときから、わたしの中ですべてが変わっていました。なすべきことを、御霊が心に証してくれました。

何か月も後になって知ったのですが、わたしに個人ツアーが必要だと静かな細い声がキュージック姉妹に告げていたそうです。キュージック姉妹はその理由を知りませんでした。主がわたしのために計画してくださっていたのです。

わたしは世界で最もすばらしい伝道部であるカリフォルニア州ベンチュラ伝道部で奉仕し、すばらしい友情を築きました。友情が永遠に続くことを願っています。わたしは10年間ハンター大管長の言葉を信じることはありませんでしたが、大管長は自分が言っていることをそのとおりに確信していたのです。

聖霊の導きに従って行動した一人の姉妹宣教師のおかげで、わたしの人生は完全に変わりました。■

ネビル・スミータ
(アメリカ合衆国、カリフォルニア州)

主はわたしの歌です

わたしは住民の大部分が末日聖徒であるアリゾナの小さな町に住んでいたため、宣教師や教会員からしばしば教会の話を持ちかけられました。子供たちとわたしは、教会に出席するように、聖典を読むように、あるいはその両方を、しきりに勧められました。わたしはまったく興味がなく彼らの招きに応じませんでした。わたしの家族に関心を払ってくれたことについては丁重に感謝を述べました。

後に結婚することになった女性と知

り合ったとき、自分は末日聖徒であると告げられました。わたしは彼女の霊性のすばらしさを感じ、結婚したら一緒に教会に通うことに同意しました。その言葉のとおり、わたしは定期的に教会に通い始め、雰囲気と友情を楽しむようにさえなりました。しかし、聖典を学び、教会に通い、また個人でも家族としても祈りましたが、まだ神の存在は疑わしく思っていました。どんなに一生懸命に努力しても、長年抱き続けてきた不可知論者的な考えを振り払うことはできないかのように感じました。最初のときよりも神に近づいたとは感じなかったので、バプテスマを受けるようにという勧めをすべて断りました。

わたしが6年間教会に通った後、アメリカ陸軍にいた父が突然に亡くなりました。家族とわたしは墓地で葬送ラッパの演奏が行われることを願いました。わたしはプロの音楽家なので、葬送曲を演奏するように頼まれました。これまで何百回も墓地の儀式で演奏してきましたが、この度は父の儀式ということで、いつもとは違ったものになるだろうと分かっていました。また、感情の高ぶりが演奏する技量に影響するというのも、母の葬儀での経験から知っていました。そこで、母の儀式のときのように感情が演奏を妨げないようにしようと心に決めていました。

儀式が始まる少し前に、わたしは心配になってウォーミングアップしようと思いました。練習でほんの幾つか音を出してみたところで、以前と同じ失敗を繰り返していることに気づきました。涙が出てきて、わたしは泣き始めました。すすり泣きで息継ぎができません。こんな状態でどうして演奏できるでしょうか。

わたしは自分が賞賛を受けることに

は関心がありませんでしたが、父に敬意を示したいと思いました。演奏を始めると、息継ぎが十分にできないことが分かりました。助けを求めることは自分らしくないことでしたが、このときには、ほかになすべきことが分かりませんでした。最初に出た音は弱々しいものでした。わたしは心の中で、「どうかお願いします」と天の御父に嘆願しました。2番目の音を吹いたとき、わたしの肺は空気で満たされ、ホルンの音は驚くべき美しい音色でした。曲の残りを、わたしは自分の能力以上に上手に吹きました。そして、最後の音を吹き終わると、突然に息が切れ、涙で空気を吸えませんでした。

一音楽家として、わたしは自分の長所と弱点を知っています。簡単に言えば、わたしは最善の状況の下でさえあれほど上手に演奏できなかったことでしょう。天の御父がわたしの嘆願にこたえて、この世の父親に敬意を示す力強さと能力を授けてくださったことは明らかでした。わたしたちが理解できる方法で天の御父はこたえてくださるといふ特別な証が与えられたのです。必要ときに御父からの答えがあったことで、わたしは、御父がいつもわたしの交流を望んでおられたということが分かりました。

数か月後に、わたしは不可知論者のハードルをクリアし、教会に加入しました。バプテスマを受けるには信じて一步を踏み出す必要がありましたが、わたしは、天の御父が祝福して下さると知っていました。葬送ラッパを吹いたときの経験から、天の御父がわたしの必要と理解に応じて祈りにこたえて下さるといふことを学んだのです。■

トム・サリバン(アメリカ合衆国、アリゾナ州)

七十人
ランドール・K・
ベネット長老

預言者に従う

わたしは、伝道から帰って来た翌晩に開かれたインスティテュートのパーティーで、将来妻となる天使に出会いました。シェリーとわたしはカナダの何百キロも離れた所で育ち、一度も会ったことはありませんでしたが、その後数か月の間に互いをよく知るようになりました。3度シェリーにプロポーズをしましたが、シェリーは伝道に行く決意を固めていたため断られました。しかし、子供を育て上げたら一緒に伝道に出ることを約束すると、シェリーはついにプロポーズを受け入れてくれました。1976年12月22日、シェリーは婚約指輪を受け取りました。

しかしその後数日間、二人とも頭を悩ませていました。結婚ではなく、婚約指輪のことで気をもんでいたのです。詳しくお話ししましょう。

預言者に従う決意

婚約に至るまでの数週間、シェリーとわたしはかなりの時間を割いて、家族をどのように養いたいのか、またどのような結婚生活を望んでいるか話し合いました。その話し合いの中心にあった事柄の一つは、常に預言者に従うという二人の決意でした。

婚約する2か月前、わたしたちは1976年10月の総大会で自立の原則を強調する説教をたくさん聞きました。これは、スペンサー・W・キンボール大管長（1895 - 1985年）が数年

にわたり常に教え続けていたテーマでした。シェリーもわたしも、家庭菜園や食糧貯蔵、常に備えていることの大切さを知りながら育ちました。しかしその総大会では、備えというテーマが特に共通しているように感じました。何人かの話者がその年の6月に起きたテトンダム洪水について触れました。そのうちの一人は、中央扶助協会会長のバーバラ・B・スミス姉妹（1922 - 2010年）でした。スミス姉妹は、自立、特に当時勧告されていた1年分の食糧貯蔵の重要性を強調しました。¹ キンボール大管長は、大会の最後の部会でルカによる福音書第6章46節の聖句を末日聖徒たちに思い起こさせました。救い主が、「わたしを主よ、主よ、と呼びながら、なぜわたしの言うことを行わないのか」とおっしゃった箇所です。それからキンボール大管長は、大会のメッセージを「家庭に、また将来の生活に」指針を与えるものとするよう強く勧めました。²

婚約後に、結婚生活と家庭生活のスタートについてシェリーと考えている間中、このメッセージが二人の頭から離れませんでした。二人とも口には出さずに、自分たちの家庭で家庭貯蔵をどのように始めようかと考えていました。当時の勧告に従うには、1年分の食料品を手に入れることから始める必要がありました。でも、どのように行えばよいのでしょうか。わたしたちは当時、そしてその後何年にもわたって学生であり、あまりお金がありま

婚約指輪は通常、
約束のしるしです。
しかし妻とわたしの場合、
婚約指輪がないことが、
主と主の預言者への
献身のしるしでした。

せんでした。聖霊は二人に、別々に、同じ答えを下さいました。婚約指輪を売る必要があると教えてくださったのです。

しかし、シェリーにどのように頼めばいいのでしょうか。まだ指輪をあげたばかりだというのに。指輪を売ってオート麦や小麦粉、米を買いたいと頼んだらシェリーはどう思うでしょうか。一方、シェリーも困っていました。わたしの選んだ指輪を売ろうと提案したらわたしがどう思うだろうかと考えていました。わたしを傷つけるのではないかと心配していたのです。

しかし、二人が感じた促しは非常に強く、無視できませんでした。このことについて考えれば考えるほどダイヤモンドの指輪が目につくようになって

きました。クリスマスの数日後にシェリーがこの話題を持ち出したとき、わたしはシェリーと同じ結論に達してくれたことに安堵しました。様々な点で、正しい結婚相手を選択したことを互いに確認できるすばらしい機会となりました。優先順位と価値観が互いに、また神の預言者と一致していることを知り、とても心強く感じました。シェリーがそのような犠牲を進んで払い預言者に従ってくれたことにとても感謝しています。

くれぐれも、この話を誤解して指輪を売らないでください。婚約指輪を買ったり身に着けたりすることは間違ったことではありません。実際、すでに結婚している我が家の子供たちは皆すでに分相応な指輪をはめて

います。預言者や使徒に従い、その勧告を自分自身の生活に当てはめる方法は様々です。しかし、御霊はわたしたちに、預言者に従って婚約指輪を売るよう導きを与えてくださったので、わたしたちの場合、指輪を所持し続けるか預言者に従うかを選ばなければなりません。この経験は、結婚当初から家庭に二つのパターンを確立するうえで役立ちました。つまり、預言者に従うことと、個人的に受けた霊的な促しに従うことです。

決意に対する答え

指輪を買った宝石店はクリスマスの後1週間ほど閉まっていたのですが、店がまた開くとすぐに店員に話をしに行きました。わたしは、てっきり店員が返金に応じないものと思っていました。なぜなら、指輪はずっと身に着けていたため中古品となっていたのですから。わたしはそのような対応を覚悟し、かなり安い値段で中古品として指輪を売るしかないだろうと思っていました。しかし、驚いたことに宝石店の店員の心は和らげられていました。わたしは全額返金されたお金を手に店を出たのです。わたしたちが主に従えるよう主が道を開いてくださったことに驚いたわたしの口は、ぼかんと開いていました。

わたしたちの決意を快く受け止めない人もいました。教会員の友人を含め友人の中には、わたしたちが行ったことを知り、わたしがシェリーのために作った皮製の小さな指輪を見て、わたしたちは正気ではないと言う人もいました。シェリーと同年代の女性の中には、シェリーが進んでそのようなことをしたことが信じられない人もいま

した。励ましや支えとなってくれたのはほんのわずかな人たちだけでした。

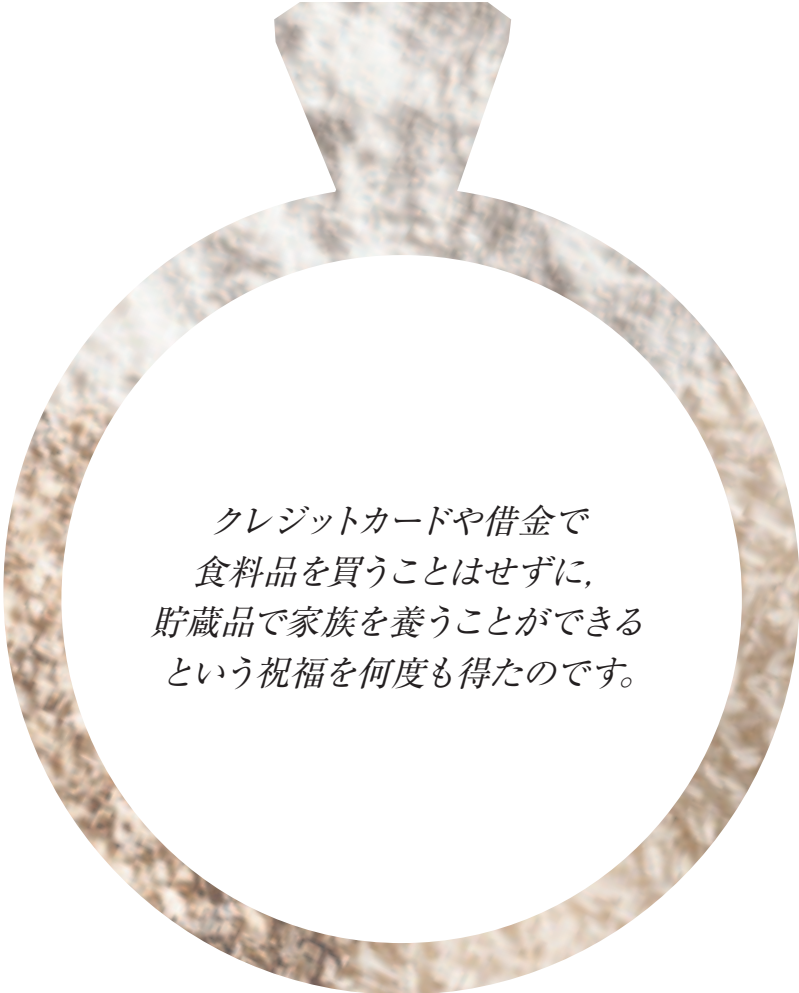
シェリーは強く、人が何と思おうと自分は大丈夫だと確信していました。確かに預言者に従っているという確信があったのです。それは、何にも増して大切なことでした。しかし主はわたしたちが孤独を感じないように、二人の友人という形で主の^{あわ}隣れみ深い^{みこころ}御心を示してくださいました。

友人のボブとわたしは高校時代、フランに教会を紹介しました。わたしたち3人はその後伝道に行き、フランが伝道から戻るとフランとボブは婚約しました。二人がシェリーとわたしのところにその良い知らせを伝えに来たとき、彼らも婚約指輪を買わずに食糧貯蔵品を購入するためにお金を使うことにしたことを知りました。わたしたち4人は、御霊が同じようなことをするよう導きを与えてくださったことを興味深いと思いました。聖霊と生ける預言者に従うと決意することにより、わたしたちの友情はさらに強められ、40年以上も続いています。

従順から得られる祝福

1977年1月にシェリーとわたしは食糧貯蔵の基本的な食品の購入を始め、その年の4月に結婚するまで少しずつ買い足していきました。結婚するまでの間、食料品は両親の家に蓄えていました。

わたしが大学の学部を卒業しさらに歯科学学校を卒業するまでの長い間、シェリーはその皮製の指輪を結婚指輪として身に付けていました。教育を受けている期間中、わたしたち家族は何度も引っ越しました。わたしたちは小麦粉の入った容器をアパート



クレジットカードや借金で
食料品を買うことはせずに、
貯蔵品で家族を養うことができる
という祝福を何度も得たのです。

からアパートへ、家から家へ、町から町へ運ぶのにすっかり慣れました。友人たちはわたしたちが引っ越す度にわたしたちを避け始めましたが、時を経て、わたしたちは教会の指導者の勧告に従ったことに深く感謝するようになりました。

わたしが歯科学学校を卒業し歯科医として働き始めたとき、シェリーとわたしには二人の子供がおり、文字どおり一文無しでした。ありがたいことに、わたしたちは結婚直前に手に入れた食料貯蔵品のおかげで生活することができました。預言者の勧告に従うことにより、結婚後10年以上がたつてさらに教育を受けて歯列矯正の研修医となったときにも祝福を受けました。またしても経済的に苦しくなったわた

したちは、クレジットカードや借金で食料品を買うことはせずに、貯蔵品で家族（このときには4人の子供がいました）を養うことができるという祝福を得たのです。

それ以来、わたしたちは預言者の言葉に耳を傾けることによりそのほか多くの点で祝福を受けてきました。わたしたちは、預言者や使徒の教えの正当性を疑ったり妥当か否か危ぶんだりしないことを学びました。勧告に従って行動する、それもすぐに行動することにより、生活に祝福が与えられることを学んできました。

預言者の言葉に耳を傾けることを学ぶ

わたしたちの行ったことは盲従だと言う人がいるかもしれませんが、

預言者がわたしたちを誤った道に導くことは決してないと、主は個人的にわたしたちに約束してくださっています。³ このことを知っていると、預言者や使徒の声を主の声として聞くことができます（教義と聖約1:38 参照）。

また、生ける預言者は通常何かをするようわたしたちを招くということも学びました。生ける預言者が命じるまたは忠告するなどといった言葉を使うことはめったにありません。預言者は思いやりをもって穏やかにわたしたちを招きますが、それはわたしたちが預言者に従わない口実にはなりません。シェリーとわたしは、招きを戒めとして受け止めるときに常に祝福を受けてきました。

さらに、次のような言葉に注意して預言者の話を聞くことにより、預言者の教えを見いだすことができることも学びました。すなわち、「ずっと深く考えてきたのですが……」「わたしの頭から離れなかったのは……」「みなさんにお伝えしたいことは……」「……について助言させてください」「わたしの望みは……」などの言葉は、主の油注がれた僕たちの考えや思いを知るうえで役立つ手がかりとなります。

預言者と使徒の言葉に耳を傾けるときに主の声を聞く助けとなるもう一つのことは、預言者や使徒がほかの預言者や使徒の言葉を引用するときに特に注意を払うことです。主は、二人または三人の証人の口によって主の言葉を確定すると教えておられます（2コリント13:1；教義と聖約6:28 参照）。

わたしたちが婚約する前の総大会で自立のメッセージが何度も繰り返され

たため、妻とわたしはそのメッセージが当時のわたしたちに特に向けられたものだと感じました。わたしたちは、目に見える形でその勧告に従うよう靈感を受けました。しかし、預言者に従うときに、常にほかの人の目に見えるわけではありません。預言者への従順はしばしば、よりささやかで個人的な形で示されます。自分自身が従順であることをほかの人が知っているか否かにかかわらず、主は御存じです。そして、主はわたしたちの従順さのために祝福し、勧告を実現できるよう道を開いてくださいます。

現在シェリーは一般的な結婚指輪を身に着けていますが、小さな皮製の指輪をずっと思い出の品として大切にしています。わたしたちにとって皮製の指輪は、預言者の勧告に従うことを常に家庭生活の中心に据えるという結婚当初の決意の象徴です。現在子育て中のわたしたちの子供たちの家庭でも、主の預言者トーマス・S・モンソンに忠実に従うことが家庭生活の一部となっていることに感謝しています。わたしたちにとってこの従順はすばらしい受け継ぎであり、婚約指輪と同様、聖約を守ることの生きた証^{あかし}なのです。■

注

1. バーバラ・B・スミス「彼女はその家の者のために雪を恐れない」『聖徒の道』1977年2月、159-160 参照
2. スペンサー・W・キンボール「人のためのプログラム」『聖徒の道』1977年2月、147
3. ハロルド・B・リー“The Place of the Living Prophet, Seer, and Revelator”（1964年7月8日、セミナーおよびインスティテュート職員への話）13；マリオン・G・ロムニー、Conference Report, 1960年10月号、78；*The Discourses of Wilford Woodruff*, G・ホーマー・ダーハム編（1946年）、212-213 参照



現在シェリーは一般的な結婚指輪を身に着けていますが、小さな皮製の指輪（下）をずっと思い出の品として大切にしています。わたしたちにとって皮製の指輪は、預言者の勧告に従うという結婚当初の決意の象徴です。



悔い改める回数に 限度がありますか。

同じことについて何度も繰り返して
救しを求めなければならない場合、
どこかの時点で
限度に達するのでしょうか。

次の二つのことを心に留めて
おく必要があります。(1)
神の憐れみは実に無限であり、
(2) 真の悔い改めとは罪を捨てる
ことを意味します。

一方では、イエス・キリストの
無限の贖罪があるおかげで、す
べての人は、たとえ何度も同じ過
ちを犯してきた人であったとして
も悔い改めることができます。預
言者アルマはこう述べています。
「見よ、主はすべての人を招き、憐れ
みの御腕を伸べて、『悔い改めよ。

そうすれば、わたしはあなたがた
を受け入れよう』と言われる。」
(アルマ 5:33)

他方では、預言者ジョセフ・ス
ミスは次のように教えています。
「悔い改めは、日々もてあそぶよう
なものではありません。毎日戒め
に背いて毎日悔い改めるのは、神
の目にかなうことではありません。」
([『歴代大管長の教え——ジョセ
フ・スミス』[2007年], 74)

では、悔い改めにとって大切な
のは何でしょうか。主はジョセフ・
スミスに次の啓示を与えられま
した。「人が罪を悔い改めたか
どうかは、これによって分かる。
すなわち、見よ、彼はそれを告白
し、そしてそれを捨てる。」(教義
と聖約 58:43) また、アルマは
次のように教えています。「悔い
改める人はだれでも、必ず憐れみ
を受ける。そして、憐れみを受け
て最後まで堪え忍ぶ人は救われ
る。」(アルマ 32:13。強調
付加)

つまり、罪を告白して捨て、生
涯の最後まで忠実であるように努
めなければなりません。特定の
罪を克服するのに苦勞していて



も、心からの悔い改めには限度があるという誤った考えを持ってあきらめてはなりません。両親とビショップまたは支部会長に助けを求めてください。生活から罪を取り除き、天の御父とイエス・キリストにもっと近づこうと努めるとき、彼らの愛と支援と助言が助けになるでしょう。■

動物に霊はありますか。 動物は死んだ後、 どうなるのでしょうか。

はい、動物に霊はあります(教義と聖約 77:2-3 参照)。もちろん、動物の霊とわたしたちの霊との間には大きな違いがあります。わたしたちは天の御父の息子や娘ですが、動物はそうではありません。

預言者ジョセフ・スミスによれば、天には少なくとも幾らかの動物がいます。ジョセフ・スミスはこう述べています。

「ヨハネは不思議な姿形をした生き物が天にいるのを見ました。……実際に天にいて、神に栄光を帰している光景を見たのです。……(黙示 5:13 参照)……」

ヨハネは多種多様な生き物が天にいるのを見たと思われます。この地球のような幾千幾万という地球から救われた生き物であって、わたしたちの思いも及ばない珍しいものでした。これらはすべて天で見ることできるものでした。ヨハネは、神がその手によって造られたすべての

もの、すなわち獣や鳥、魚、人を救うことによって栄光を受けておられることを知ったのです。そして、神はこれから後もそれらによって栄光をお受けになるのです。」(History of the Church, 第5巻, 343)

ですから、動物は死んだ後どうなるのか完全には分かっていませんが、ある種の救いと不死不滅を得ると、わたしたちは信じています。■

教会員でない人も 聖餐を受けて よいのでしょうか。

御存じのように、聖餐のパンと水は教会員にとって意味のあるもので、それを受けることによって、わたしたちはバプテスマの聖約を更新します。だからといって、わたしたちは聖餐会のときに、教会員でない人が聖餐を受けるの

を妨げるようなことを決してしてはなりません。

教会員でない友人や家族を教会に招待するのは良いことです。教会の集会で歓迎されていて居心地がいいと感じてほしいと思います。聖餐会に備えて、聖餐の目的と集会で行われることを事前に説明しておくといよいでしょう。聖餐を受ける必要があるかどうか尋ねられた場合、自分で決めてよいことと、しかし聖餐はバプテスマの聖約を更新する教会員のために定められたものであること、それだけを簡潔に述べてください。

十二使徒定員会のダリン・H・オックス長老は次のように述べています。「聖餐会は、聖餐の儀式が行われる場であることから、教会における最も神聖で重要な集会です。」(『リアホナ』2008年11月号, 17) わたしたちは、教会員でない人がこの重要な儀式を理解できるように助ける必要がありますが、同時に彼らが教会の集会で居心地の良さを感じられるようにしなければなりません。■



あなたの神の宮を 大切にしてください



健康に良いものを選ぶと、健康になります。
(教義と聖約 89 章参照)

アモス3:7

この聖句から預言者の本質的な役割を知ることができます。



主なる神

「この世で最も大切にすべき事柄、すなわちわたしたちが関心を向けることによって幸福を得ることができ、逆に無関心であれば悲しみをもたらすような重要な事柄について、天の御父ははっきりとした指示をお与えになります。なぜならば天の御父は御自身の子供たちを愛しておられるからです。天の御父はこれらの事柄を靈感によって個人に直接お教えになることが時にはあります。けれども、このような重要な事柄については、個人の啓示だけでなく、天の御父の僕たちを通じて明らかにされます。……天の御父が預言者を通じて語られるのは、靈感を受け止められない人々も、彼らが耳を傾けさえすれば、真理が語られていること、警告を与えられていることに気づけるようになるためです。」

大管長会第一顧問 ヘンリー・B・アイリング管長
「家族」「聖徒の道」1998年10月号, 12

主は示される

主は御自分の預言者にどのような方法で御心を伝えられるのでしょうか。方法はたくさんあります。次に挙げるのはその一部です。

- 聖霊を通じて与えられる靈感 (2ペテロ 1:21 参照)。
- 示現と夢 (民数 12:6; 1 ニーファイ 8:2 参照)。
- 天からの訪れ (ジョセフ・スミス—歴史 1:16 – 17; 教義と聖約 110:8 参照)。

主がなされるのでなければ、町に災が起るだらうか。
 主のしもべである預言者にその隠れた事を示さないでは、何事をもなされぬ。



主の僕である預言者

「繰り返しますが、聖典には、主が御自分の戒めを生ける預言者を通して人の子らにお与えになることが記されています。いかなる組織や集まり、またどのような権威も、主の律法に反する教義を主に指図する権限はありません。神の永遠の祝福は、わたしたちの従順さと、聖なる預言者たちを通して啓示される主の御言葉を固く守るかどうにかかっているのです。」

十二使徒定員会 L・トム・ペリー長老
「リアホナ」2003年11月号, 88

隠れた事

「隠れた事」という言葉の、聖書で用いられているヘブライ語の原語は、文字どおり「勸告」を意味します。したがって、それは主の計画あるいは意向に関係しています。



最近、生ける預言者たちと使徒たちから、何をするようにと言われたでしょうか。最近の総大会を振り返って (conference.lds.org 参照), 主の僕たちの話から何を行うようにと促しを感じたか、日記に書き留めてください。

編集者注 — このページの目的は、聖句の完全な解釈を示すことではありません。このページを参考にして各自で学習を深めてください。

アレックスの偉大

アレックス・エスコバル兄弟は、
自分の光を掲げることによって、
永遠に続くすばらしい影響を家族に与えました。



8年前、アレックス・エスコバル兄弟は、アロン神権の教師の職にあったときに専任宣教師になる決心をしました。自分が伝道に出るときに父親がビショップになっているなど、当時は考えられませんでした。

父親は10年以上教会に行っていなかったからです。しかし、アレックスは一人で教会に行き、父親に対しても、家族のだれに対しても決してあきらめることはありませんでした。

「模範がいかに大切かということは自分で分かっていました」とアレックスは言います。

わたしを捜しに来てくれた指導者

若い男性が家族の助けなしに活発な教会員でいるためにはどうしたらよいのでしょうか。アレックスが若いアロン神権者だったころビショップを務めていたマリオ・サイヤス兄弟は、アレックスが活発でいられたのは、本人の証と、若い男性の献身的な指導者たちのおかげだと言います。アレックスもそのとおりだと言っています。

「日曜日に教会に行かないと、指導者はわたしを捜しに来ました。わたしは少しずつ福音を学び、やがて証が強くなりました。教会に行き続けたもう一つの理由は、イエス・キリストの福音を通してのみ家族で永遠に幸せになれるということを知っていたからです。」

その幸せを目指して努力するということは、アルゼンチンのコルドバにある



な模範

教会で、たとえ友達の信仰が揺らいだとしても、強い会員であり続けることを意味していました。

「知恵の言葉や純潔の律法を破るよう誘惑されることは何度もあります」と言うアレックスは、サイヤスビショップから受けたアドバイスに力づけられたそうです。「ビショップは、『ふさわしい奥さんをもらう道はただ一つ、自分自身がふさわしくなることです』と言っていました。この言葉にはずいぶん助けられました。」

専任宣教師に召される夢を見てから、アレックスの証はさらに強くなりました。伝道に出る準備を始めましたが、福音を伝えるのは、19歳になるまで待つことはなく、まず自分の家族から始めました。

サイヤスビショップはこう言います。「アレックスはいつも家族のために祈り、家族に働きかけていました。そして、教会に来るよういつもお兄さんたちに勧めていました。エスコバル家族が教会に戻れたのはアレックスのおかげです。」

「わたしは頑固者でした」

アレックスの父親レネは、教会に来なかった13年を振り返って、その間にいかに多くのものを失ったことかと嘆きます。

「教会に来なかった年月はとても苦しいものでした。福音がもたらす素晴らしい生活の喜びがなかったこの年月について、わたしは時々どうしても考えてしまうのでした。」

エスコバル家族は、アレックスが子供のときに教会に入りました。アレックスがバプテスマを受けてから間もなく、母国であるボリビアに帰ったのですが、それまでは教会に活発に集っていました。レネによると、ボリビアにいる間に「福音が生活にどんな意味を持つのか」を家族は忘れてしまったそうです。

2年後にコルドバに戻ってから、アレックスの母親カルメンは4人の子供を連れて時々教会に行っていました。しかし、レネはサッカーをするのに夢中で、土曜日には試合とそれに関係したつきあいがあり、日曜日は疲れて起きられませんでした。しかも、そのつきあいで知恵の言葉を破ることがよくありました。

レネは言います。「わたしは頑固者でした。人はほんとうにだめだと思ったときにはすでに御霊^{みたま}がなくなっているのですが、わたしにはそんなことが時々ありました。」

レネがそのような生活をやめたのは、結局、自分の悪い模範が子供たちを傷つけていることに気づいたからでした。レネはそのときのことを思い出してこう言っています。「父親が教会から離れていたために息子たちは自分たちだけで教会に行っていて、親のない子のようにでした。」

わたしは生活を振り返り、自分の悪い模範が子供たちにどんな影響を及ぼしているのか考えました。」こう話すレネは、イエス・キリストの贖^{あがな}いの力によって悔い改めることができたことに感謝しています。「自分が父親の責任を十分に果たしていなかったことに気がつきました。こうしたことがすべて積み重なって、わたしは主を思い起こすようになり、ひざまずきました。そして、福音に戻れるよう助けてくださいと主に祈ったのです。」

忠実になり、証が強くなるにつれて、レネは次々に召しを受けるようになりました。再び福音に従うようになって数年たったころ、レネは主が自分に重要な召しを新たに用意しておられることを感じました。

「そして、父はビショップに召されたのです」とアレックスは言います。

模範の大切さ

アレックスがアルゼンチン・レジステンシア伝道部で奉仕している間は皆寂しく感じましたが、アレックスがほかの人に模範を示していることに感謝しました。そして、2009年にアルゼンチン・ブエノスアイレス神殿で結び固められたことに皆感謝しています。

カルメンはこう言います。「わたしたちのために、わたしたちやワードの会員と一緒にいつも働いてくれたのは、アレックスでした。アレックスは両親が教会に戻って来るよういつも祈っていたと教会員から聞かされました。わたしたちのことをあきらめないでいてくれたことに感謝しています。」

エスコバルビショップは、ビショップに召されて初めて伝道地に送り出したのがアレックスだったことに喜びを感じています。「息子が伝道に出るというのはうれしいものです。皆アレックスがいなくて寂しいと思っただけで、いちばん寂しいのはわたしです。この子には助けられましたからね。」

末日聖徒が良い模範を示せばほかの人はそのうち気づくとアレックスは言います。「わたしたちが教会の中で幸せであり、満足していれば、人はその幸せにあずかりたいと思うようになります。堪え忍んで前進すれば、奇跡は起こるのです。」■

十二使徒定員会
リチャード・G・
スコット長老



どのようにすれば 神殿参入 を最も生かすことができるでしょうか

末日聖徒イエス・キリスト教会の各会員は、祝福された時代に生きています。主が御自分の預言者たちに靈感を与えて、聖なる神殿をこれまでよりも大いに身近なものとしてくださっているからです。

わたしは皆さんを愛していますので、心から、率直に話します。わたしはこれまで、教会員が大きな犠牲を払って遠くにある神殿に行くのを何度も見てきました。ところが、近くに神殿が建つと、短い間に多くの人が定期的に神殿を訪れなくなってしまいます。そこで提案があります。神殿が近くであって行きやすいと、ささいなことで神殿に行く計画を取りやめてしまうことがあります。状況を考えながら、いつ神殿の儀式に参加でき、また参加しようと思うかについて、具体的な目標を定めてください。そして、どんなことであっても計画を妨げるのを許さないでください。こうすることで、神殿の近くに住む人も、神殿に行くためにずっと前から計画を立て、長い旅をする人と同じように祝福を受けることができるでしょう。

皆さんも、現在儀式が行われている神殿で受けられる儀式にどのくらいの頻度で参加するか、自分自身の目標を定めるようにお勧めします。神殿に参入して儀式に参加すること以上に大切なことがあるでしょうか。神殿に行くこと以上に大きな影響力を持ち、大きな喜びと深い幸福をもたらしてくれる活動があるでしょうか。

神殿参入からさらに恵みを得る方法について、ほかにも幾つか提案しましょう。

- 神殿の儀式に関連する教義、特にイエス・キリストの贖罪しよくざいの意味を理解する。¹
- 神殿の儀式に参加しながら、自分とイエス・キリストの関係、主と天の御父の関係について考える。この簡単な行いによって、神殿の儀式が持つ神聖な性質がさらに理解できるでしょう。
- 神殿の儀式から注がれる比類ない祝福に対して、常に祈りをもって感謝を表す。それらの祝福が自分にとってどれほど大きな意味を持つものであるかを、日々の生活を通じ

て天の御父と神の愛子あいしに示しましょう。

- 神殿を定期的に訪問する予定を立てる。
- 神殿内で急ぐ必要のないよう時間を十分に取る。
- 主の宮に入るときに腕時計を外す。
- 思いと心を開いて、儀式の各部分で語られることに注意深く耳を傾ける。
- 自分が身代わりの儀式を行っている人のことを心に留める。その人がこれらの儀式がきわめて重要なものであることを認め、そこから恵みを受けるにふさわしくあるように、またはふさわしくなる備えができるように、時々祈りましょう。

時々、神殿の奉献式で聖歌隊の歌を聞くとき、とても崇高な気持ちを感じ、心と思いが高められることがあります。目を閉じて一度ならず、頭の中で、神殿から天へと広がるように続く人の群れを見たことがあります。彼らはその聖所で身代わりの業が行われるのを待っていた多くの霊であり、永遠の進歩を妨げる鎖から解放して



もらえる場所ができたことを喜んでくれるのだと、わたしは感じました。その目的を達成するためには、身代わりの業を行う必要があります。また、先祖を見いだす必要があります。新しいファミリーサーチ (FamilySearch) プログラムが、この取り組みを以前よりも容易にしてくれます。先祖を見いだし、情報を提出し、主の宮に行って彼らが受けたいと切に望んでいる儀式を執行する必要があります。

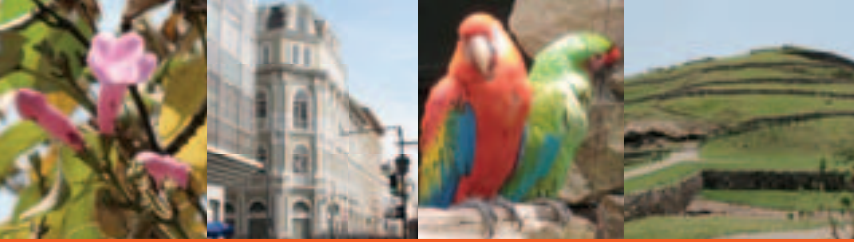
神殿の業に参加できるのは、何という喜びでしょうか! ■

この話は2009年4月の総大会での説教を基に書かれました。

注

1. 教義と聖約 88 章, 109 章, 131 章, 132 章から学習を始めるとよいでしょう。

**神殿に行くこと以上に
大きな影響力を持ち、
大きな喜びと
深い幸福をもたらしてくれる
活動があるでしょうか。**



独りでも 孤独 ではない

教会機関誌

ジョシュア・J・パーキー

どこに住んでいても、
自分はほかの人たちと
違うと感じる時があります。
そのようなときには、
自分の歩むべき道をそれずに
正しい行動を取ることが大切です。

Iクアドルのクエンカに住む18歳のファン・カブレラは、ほかの人と異なるというのがどういうことか知っています。ファンは人口約50万人の都市に住むごく少数の末日聖徒の一人です。友達からの影響が強く、誘惑に負けてしまいそうになるのです。でも、どんな誘惑よりも強い力の源があることを知っています。



目標を定める

ファンは子供のとき両親から、標準に従いなさい、そうすれば人生が祝福されると教わりました。そのおかげで才能を伸ばすことができました。彼はこう説明しています。「小さいときから、プライマリーや若い男性で楽器を習うという目標を立てました。バイオリンやフルート、ピアノを習い、今はギターを弾きます。いちばん好きなのはギターです。」

また、『神への務めを果たす』に基づき、体力増進を目標に定めました。長年にわたり、テコンドー（朝鮮の武道）、水泳、体操を学び、学校のランニングチームにも所属していました。

「学ぶのが大好きです。だからいつも新しい楽器やスポーツに挑戦して、もっと何かを学ぼうとしました」とファンは語っています。

また、このような目標はさらに大きな目標へとつながっていきました。ファンはこう説明しています。「これまでやってきたこと、勉強してきたことはすべて、体力作りや定めた目標も全部、伝道に出るという目標につながっています。そして伝道に出ることは、もう一つの目標の一部にすぎません。それは神殿で結び固められ、良い夫になるという目標です。」

断ることを学ぶ

このようにしっかりと目標を定めていても、目標から目をそらさないことは容易ではないことをファンは知っています。数年前、同じワードの年長の若い男性たちから力強い勇気をもら

いました。ところが彼らの大半が引っ越すか、または長老定員会に出席するようになり、物事がうまくいかなかったときに支えてくれる教会の友達がほとんどいなくなってしまうました。そこでファンは両親や兄弟、天の御父に、支えとなる力を求めました。

「標準が異なるとか、生活のしかたや人とのつきあい方、人生に求めるものが異なるために、少しさびしく感じるがあります。」ファンは自信をもって付け加えます。「でも実は、決して孤独ではありません。いつも祈り、天の御父に近づくことができます。正しいことを行う力と、正しくないことをする友達に立ち向かう勇気を得られるよういつも祈ってきました。」

さらに続けてこう言います。「それに、ほくの模範と断る強さがすごいって友達から言われたことがあります。」

堅固に立つ

ファンが直面した誘惑の中には断るのが容易なものもありました。お酒を飲むように友達から勧められたとき、断るのは簡単でした。戒めを破ることだとはっきり分かったからです。

ファンはこう説明します。「でも、もっと微妙な誘惑を受ける時があります。聖文に書かれているように、本心が隠されていることがあります〔マタイ7:15 参照〕。特定の戒めを破ることではないように見えるので、何も悪いことではないと思わせるのです。そういう時こそ、混乱させられずにほんとうのことが分かるように祈らなければなりません。何か間違っ

ているとき、あるいは悪いことをするように仕向けられるときに、真実が分かるように何度も御霊みたまに助けてもらいました。」

ファンは伝道の準備をしながら、自分を支えてくれる教会の新しい友達を作ってきました。

ファンはこう語っています。「今ではほかの青少年に模範を示しています。これは自分にとっても祝福です。そのおかげで、強さと忠実さを身に付ける努力は、祝福を受けるにふさわしいものだと分かるようになりました。」■



いちばん上——家族と一緒のファン。
上——クエンカの中を流れる4本の川の一つ。

日々の証

あかし

わたしの証は、一つの奇跡ではなく、
日々福音に従って生活することから生まれます。

若いころ、わたしは自分に証があることを自分に証明するために、いつも奇跡を求めていました。福音が真実だと何の疑いもなく分かったという奇跡のような経験談をよく聞いたことがありました。例えば、誘惑や危機に立ち向かった話、小さな単純な行為で何百人もの人を教会へ導いた話、人生の窮地に陥ったときに聖典を開いたら答えが見つかったという話などです。わたしの好きな話は、夜、家に帰る途中で危険がひそんでいたとはつゆ知らずに、危険を回避したことが翌日になって分かったという話です。そのほか、奇跡的な癒しの話や天使が人を守ってくれた話などを聞いたことがあります。自分にもそのような奇跡を経験する番がやって来るのが待ち遠しくてなりません。教会に対する証を持っていると分かるように天使や光を見ることを期待していました。

わたしは両親から、祈り、教会へ行き、聖文を読み、慎みのある服装をし、世の影響を受けずに清い生活を送り、主を信頼するよう教わりました。正しく生きる自信がありました。

ただ証があることを証明し、それをだれかに気づいてほしかったのです。

家庭の夕べや日曜学校で、仲間からのプレッシャーに対抗するため

に効果的な応答のしかたをよく練習したので、そのせりふを言ってみたくてしかたありませんでした。例えば、こんな場面を想像しました。友達と一緒にいると、だれかがお酒を取り出して、みんなに回します。わたしにビールが手渡され、みんなの視線が自分に注がれます。プレッシャーが高まり、わたしは立ち上がって言います。「いいえ。わたしはモルモンだから、お酒は飲まない。」みんなが恐れ入ったという顔をします。どんなに説得されても負けない態度を示したのです。まもなくみんなが散って行きますが、その場にいた一人がこう言います。断固たる態度がとても感動的だったから、教会についてもっと知りたいと。天使たちが賛美の歌を歌い、わたしは光に満たされるのです。

こういうことは決して起きませんでした。だれもそのような誘惑を仕掛けることはなかったのです。生活態度からわたしの標準をすでに知っているようでした。がっかりしたこと、得意の見せ場は一度も訪れませんでした。

でも今は、証を持つには天使が現れる必要はないことを知っています。わたしの証は、聖霊の証を感じ取り、従順に伴って与えられるごく普通の祝福を享受しながら、日々福音に従って生活することから生まれるのです。

わたしは自分がだれであるかを知っています。神がわたしを愛しておられ、救い主がわたしの罪のために贖^{あがな}ってくださったことを知っています。これがわたしの証です。これを知っているので心に平安を感じます。

教会が真実であることを知る奇跡的な経験があったとは言えませんが、**確かに**証があることを知っているのでうれしく思います。だから天使がわたしに現れるときまで、ごく平凡な生活を送り、福音が真実だと知るという、ごく普通の祝福を受けることに満足しようと思います。■



わたしたちのスペース

● 霊感に満ちた聖句

- は聖典から何か霊感に満ちたメッセージを
- **母** わたしたちに伝えたいと思うときには、いつも
- アルマ書第37章37節を引用します。これまで
- 何度もその聖句を使ってきたために、母がその聖句
- を読み始めると、すでに覚えてしまっているわたし
- たちは母と一緒に唱えます。
- どうして母がいつも同じ聖句を引用するのか、
- わたしは時々不思議に思っていました。毎日の生活
- の中で祈りをささげ、感謝をしなければならぬこと
- は分かっています。しかし、いちばん感動したのは、
- 初めて母の願いに気づいたときのことでした。母は、
- 天の御父とイエス・キリストがいつもわたしたちを
- 見守っていてくださることをわたしたちに決して忘れ
- ないでほしいと願っていたのです。
- 試練や苦難のただなかには、わたしは
- 必ずその聖句を読むことにしています。わたしは
- 天の御父とイエス・キリストが愛にあふれた御方で
- あることを、いつも思い出しています。わたしは
- すべての祝福に感謝する必要があります。祈りに
- ついて、また試練の中にあっても感謝することに
- ついて母がわたしの考え方を覚えてくれたこと
- を忘れることはありません。

ハンナ・M (フィリピン)

なぜわたしは 伝道しているのでしょうか

伝道は実に素晴らしいです。

わたしが伝道の奉仕をしようと決心した理由の一つに、故郷の支部に赴任して来た宣教師の存在がありました。ある時、わたしはその長老に尋ねました。「長老、どうしてあなたは仕事も家族も置いて、伝道に出たのですか。」

彼の答えはこうでした。

「兄弟、わたしが伝道に出た理由は二つあります。一つは、わたしが神を愛しているからです。もう一つは、まだイエス・キリストの福音について聞いたことがない人々を愛しているからです。」

(モーサヤ 28:3 参照)

その宣教師がいたおかげで、わたしは今伝道に出ています。

パレス長老 (フィリピン・バギオ伝道部)



わ たしがこのイングランド・ロンドン神殿の写真
を撮影したのは、伝道に出る兄がそれに先
立って自身のエンダウメントを受けるために家族と
一緒に神殿に行ったときのことです。わたしは神殿
に参入する兄を見て、誇らしく思ったものでした。

家族が神殿に入っている間、わたしは平安に包ま
れた敷地の中を歩き、天父にひたすら思いを向けて
いました。主を身近に感じるためには、必ずしも神
殿の中になければならないわけではありません。
わたしは主の宮の美しさを思い、いつの日か神殿の
祝福を受ける日を待ち切れないうるようになった
のです。

神殿から出て来た兄の喜びに満ちた顔を見て、
さらに証も強まりました。兄が救い主を愛している
ことを実感し、神殿の祝福がたとえようもないもの
であることを知ったのです。

この素晴らしい写真を見ていると、あの特別な日
のことが思い出され、正しいことを実践しようと
するわたしの励みになっています。この写真は
額に入れて、寝室に飾ってありますが、この
写真を見る度に思うのは、いつの日か、
主の宮に入って自分自身のエンダウメント
を受けられるように、ふさわしい生活を
することがいかに大切か、ということです。
わたしがその写真をフェイスブックの
自分のページに掲載すると、非常に好意的
な反応がたくさん返ってきました。この
写真を見た人は皆、とてもいい写真だと
言ってくれますし、福音について人々に
説明する機会がずっと増えたのです。

エミリー・M (イングランド)

だれと福音を分かち合ったらいいのかしら。
わたしの心にはすでにあの人のことが浮かんでいました。

真の喜び

メリッサ・ルイス

「あなたがたは……一人でもわたしの
もとに導くならば、わたしの父の王
国で彼とともに受けるあなたがた
の喜びはいかに大きいことか。」(教義と聖約
18:15)

ビショップがこの聖句を読んだとき、わたし
の心はときめきました。福音を紹介した人の
バプテスマ会に参加している自分の姿が目
に浮かんだからです。その友人も喜んでくれる
でしょうし、わたしがいたからこそ、その友人
がバプテスマを受けるんだということも皆分
かってくれるはずです。わたしの喜びはどれ
ほど大きいでしょうか。

すぐに心に浮かんだ名前はアンジェラでした。
わたしの親友で福音を必要としていました。
福音を聞いて、自分が神の娘だということが分
かれば、彼女のそれまでの疑問は解消し、成長
の助けにもなるはずだと確信できたのです。

翌日わたしは彼女に尋ねました。「アン
ジェラ、わたしたちの教会で今週の土曜日に
バーベキュー・パーティーをやるの。一緒
に行かない?」

「もちろんいいわ。なんだか楽しそうね。」

こうして彼女は一緒に参加してくれました。
それから数か月の間、わたしは思いつくかぎ
りの教会の活動にすべて彼女を招待し続け、
活動が終わる度に、「ねえ、アンジェラ、どう

思った?」と尋ねるのが習慣になりました。そん
な会話はいつも永遠の原則に関する話し合いに
移っていったのです。わたしは幸せでした。
すぐにでも、自分は天のお父様が約束して
くださっている祝福を刈り取ることができる
と実感できたのです。

クリスマス前のある冬の夜、アンジェラとわ
たしはワシントン D.C. 神殿の周辺を歩いてみ
ることにしました。歩いているわたしたちを
聖霊が包み込んでいました。わたしは、アン
ジェラも何かを感じることができると分かっ
たのです。

「今どんな気持ち?」とわたしは尋ねました。

「なんだかバプテスマを受けたくなくなったわ。
でも……ちょっと待ってね。」急に意気込んだ
わたしの表情を見て、彼女はそれを押しとど
めるようにこう言ったのです。「今はバプテスマ
を受けられないわ。宣教師にも来てもら
うわけにもいかないし、両親は絶対に許してくれ
ないと思うの。でも、あなたが自分の知って
いることを全部教えてくれない?」

そう言われて少し驚きましたが、けんぜん謙遜になっ
てこう答えました。「いいわ、知っていること
を全部教えてあげる。」

その夜遅く、わたしは自分がした約束のこ
とを考えていました。知っていることを全部?
でも、もしわたしが十分に知らなかったらどう



絵/シロリー・ロジャース



するの？ わたしの証はそんなに強い^{あかし}の？ 自分は福音が真実だということをほんとうに知っているの？

そして翌日からすぐ福音について可能なかぎり学び、福音が真実であるという真の証を得ようと決心しました。

わたしは毎晩聖文を熱心に読み始めました。アンジェラもわたしも福音が真実だと知ることができるように祈るとき、わたしの祈りはさらに心のこもったものになってきました。

次第にその結果が表れてきました。二人で話していると、時々、その瞬間まで考えてもいなかったような言葉を御霊の導き^{みたま}を受けて言えるようになったのです。証を述べる度にわたしの証も強まっていきました。聖文の言葉が実感を伴うようになってきたのです。

いつも身近にいて助けてくれた両親は、わたしの大切な力の源でした。わたしは以前にも増して両親を愛し、感謝するようになりました。

それから5年たった今、アンジェラはまだ教会員ではありません。中学2年生のときに抱いた期待に従って評価すれば、わたしは失敗したことになります。バプテスマ会に出席して、友人を福音に導いたことであらゆる人の称賛を受けるといふ「喜び」を味わったわけではありません。しかし、わたしの求めることは変わりました。わたしは自分自身をもっと神に近づけることができました。たとえアンジェラが教会に入ることがなくても、わたしが勉強したり教えたりしたことは無駄になったわけではありません。彼女は福音についてもっと学び、わたしはそれを彼女と分かち合ったおかげで、自分自分を改宗させることもできたのです。また、ほかの人に福音を伝えるとき、もっと上手に伝えることができるようになりました。

教義と聖約の中で約束されている喜びは、この世での称賛を意味しているわけではありません。わたしの喜びが大きいのは、自分で救い主についてもっとよく知ることができるようになり、福音に対する強い証を得ることができたからなのです。■

さいこうの サッカー選手



「イエスさま むかし いいました。すべてのひとを あいしなさい」(『子供の歌集』39)

アンジー・ベルイストローム・ミラー
実話をもとに書かれました。

わたしは手をにぎりしめ、くちびるをかみしめて、自分に向かって転がって来たボールをけりました。それからそのボールがゴールに入らずに飛んで行くのを見て、がっかりしました。

ナンという名の女の子が、フェンスのわきに立ってその試合を見ていました。ナンは走ってボールを拾いに行ったのですが、あわててつまずいてしまいました。みんながそれを見て、笑いました。彼女がこちらにボールを投げ返してくれたのに、だれもありがとと言いません。

わたしはうしろめたい気持ちでした。

ナンがサッカーをしたいことは知っていましたが、自分からさそうのはいやでした。

ナンは物静かで、茶色の髪はぼさぼさで、分厚い眼鏡をかけた、かん高い声の女の子でした。クラスに友達は一人もいませんでした。わたしは彼女がきらいなわけではなかったけれど、ただ話したことがなかったのです。

その午後、先生が席がえをする予定だと発表しました。先生が新しい座席表を作ることになりました。

教室は興奮でざわつきました。わたしは親友のリアナと顔を見合わせてにっこりしました。

ちょうどそのとき、キャロラインがこちらに寄って来ました。「ナンがアンジーのとなりにすわりたいてマートン先

生に言ったそうよ。気持ち悪い!」

わたしはショックですわったまま動けませんでした。「どうしてわたしと?」不思議でなりません。ナンに意地悪したことはないけれど、やさしくしたことだってないのです。

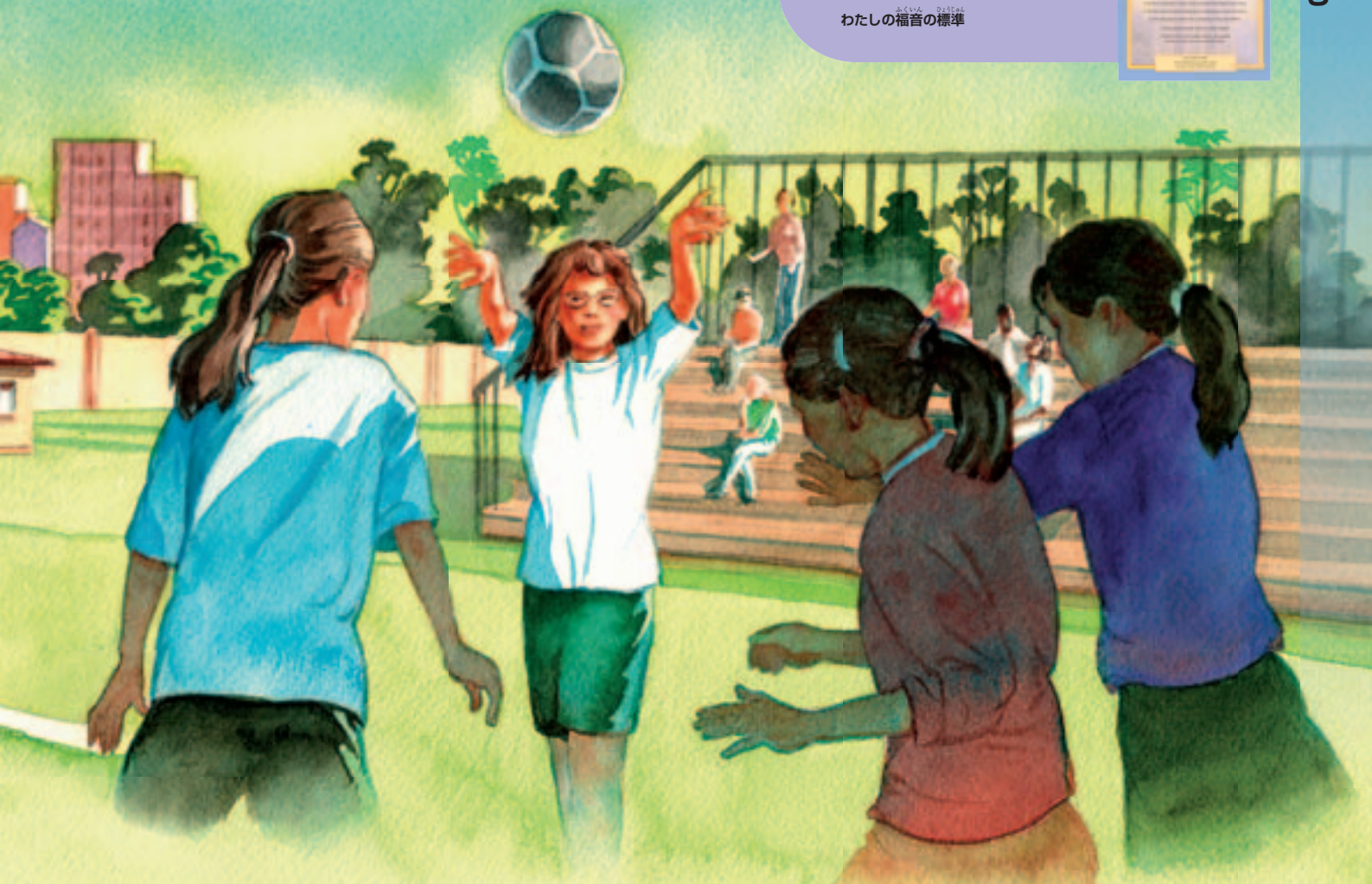
キャロラインはささやきました。「先生に、ナンとはすわりたくないって言ったら。じゃないとだれもアンジーのとなりにすわりたいて思わないわよ。」

ナンに目をやると、うなだれていました。教室のみんなが思っていることをナンは分かっているにちがいません。

マートン先生から、先生の机のところに来るように呼ばれました。わたしはナンが神様の子供で、イエス様はすべての人を愛するように言われたことは知っ

「わたしはよい友達を見つけ、
人に親切にします。」

わたしの福音の標準



ていました。でも、もしわたしがナンと友達になったら、みんながわたしを愛な人だと思ってしまうでしょう。

「あなたはだれのとなりになりたいの？」マーティン先生がたずねました。

「リアナです」と答えました。そう答えるのは簡単なことでした。

マーティン先生はほほえんで言いました。「ナンのとなりにもすわりたいと思いませんか？」

わたしはゆかに視線を落とすと、小声で言いました。「できればすわりたくありません。」

マーティン先生はおどろいたようでした。「ほんとうなの？ アンジー。」

「はい」とわたしは口ごもりました。

次の日、席がえがありました。わたし

はリアナのとなりでした。ナンは教室の反対側でした。彼女のとなり

にすわっている二人の女の子たちが自分の机をナンの机からはなしたので、ナンは独りですわっているように見えました。ナンは泣きそうでした。

数週間後、ナンは転校しました。わたしのワードの女の子がその学校に通っていたので、ナンという名の子に会ったかどうか聞いてみました。

「会ったと思うわ。どんな子なの？」と彼女はたずねました。

「えっと、ナンはすごく静かなの。かみはぼさぼさで分厚い眼鏡をかけていて、クラスの子はみんな彼女をきらっていたわ。」

「ほんとう？ じゃあ、その子じゃないわ」と彼女は言います。「わたしが知っ

ている子はとても楽しいの。みんな彼女のことが好きなのよ。サッカーがとっても上手なの。」

わたしたちがサッカーをするのをナンが見ていた日のことを思い出しました。彼女の必要だったのは、チャンスと友達だけだったのです。わたしはその両方を上げることができたのに。

その日わたしは、自分にちかいました。いつもだれにでも親切にすること、そしてナンみたいな子と友達になろうとせず、に失ってしまうことが決してないようにと。■

わたしたちのページ



ナスティア・L, 12才 (ウクライナ)



ティナ・M, 10才 (コンゴ)



みたまによって
胸が熱くなりました

ぼくは教会に行くことが大好き

です。教会ではみたまを感じます。

ある日初等協会で、現代の預言者について

話しました。その後家で「レガシー」という映画を見て、預言者ジョセフ・スミス
の話が気に入りました。預言者の死を男が知らせている場面を見て、とても悲しく
なりました。するとみたまによって胸が熱くなり、ジョセフ・スミスがほんとうに神の
預言者で、真実の教会を回復してくれたのだと感じました。

1月にぼくは、たくさんほかの家族と一緒にエクアドルのグアヤキルにある神殿に
いました。平安と幸福をととても強く感じたので、帰る時間になっても家に帰りたくあり
ませんでした。

天のおん父が生きていて、ぼくたちを愛してくださっていること、またイエスが
天のおん父のもとへもどる道であられ、ジョセフ・スミスが預言者であったこと
を知っています。

アロン・C, 10才 (コロンビア)

ぼくは神殿に行くことが大好きです。12才に
なって神権を受け、神殿に参入して死者のための
バプテスマを受けられるようになるのが待ち遠し
いです。

フンベルト・V, 11才 (メキシコ)



預言者に従うことで、
どのように幸福になりましたか？

トーマス・S・モンソン大管長の教えに
従うことでどう幸せになったかを
教えてください。(最近の総大会でのモン
ソン大管長の説教は「リアホナ」11月号
または conference.lds.org で読んだり
聴いたりできます。) あなたの意見を
liahona.lds.org (「記事を投稿する」(英
語)をクリックして)で投稿するか、liahona
@ldschurch.org に「預言者に従う」とい
う件名をつけてEメールを送ってください。
あなたの氏名、年齢、住んでいる国、親の
許可書を添えてください。

じゅうぶんの一を
はらうと しあわせになります

ぼくは家のそうじをしてお父さんを
お手つだいます。お手つだいを して 毎月
お小づかいをもらいます。自分のお金はぜんぶ
つかわずに、10パーセントはじゅうぶんの一としてとつて
おき、ビショップにわたしています。じゅうぶんの一を はら
うとよい気もちがします。それはそのお金か教会の
ことや本を 買うこと、そのほかのいろいろなこと
につかわれると知っているからです。イエスさまがぼくたちに
すべてを下さったと知っています。だからじゅうぶんの一
を はらうと しゅにおかえしをしていることになり
ます。ぼくはじゅうぶんの一を はらうと しあわせに
なります。

ニコラス・P, 5才 (ブラジル)

ひかり 光を えらぶ



しちじゅうにん
七十人
ジェリット・W・
ゴングちょうろう



「あなたがたが わたしの
えいこうに ひたすら 目を
むける ならば、

あなたがたの ぜんしんは
光に みたされ、あなたがたの
中に くらさが ないであろう。」
(教義と聖約 88:67)

わ たしは 小さいころ、 くらい
ところが かわいと 思うこ
とが ありました。 夜に
なると よく へんな 音が 聞こえ
ました。 ねる 前に すべての ドア
に かぎを かけ、 ベッドの 下を
チェックした ものです。 たんすの 中
も 見ました。 何が かわかったのか
自分でも 分かりませんでした。 時
には ほんとうに かわいと 思う

ことが ありました。
いのことを 学んでからは、 大きな
なぐさめを うけ、 へいあんを かんじ
ました。 心に 光を 感じてからは、
あんぜんで だいじょうぶだと いうこ
とが 分かりました。

わたしの いちばん 古い きおくも
光に かんする ものです。 小さいころ、
兄と わたしは ソルトレークしんでんで
母と 父に むすび かためられました。
かぞくも ほかの 人も 白い ふくを
きていたこと、 しんでんでの 大いなる
光、 そして その日 かんじた おだ
やかな 気持ちを おぼえています。

これらは ずっと 前の きおくですが、

くらい
ところで おそ
れること、 そして しんで
んの 光の 中で かんじた よろこ
びが どんなものであるかは おぼ
えています。 ふくいんに したがった
生活を しようとすると、 わたしたち
は 光に みたされ、 わたしたちの
中に くらさは なくなります。 光と
しんこうの 中に、 くらやみと おそれ
は いられません。 わたしたちは 光に
みたされると、 しあわせで、 おだやかに
なり、 あんしんして いられるのです。
わたしたちが いつも 光を えらべる
ように ねがっています。 ■

絵：ゲリット・ニコルホルト

今月のしょうきょうかいのテーマについて もっと 学ぶために
このレッスンと かつどうをつかとう いいでしょう。

生ける よげんしゃは わたしが せいぎを えらぶのを たすけてくれます

そう大会のとき、クリスティーナはステーキセンターのほうそうでトーマス・S・モンソンだいかんちょうのお話を聞きました。だいかんちょうは、人に親切にすることについて話していました。お話を聞いている間、クリスティーナはあたたかい気持ちになりました。クリスティーナは、モンソンだいかんちょうがかみさまのよげんしゃであることを知っています。学校でいじわるを

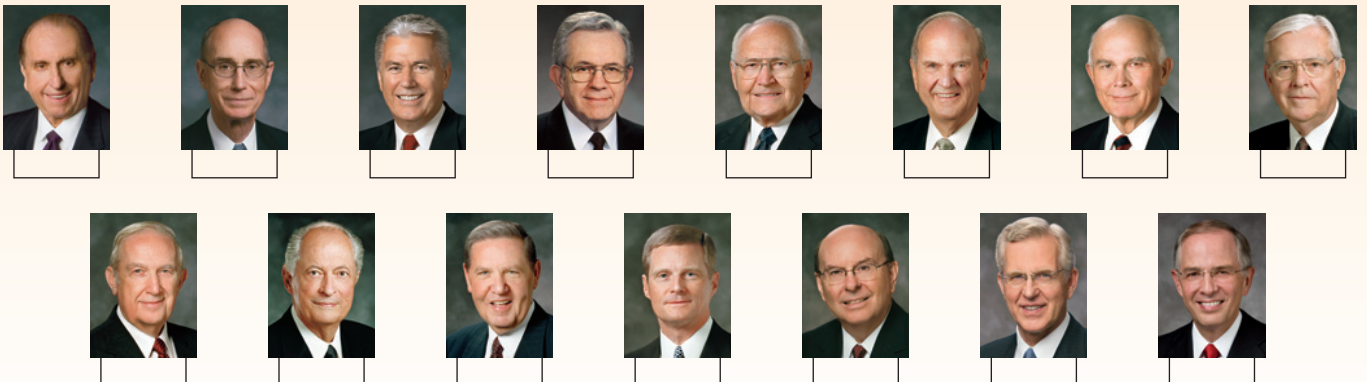
してくるリアという名の女の子のことが、心にうかびました。クリスティーナはリアに親切にして、友だちになろうとけっしんしました。よげんしゃの教えにしたがいたいと思ったのです。イエス・キリストは十字架にかけられて、お前に、教会をみちびくようにしとペテロをめされました。ペテロはけいじをうけ、教会いんが正しい道を歩めるようにみちびきました。今日、トーマス・モン

ソンだいかんちょうはペテロと同じように教会をみちびいています。よげんしゃがお話をするとき、ちゅういぶかく聞きましょう。よげんしゃの教えは、みなさんのなやみやもんだいをかいけつするたすけになります。よげんしゃはみなさんが正しい道を歩めるようにいつもみちびいてくれます。また、よげんしゃにしたがうときにみなさんはしゅくふくをうけることができます。

CTRゲーム——教会のしどうしゃを知る

まつじつせいとイエス・キリスト教会は15人の生けるよげんしゃによってみちびかれています。教会のだいかんちょう、二人のこもん、十二しとしていん会のかいいんはみなよげんしゃです。だいかんちょう会と十二しとたちのしゃしんと名前を合わせるができますか。65ページにあるせっきょう台の絵と下

のしゃしんを切りとり、あつ紙にはりつけてください。いすの絵の点線ぶぶんに切りこみを入れて、それぞれのしどうしゃのしゃしんを正しいところに入れてください。そう大会を見るとき、しどうしゃの一人がお話をしたら、その人のしゃしんをいすから出して、せっきょう台のところに置きましよう。





ヘンリー・B・アイリング
だいでこもん



トーマス・S・モンソン
だいかんちょう



ディーター・F・ウークトドルフ
だいにこもん



ボイド・K・パッカー



L・トム・ベリー



ラッセル・M・ネルソン



ダリン・H・オックス



M・ラッセル・バラード



リチャード・G・スコット



ロバート・D・ヘイルズ



ジェフリー・R・ホランド



デビッド・A・ペドナー



クエンティン・L・クック



D・トッド・クリストファーソン

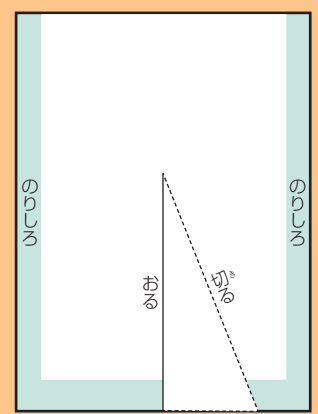
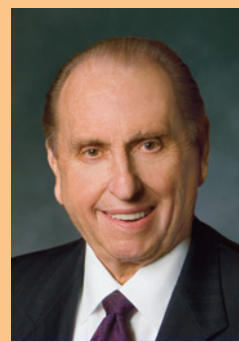


ニール・L・アンダーセン

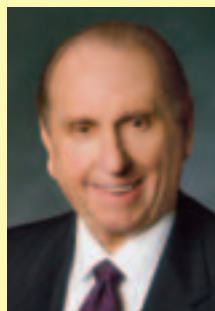


しゃしん立て

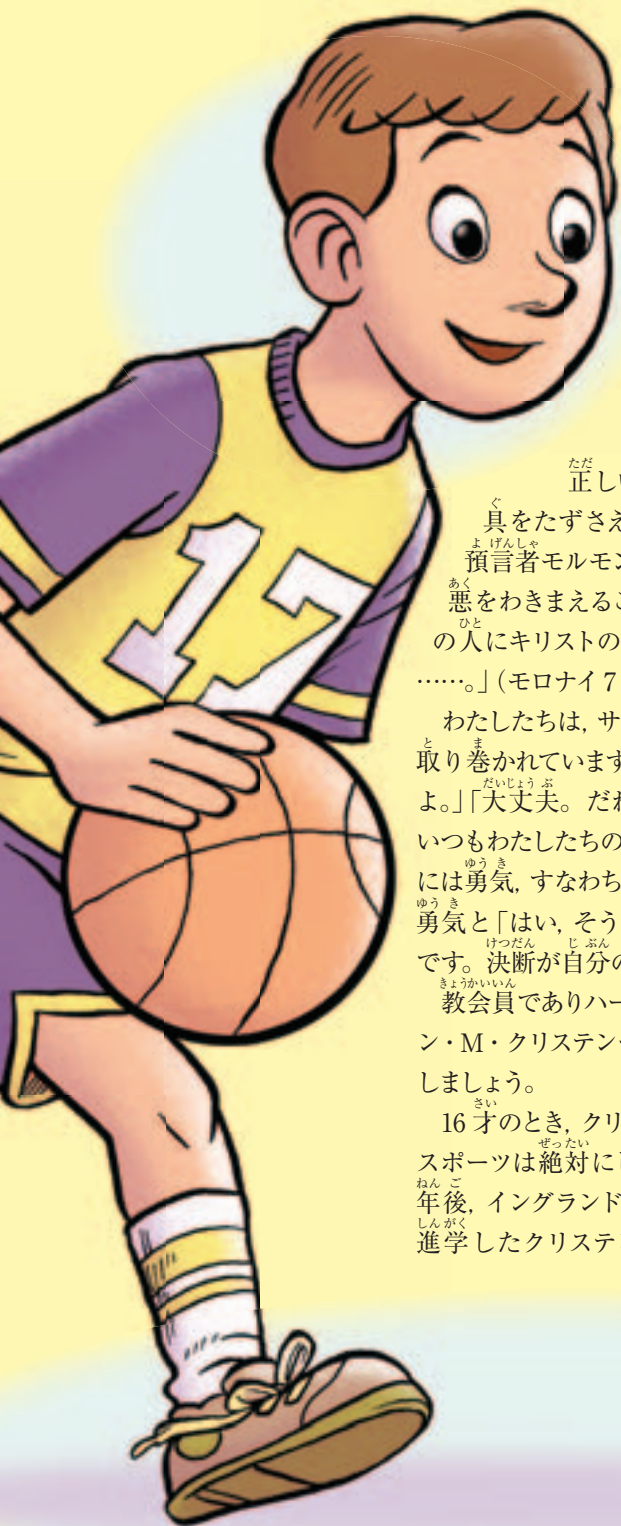
トーマス・S・モンソンだいかんちょうのしゃしんをかざるためのしゃしん立てを作ってみましょう。しゃしんがくとうらのうらになるぶぶんを切りとります。切りとった紙をあつがみにはります。がくのうらになる紙の点線を切り、線をおりまげます。がくののりしろにのりをつけて、がくとがくのうらをはり合わせましょう。出来上がったら、モンソンだいかんちょうのしゃしんを入れてください。



いま 今すぐ けつ い 決意する



トーマス・S・モンソン
だいかんちょう
大管長



わたしは、選
択の自由、
すなわち
選ぶ権利というお
り物をわたしたちに
あたえてくださった、
愛に満ちた天のお
父にとっても感謝して

います。わたしたちはみな、
正しい選びをするのに必要な
道具をたずさえて地上にやってきました。
預言者モルモンはこう述べています。「善
悪をわかまえることができるように、すべて
の人にキリストのみたまがあたえられている
……。」(モロナイ7:16)

わたしたちは、サタンの発する邪悪な教えに
取り巻かれています。「一度だけなら心配ない
よ。」「大丈夫。だれも見えていない。」決断は
いつもわたしたちの前にあります。賢明な決断
には勇気、すなわち「いいえ、しません」と言う
勇気と「はい、そうします」と言う勇気が必要
です。決断が自分の行く末を決めるのです。

教会員でありハーバード大学教授のクレート
ン・M・クリステンセン兄弟の話をしょうかい
しましょう。

16 歳のとき、クリステンセン兄弟は日曜日に
スポーツは絶対にしないと決意しました。数
年後、イングランドのオックスフォード大学に
進学したクリステンセン兄弟は、バスケット

ボール部のセンターのポジションで活躍しま
した。そのシーズン、チームは一度も負けるこ
となく勝ち進み、優勝を争うトーナメント戦に
出場しました。

無難に勝ち進んだチームは決勝に進出しま
した。でもクリステンセン兄弟が日程を見
ると、決勝は日曜日だったので。クリステン
セン兄弟はコーチに心のかたうたを打ち明
けました。ところが、コーチには試合に出場す
るようには言われました。

クリステンセン兄弟はホテルの部屋に入っ
てひざまずくと、この1回だけ、日曜日に試合に
出てもいいか天のおん父にたずねました。
クリステンセン兄弟は、いのりが終わる前に次
のような答えを受けました。「クレートン、なぜ
わたしにたずねるのですか。答えはあなたが
知っています。」

クリステンセン兄弟はコーチのところ
に行き、決勝には出られないこと、それを心から
申し訳なく思っていることを伝えました。そし
てクリステンセン兄弟は日曜日の集會に出席
しました。

クリステンセン兄弟が得た教訓は、いましめ
は98パーセントの確率で守るよりも100パー
セントの確率で守る方が簡単だということでした。

みなさんに切にお願いします。どうか今、こ
こで、わたしたちの目標、すなわち天のおん父
とともに住む永遠の命へ続く道からそれない
という決意をしてください。■



「はい」それとも「いいえ」？

モンソン大管長は、良い選びに「はい」と言い、悪い選びに「いいえ」と言うには勇気がいると言っています。上のそれぞれの場面に対して、「はい」か「いいえ」で答えて勇気を示しましょう。

100 パーセントパズル

モンソン大管長は、時々正しいことを選ぶよりも、100パーセントいつも正しいことを選ぶ方が簡単だと話しています。それぞれの段と列の数字が100になるような数字を入れましょう。当てはまる数字はどれも0か5で終わります。

45	5		20
10		15	
30		25	5
	20	30	

しょうじき 正直について 学んだ アブー

アン・P・スミス
じつわを もとに 書かれました。

アブーは 外に すわって 家の 前
の 通りを 行きかう 人を なが
めて いました。アブーは とても
おなかが すいて いました。そのとき、マリア
ンという 女の 人が 近づいて 来ました。

その 人は、通りを 行ったり 来たりしなが
ら、あまい ビスケットを 売っていました。あ
ざやかな 色の つつみ紙に つつまれた ビ
スケットは とても おいしそうに 見えました。
マリアンは ビスケットを 入れた さらを 頭
の 上に のせて 売り 歩いて いま
した。アブーは ビスケットが ほしくて た
まりませんでした。きつと おいしいに ち
がいないと 思いました。

すると、マリアンは 立ち止まって アブー
の 目の 前で ビスケットを 入れた さらを
おろしました。

「ほくが おなかが すいていると 知って
ほくのために ビスケットを ここに おいて
くれたんだ」と アブーは 思いました。アブーは
すばやく ビスケットの つつみを 一つ とり
ました。

ちょうど そのとき、お父さんが アブーを
見て 言いました。「アブー、手にもっている
ものは 何だい。」

「お父さん、ほく とっても おなか
が すいて いるんだ。ビスケッ
トが 食べたいよ」とアブー
は 言いました。

お父さんは や
さしく アブーを
うでの 中に だ
いて こう 言
いました。

「アブー、お父さんも きみ
に ビスケットを 食べさせて
あげたいと 思うよ。でも ことわり
もなく、お金も はらわないで かってに
人の ものを とっては いけないよ。
マリアンに ビスケットを もらっても
いいか 聞いたのかい。」

「ううん」とアブーは うつむいたまま
答えました。

「マリアンに この 大きな ビス
ケットの つつみを かせそう。そし

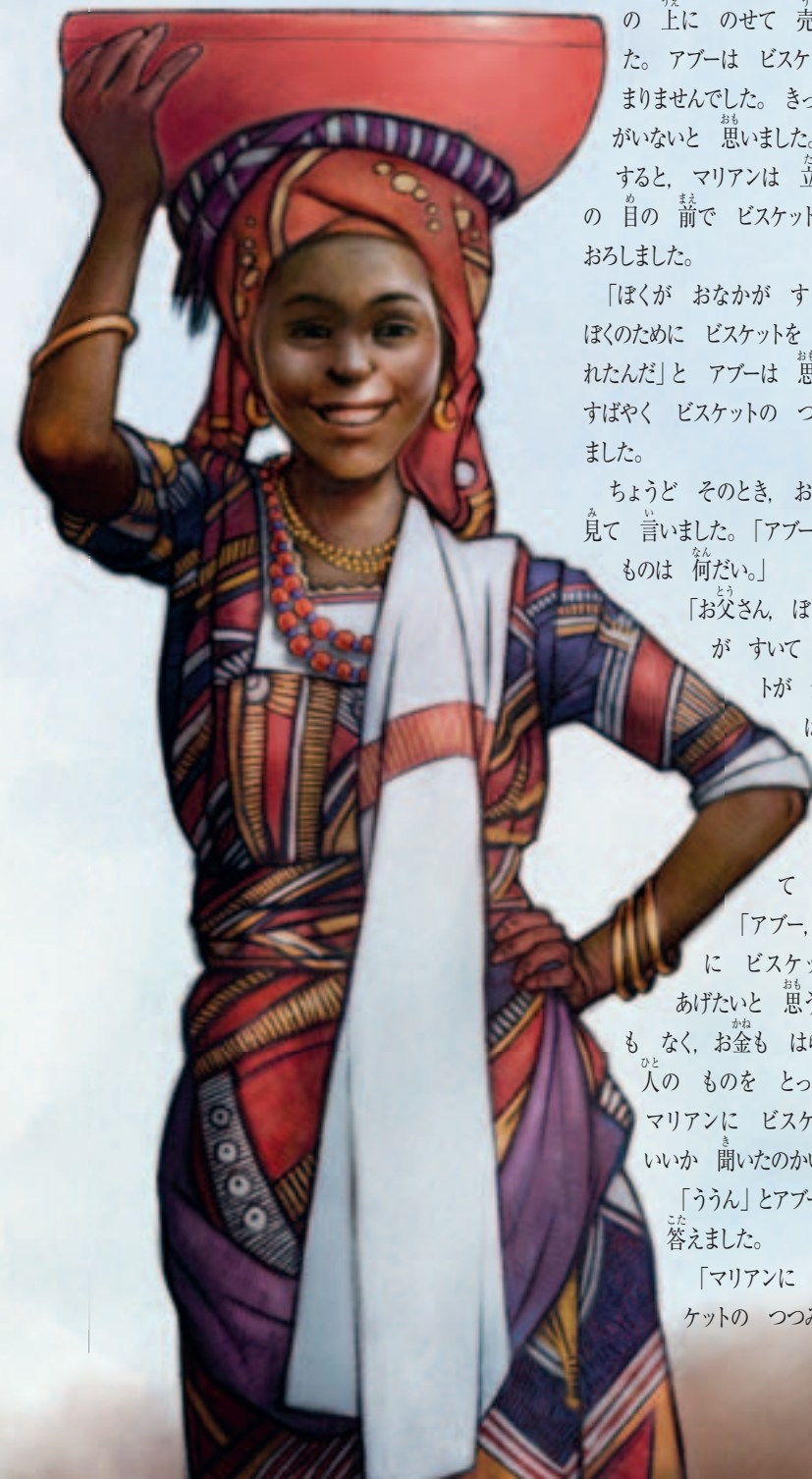
しょうじき
「正直はわたしのことばと
行いからはじまる」
こども かしゅう えいご
『子供の歌集』[英語] 149)

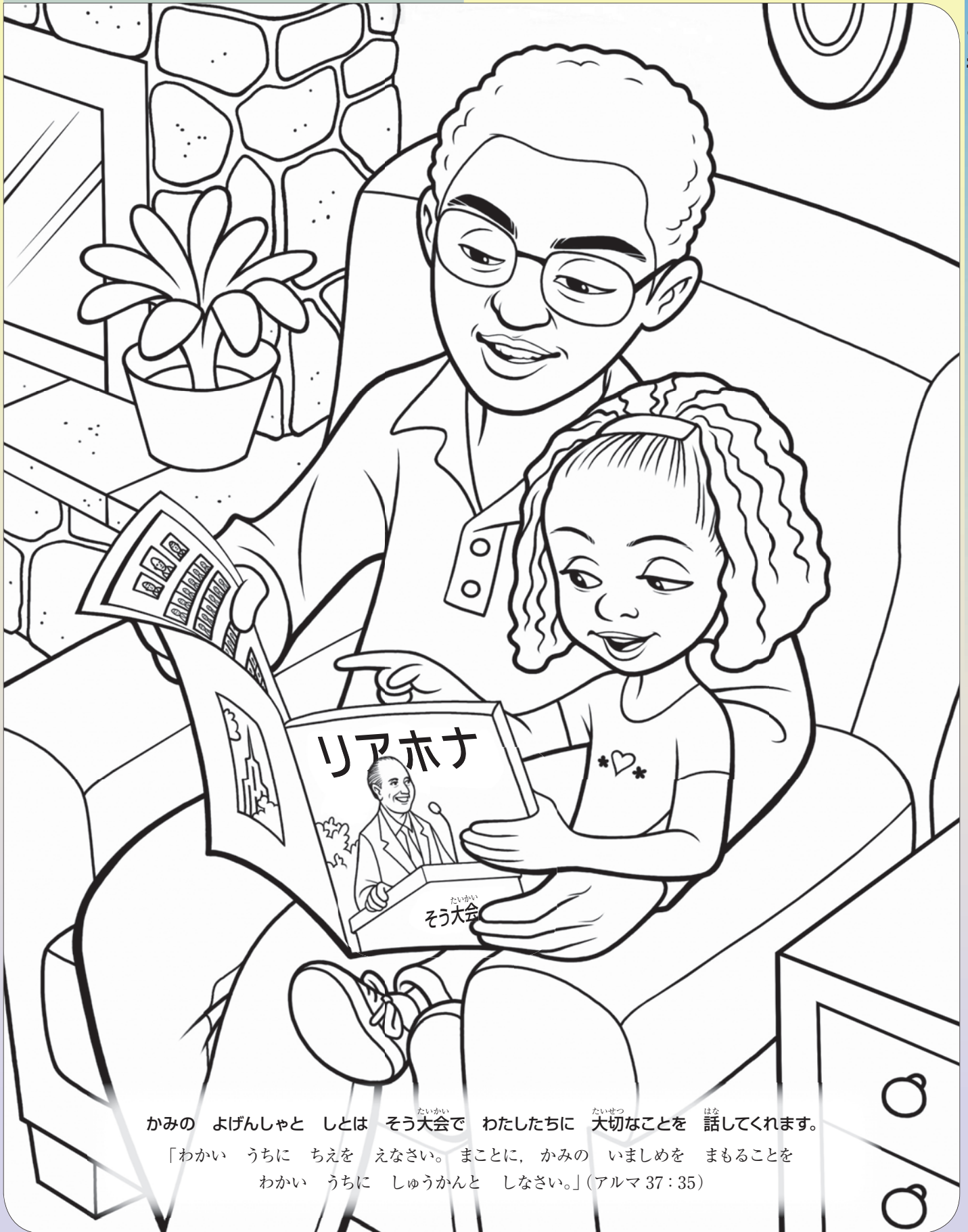
て、お父さんが 小さな つつみを 一つ
買って あげるよ。アブーに 正直に なるこ
とを 学んで ほしんだ。それが どういう
とか 分かるかい。」

「教えて、お父さん」とアブーは 言いました。
すると お父さんは このように 教えてくれ
ました。「正しい ことを 行う というんだよ。
つまり、ぬすんだりしないで ちゃんと お金を
はらう ということなんだ。うそを つかずに
ほんとうの ことを 話すこと。そして 自分で
やると 言ったことは きちんとやる というこ
だよ。だから マリアンに ビスケットの お金
を はらおうね。マリアンは 自分の 子どもた
ちに 食べものを 買う お金が ひつような
んだよ。アブー、お父さんは アブーを
あいているよ。そして 天の お父さ
まも アブーを あいて おられる
んだよ。天の お父さまは きみ
が 正しいことを 行うときに
よるこんで くださるんだよ。」

「お父さん、ほくも お父さんの
ことが 大スキだよ。ほく いつも
正直に なるように
がんばる」と
アブーは
言いました。

■





かみの よげんしゃと しとは ^{たいかい}そう大会で わたしたちに ^{たいせつ}大切なことを ^{はな}話してくれます。
「わかい うちに ちえを えなさい。まことに、かみの いましめを まもることを
わかい うちに しゅうかんと しなさい。」(アルマ 37:35)

せいを 感じる

チャド・E・ファレス

じつわを もとに 書かれました。

「せいの ちから によって、
あなたがたは すべての ことの
しんりを 知るであろう。」
(モロナイ 10:5)

1.

ベンソン、どこに いるんだい。
もう ねる時間だよ。

ぼく、へやに
行きたくないんだ。

2.

どうして?

だって、ぼくの へやに
ゆうれいが いるんだもの。

3.

ペイソンの へやに
ゆうれいなんか いないよ。

ほんとう?

ああ、
ぜったいにね。

4.

お父さん、せいって 何?

いい しつもんだね。

5.

せいれいというのは
しんかいの おかたの 一人でね、天の お父さまが
わたしたちに どんなことを 知って、行ってほしいと
おもっておられるかを、わたしたちが 分かるように
たすけてくださるんだよ。

せいれいって こわいの？

いや、せいれいは
ちっとも こわくなんかないよ。わたしたちには せいれいは
見えないけれど、近くに かんじることは できるんだ。
せいれいは、わたしたちが しあわせを かんじられるように
たすけてくださるんだよ。

6.

いいかい。では 目を つぶって。
さあ、もう ねる時間だ。
お父さんは ベンソンが 大ききだよ。

ほくも お父さんのこと 大きき。
ほく、せいれいを かんじている 気が する。

親の皆さんへ —— 聖霊の力を感じられるように、その方法について子供たちと話し合ってください。正義を選び、聖霊を近くに招くようなことをすると心にどう感じるか、子供たちに尋ねてみましょう。

みたまを まねく

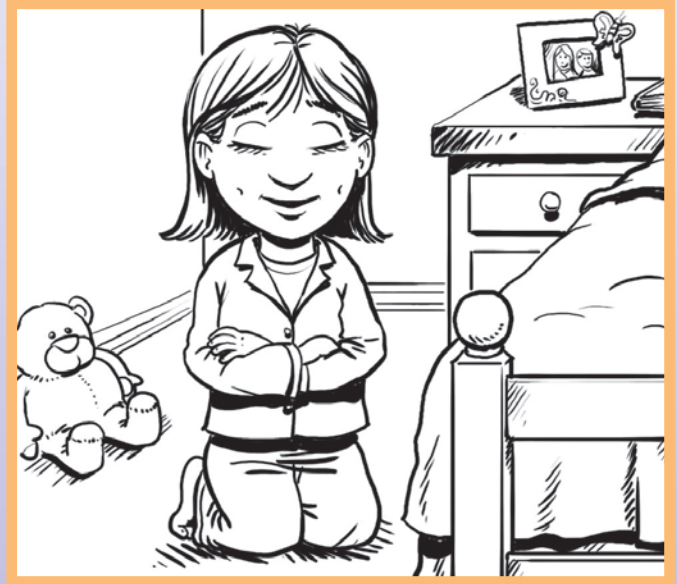
ヒラリー・ワトキンス・レモン

せいれいが そばに いてくださるようになる ほうほうは いろいろ あります。下に 4つの ほうほうが しょうかい されています。その うちの ひとつを いつもより さらに がんばって 行って みてください。その後 どのよ

うな 気持ち が したかを だれかに 話して みましょう。その 行ったことを あらわしている 絵に 色を ぬって ください。さらに つぎの 行いに ちょうせんして みましょう。



1. 分かち合う



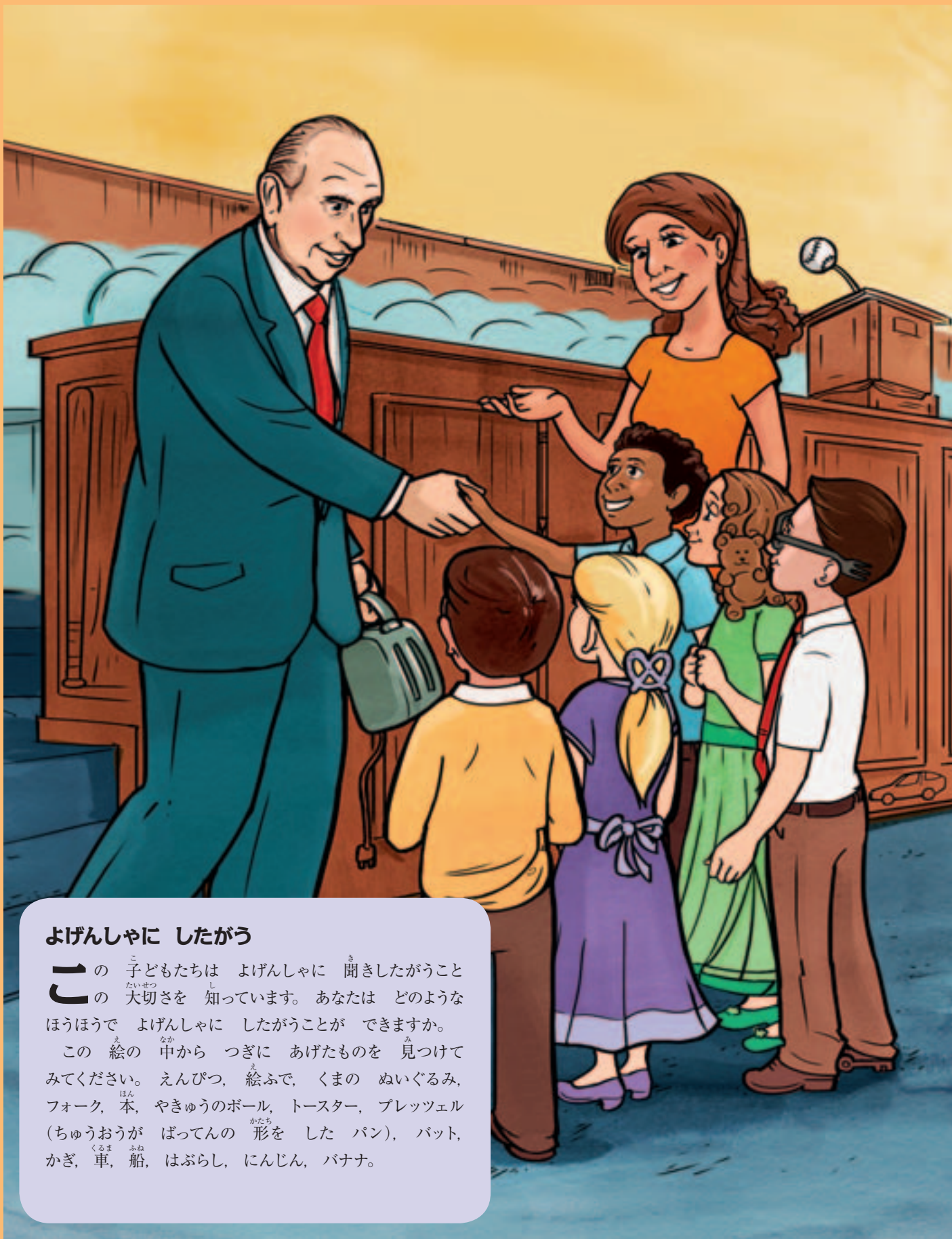
2. いる



3. 手つだう



4. 歌う



よげんしゃに したがう

この子どもたちはよげんしゃに聞きしたがうことの大切さを知っています。あなたはどのようなほうほうでよげんしゃにしたがうことができますか。

この絵の中からつぎにあげたものを見つけてみてください。えんぴつ、絵ふで、くまのぬいぐるみ、フォーク、本、やきゅうのボール、トースター、プレッツェル(ちゅうおうがばってんの形をしたパン)、バット、かぎ、車、船、はぶらし、にんじん、バナナ。

教会のニュース

教会のニュースおよび出来事についてもっとお知りになりたい方は news.lds.org にアクセスしてください。

世界中の会員が神殿の祝福を受けるのに役立つ基金

教会機関誌

ヘザー・ウィットル・リグリー

伝 道活動のためにシンガポールへと旅立つ直前の2001年7月にフィリピン・マニラ神殿に参入して以来、パキスタンのリアス・ギルは、永遠の家族を持つために、再び神殿を訪れたいという望みを抱いていた。

2007年に彼の妻ファラがバプテスマを受けたが、資金が乏しかったので、3,500マイル(5,700キロ)も離れた神殿にいつ行けるか、彼らには分からなかった。2009年には息子のアンモン・

リアス・ギルと妻ファラ、また息子のアンモン・ピネハスは、教会の中央神殿参入者支援基金の恩恵を受けて2010年にフィリピン・マニラ神殿に参入し、家族として結び固められた。

ピネハスが生まれ、神殿で結び固めの儀式を受けたいという彼らの望みはさらに強くなった。そして2010年の後半になって、教会の中央神殿参入者支援基金の援助により、彼らの祈りはかなえられた。

「家族と神殿に行くことで証が^{あかし}強められました。家族で神殿を訪れた後、ほかにも自分が主にささげるべきものがあるような気がしています。……神殿参入はほんとうにすばらしく、信仰が強められる経験でした。言葉では言い表せません。」ギル兄弟はこう語る。

神殿にいる間に、ギル兄弟はすでに世を去った自分の父親と祖父、義理の父親のために儀式を受けることができ、さらに母親のためにも儀式を済ませ、自分の両親に結び固められた。

「神殿を訪れたことは、これまでわたしと家族にすばらしい恩恵をもたらしています。今回の神殿訪問を実現させてくれた指導者に、多くの祈りとともに特別な感謝をささげたいと思います」と彼は語る。

この基金は100パーセント会員の寄付で賄われており、1992年以来、合衆国とカナダ以外の地域に住む会員で基金の援助がなければ神殿に行けない人が、1度だけ神殿訪問の機会を得る

手段となってきた。この基金に寄付したい会員は、通常の献金用紙の「その他の献金」の項に「神殿参入者基金」と記入するだけでよい。またLDS人道支援センターを通じて当基金へ献金することもできる。

2011年10月の総大会においてトーマス・S・モンソン大管長は、会員たちに中央神殿参入者支援基金への寄付を呼びかけ、こう語った。「神殿から遠く離れた地域に住んでいるため、神殿に参入する費用を捻出できない会員がいる地域がまだあります。彼らは神殿がもたらす神聖で永続する祝福にあずかることができませぬ。」(「再びともに集い」『リアホナ』2011年11月号、5)

「この基金の目的は、世界中で明らかに神殿参入がより困難であると思える地域に住む人々を支援することです」こう語るのは神殿部の管理ディレクターであるウィリアム・R・ワーカー長老である。「この1度の参加者支援は一人一人に自分自身の儀式を受ける機会を提供しているのです。」

ワーカー長老によると当基金への申請が最も多い地域は、アフリカ、太平洋諸島、アジアである。ステーキ会長会や伝道部会長会が地域会長会に推薦状を送付し、地域会長会が各国の基準に



写真: リアス・ギルと妻ファラ、息子アンモン



基づいて基金を支給する。

2009年から2010年の間に、およそ4,000人の会員が、初めて、恐らく唯一の機会になるであろう神殿訪問のためにこの基金を利用した。

ワーカー長老によると、可能な限り多くの人々の人生に祝福をもたらすために、教会は最も安い航空運賃で行ける神殿を選定する。つまり、必ずしも居住地からの距離、あるいは神殿の所在地が居住地域内かどうかに基づいて決定されるわけではない。

この基金を利用する会員一人一人が何らかの犠牲を払うか、幾らかの献金をするよう求められる。

「地域によってはパスポートを取得するだけでも非常に高額で困難な所もあります」とワーカー長老は語る。「神殿参入のために会員が自国を離れる必要のある地域では、基金を利用するためにパスポートを取得しなければなりません。ある国では一定の金額で取得でき、それほど高額に思わない人もいますが、基金を利用する人にとっては、半年かかって蓄えた金額すべてに相当する場合もあるのです。」

ワーカー長老は、自分の目的を果たすために犠牲を払う人は、一般的に、より多くの感謝を抱くものだと述べている。「ほとんどの場合、人々は最善を尽くして献

金することで、豊かな祝福を受けています。そして彼らはその祝福を当然だと思っはけません。」

人々が神殿に行けるよう支援するだけでなく、基金は各自がガメント7組を購入する際にも利用され、帰宅後も交わした聖約を神聖に保てるようにしている。

大会中のモンソン大管長の話は、当基金について預言者が説教壇から語る初めての機会であった。このことは、基金の需要が増えると同時に、より多くの献金につながるだろうと、ワーカー長老は語る。

「この教会に加わる人々が増える中で、多くの地域で会員の必要を満たすにはほど遠い状況です。」そして1994年にハワード・W・ハンター大管長(1907-1995年)が述べた、すべてのふさわしい会員は神殿推薦状を所持するようにという勧告(「教会員の大きいなる象徴」『聖徒の道』1994

年11月号、6参照)を引用し、ワーカー長老は続ける。「多くの忠実な会員が有効な神殿推薦状を持ちながら、まだ神殿に行ることがなく、また近いうちに参入できる見込みもありません。」

モンソン大管長が当基金に言及したのは、大管長が持つ神殿への愛と、基金の恩恵にあずかる会員への思いやりの表れであるとワーカー長老は述べる。

「これら遠く離れた地に行くと、現地の人々の気持ちや抱えている問題がよく分かります。この基金は多くの人々の祝福となるでしょう。」■

フィリピン・マニラ神殿



ドイツ、ベッテラウでセミナーに出席する生徒たち

世界規模のセミナープログラム、 学生を福音につなぎ留める

教会のニュースと出来事
メリッサ・メルル

ポルトガルのミルトン・レイスは地元の教会堂に通う。オーストラリア、タスマニアのフレイザー・クラフは母親が教師となり自宅で出席する。アメリカ合衆国、ユタ州のローレン・ホームーは1日おきに、高校の2時間目の授業の間に道路の向かい側まで歩いて通う。アメリカ合衆国、バーモント州のベン・ギルバートは週に1度、ミュールチャルの前に出席する。そしてアメリカ合衆国、アラバマ州のマッケンジー・モリルは毎日インターネットを通じた話し合いによって参加する。韓国のダン・パクが参加するのは午後10時である一方、アメリカ合衆国、ニューメキシコ州のジェイミー・グ

リーンウッドは、午前5時15分からのレッスンに間に合わせるために朝4時に起きる。

これらすべての10代の若者と、彼らと同じような37万人近くが預言者の勧告に従い、セミナーを生活の中で優先させている。

今年100周年を祝うセミナープログラムは、時を経て様々な方法で実施されてきたが、今日でも個人の必要や地元の状況によりやむを得ず調整が必要な場合も多い。しかしながら、時代や場所を超えて、変わらないことが一つある。それは、福音学習が10代の若者たちを救い主とその福音に対する証につなぎ留める助けとなっている点である。

ポルトガルの17歳、ミルトン・レイスがセミナーに参加し始めたときときには、少人数の青少年が毎週土曜に集まっていた。彼らの多くがスポーツやその他の課外活動に参加しており、週日は毎日練習や行事があったからだ。

しかしながら、現在ミルトンは週を通してセミナーに通う。学校の始業前や放課後に行くこともしばしばある。それはミルトンにとって、普段より早く起きることや、セミナーに出席するために、夜に行われる社交的な行事への参加をあきらめることを意味する。

それでもミルトンはセミナーに出席することを犠牲とは思わない。「それはむしろ特権です」彼はこう語る。ミルトンは現在伝道中の姉の模範に従って自分も伝道に出たいと願っており、セミナーはその準備の一つなのである。「このようにあらゆる課題があっても、努力する価値があると知っています」こう彼は述べる。

フィリピンの18歳、ディア・ラクノは14歳でバプテスマを受け、間もなくセミナーに通い始めた。彼女は最初、セミナーは学校の授業と同じようなもので、宿題や講義があり、それらが重荷になるのではないかと考えていた。しかし彼女はこう語る。「セミナーは学校で背負う重荷に打ち勝つ力を与えてくれます。セミナーに通う度に、新たな活力を得て、心が落ち着きます。」

世界中のセミナーの生徒が払う犠牲と彼らが成し遂げた事柄について読むには、news.lds.org にアクセスして「生徒を福音にとどめるセミナープログラム」で検索してください。■

1月22日に行われた、十二使徒定員会会長のボイド・K・パッカー会長を迎えて行われたセミナー100周年記念ファイヤサイドについて読むには、news.lds.org (英語) にアクセスしてください。

預言者、ヤングアダルトに 光となるよう勧める

2011年11月1日、ブリガムヤング大学プロボ校でのディボーションナルにおいて、トーマス・S・モンソン大管長は、「義の模範となる」よう聴衆に勧告した。

新約聖書から使徒パウロの「言葉にも、行状にも、愛にも、信仰にも、純潔にも、信者の模範になりなさい」(1テモテ4:12)という言葉を用いながら、モンソン大管長は教会員に世の光となってほしいという願いを伝えた。

「光とは何でしょう」大管長はこう尋ねた。「簡単に言うと、それは『明るく照らすもの』です。義の模範を示すことによって、……さらに暗さを増していく世界を明るく照らす手助けができます。」

多くの人にとって光は今にも消えてしまいそうなくらいにまで弱まっていることをモンソン大管長は承知している。また大管長は、周囲の人々がわたしたちの光を見て従えるように、自分たちの光を常に輝かせることはわたしたちの責任であり、そのために信仰を持つことが必要であると述べた。

「霊性を失わずにいるために必要となる信仰を増し加え、ほかの人々に見えるように自分の光を放つよう、わたしたち一人一人に期待が寄せられているのです。信仰と疑いは同じ場所に同時に存在できないことを覚えてください」大管長はこのように語る。

信仰を強め、保つ最良の方法は、モンソン大管長によると、頻繁に、そして継続的に聖文を読んで研究し、祈ることである。

「皆さんはモルモン書を読んだことがありますか。そしてモロナイ書にある約束を試したことがありますか。」



ブリガムヤング大学プロボ校のディボーションナルでの説教で、モンソン大管長はモルモン書を読んでそれが真実かどうかを自分自身で知るように会員たちに勧めた。

大管長はこう尋ねた。そして毎日時間を取って、モルモン書が真実かどうかを、自分自身で確かめるように参加者に勧めた。「モルモン書は皆さんの心を変え、また生活を変えてくれるからです。」

モンソン大管長は第三ニーファイ第12章16節の「あなたがたの光をこの民の前に輝かせて、この民があなたがたの善い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい」という聖句を引用し、キリストについて、「すべての人を照すまことの光があって、世に」来られた御方であり(ヨハネ1:9)、その光は「やみの中に輝いている」(ヨハネ1:5)と説明した。

そして大管長は最後にこのように語った。「わたしたちが光を輝かせる機会は数え切れないほどあります。……救い主の模範に従うとき、わたしたちの行いが、あたかも光となって、周囲の人々の生活を照らす機会を得るでしょう。」■

大管長会と十二使徒定員会による最近の説教や訪問についてもっとお知りになりたい方は、prophets.lds.org および news.lds.org [英語]にアクセスしてください。

教会の周辺

エチオピアの会員、 衛生キットの準備に 集まる

2011年10月1日、エチオピア、アディスアベバにあるメガナグナの教会堂に70人以上の会員が集まり、ソマリア半島地域の干ばつの被害を受けたエチオピアの同胞たちのために、約5時間かけて5,000組の衛生キットを用意した。

このプロジェクトはエチオピアの国境内に住む人々を支援するために教会が実施している取り組みの一環である。

エチオピア、アディスアベバの会員と宣教師たちは、ソマリア半島地域の干ばつで被害を受けた人々のために5,000組の衛生キットを用意した。



写真：ロビン・オノローリ提供

指導者訓練用の ビデオライブラリー 新版が視聴可能に

改訂された『手引き第2部 教会の管理運営』の補足資料として、教会の神権部はオンラインコレクションで「指導者訓練ライブラリー」を発表した。これは手引きから主要な原則を抜粋した訓練用の短いビデオである。この新しい資料は現在 leadershiplibrary.lds.org で視聴することができる。当ライブラリーの一部は今年中に11の言語で視聴できる見込みである。

チリ、伝道活動50周年を 祝う

2011年10月に、チリは同国で教会の伝道活動が正式に開始されてから50周年を記念し、1週間にわたって祝賀行事を行った。

この記念行事はチリの地域会長会が主催したもので、祝賀のクライマックスとなる10月15日土曜日の行事で同会長会が話をした。

サンティアゴのサントラウラ・スタジアムには約2万人の会員が集まり、お話や歌、演劇、民族舞踏などにより、チリで福音が受け入れられたことと、教会の発展を祝った。■

指導者たち、11月の放送で ラテンアメリカ人の聖徒に語る

2011年11月13日日曜日、七十人のクラウドイオ・D・シビック長老とユタ州南地域の地域七十人であるゲーリー・B・ドクシー長老が、ラテンアメリカ人の会員を対象に教会が主催した *En la luz de Su amor*（「主の愛が放つ光の中で」の意味）というディボーションで話した。

スペイン語とポルトガル語を話す教会員とその友人ら数千人が、カンファレンスセンターや、北アメリカ、また中央、南アメリカの各集会所でディボーションに参加した。

過去8年間にわたって教会は、成長を続けるラテンアメリカ人聖徒のコミュニティに焦点を当て、毎年クリスマスコンサートやディボーション、演劇など、霊性を高める行事を催してきた。2011年のディボーションは、この毎年恒例のプログラムが合衆国以外の集会所に生中継される初めての試みとなった。

ホンジュラスのファーストレディー、 大管長会に接見する

2011年11月8日火曜日、ホンジュラスのファーストレディー、ロサ・エレナ・ボニージャ・デ・ロボ夫人がトーマス・S・モンソン大管長と大管長会第一顧問のヘンリー・B・アイリング管長に接見した。夫人はこの会合を「すばらしい特権」と表現した。

教会本部への訪問中、夫人はテンプルスクウェアと家族歴史図書館、カンファレンスセンター、教会人道支援センター、そしてウェルフェアスクエア（訳注：教会福祉プログラムの拠点施設）も見学した。

夫人は最近ホンジュラスで起きた恐ろしい洪水の際、教会が援助の手を差し伸べたことについて触れた。「ちょうど2週間前、皆さんは大雨と洪水の被害に遭った人々のために8万1,600トンの食糧を届けてくださいました。これは皆さんがくださった多くの事柄の一つです。」また夫人は「助けが必要な人を援助する能力や決意において、この教会には国境や限界がないことを、わたしは今、確信しています」と語った。■

2011年11月8日、ホンジュラスのファーストレディー、ロサ・エレナ・ボニージャ・デ・ロボ夫人が合衆国ユタ州ソルトレーク・シティーにある教会の施設を見学した。





今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に幾つか例を挙げます。

『リアホナ』は心温まる言葉を 届けてくれます

『リアホナ』は世界中に住む教会員に預言者の言葉を伝えてくれます。わたしは『リアホナ』を読むときに御霊を感じ、導きを受けます。自分が行うべきことが分かるよう助けてくれるのです。この機関誌に感謝しています。わたしのもとに届けられる心温まる言葉を通して、生活を変えてくれるからです。

マリアナ・ダ・グラサ・アウグスト
(モザンビーク)

わたしを強め、 新たに生まれ変わらせてくれる メッセージ

わたしは『リアホナ』を読むのが大好きです。生ける預言者のメッセージについて深く考えるとき、証が強められ、新たに生まれ変わります。これらのメッセージは啓示であって天の御父の御心であることを聖霊が証してください。神はこの時代にわたしたちを導くために、預言者を召されたことを知っています。

ジェームズ・ラッセル・クルス (フィリピン)

救助に向かう

トーマス・S・モンソン大管長が全聖徒に向けて語った、教会にあまり活発でなくなった会員の救助に向かうようにとの勧告に胸打たれました。預言者のメッセージを通して聖霊の影響を感じました。

ギエルモ・バスケス・オカンボ

ご意見、ご感想を liahona@ldschurch.org に
お送りください。掲載されるお手紙は、紙面
の都合上、あるいは明瞭な表現にするために
編集されることがあります。■

「今日われ善きことせしか」14 ページ——
「感謝を神に捧げん」(『賛美歌』11 番) を歌って
開会するとよいでしょう。一緒に記事を読む
か、あらかじめ選んだ自分の好きな箇所を読み
ましょう。トーマス・S・モンソン大管長につ
いて学んだことを家族に尋ねます。モンソン大
管長が生ける預言者であるという証を書くた
めに、皆に鉛筆と紙を配ります。心からの祈り
によりこの証をさらに強めるよう家族に勧めま
しょう。「今日われ善きことせしか」(『賛美歌』
137 番) を歌って開会するのもよいでしょう。

「全世界で索引作成を」34 ページ——
あらかじめ記事を読みます。家庭の夕べの
間、なぜファミリーサーチの索引を作成する
ことが家族歴史活動で重要なのか、なぜより
多くの索引作成者が求められているのかにつ
いて説明してください。自宅でコンピュー
ターとインターネットの利用が可能ならば、
indexingfamilysearch.org にログオンしま
しょう。家族の中で索引を作成したことがない
人のためにアカウントを作成し、少しの間一緒に
索引作りを試みましょう。

「預言者に従う」42 ページ—— 家族のた
めにこの記事に要約してください。「預言者の

言葉に耳を傾けることを学ぶ」の項から最後の
部分まで一緒に読むとよいでしょう。預言者
から与えられた指示を見分けるのに役立つと
ベネット長老が述べている言葉について復習し
てください。来月の総大会でそれらの言葉を探
しながら話を聞くよう家族に勧めてください。
預言者に従うことについてあなたの証を述べて
閉会するとよいでしょう。

「独りでも孤独ではない」54 ページ——
まず初めに主の標準に従って生活しようと努力
するときに独りぼっちだと感じたことがあるか
家族に尋ねてください。このような気持ちに、
家族はどのように立ち向かっているでしょうか。
フアン・カブレラの物語を分かち合います。
ほかの人たちが戒めに従わない中でどのように
戒めを守ってきたか、またそのような従順に
対して受けた祝福について話すようだれかに
頼むのもよいでしょう。

「今すぐ決意する」66 ページ—— 記事
を読んだ後で、子供たちと一緒に「『はい』それ
も『いいえ』?」にある質問に答えましょう。そ
の後で、善か悪かを選ばなければならないその
他の事例について考え、それぞれの状況の中で
どうするかを尋ねてください。■

託児の手引きから受けた靈感

わたしが最もよく覚えている家庭の夕べは託児の手引きで紹介されている活動によって始まり
ました。幼い娘たちと一緒に、夫とわたしは活動で用いる歌詞に合わせて演じました。そして次の
箇所を読みました。「とつても、とつても背が高い人を、天のお父様は愛される。とつても、とつ
ても、背が低い人を、天のお父様は愛される。高い人も、低い人も、高い人も、低い人も、天のお父様
は、みんなを愛される。」歌詞を読みながらわたしたちはしゃがんだり、背伸びしたりしました。
そして、どのような姿形であっても、天の御父はわたしたちを愛しておられることを強調しました。
(『あなたがたの幼い子供たちを見なさい』(2008 年), 9 ページ参照)

それから娘たちと夫がフルーツタルトを取りに行ってくれたので、皆で食べました。娘たちはこ
の活動が大変気に入ったので、その週の間中「大きいー小さい」の活動を何度もやりたがりました。

家庭の夕べのすばらしさはその柔軟性です。幼い子供がいるので、我が家の家庭の夕べはたい
てい、短く簡単なものですが、娘たちに愛や親切、一緒に祈ることなどの基本的な原則を教える
ように努めています。■

バレンティナ・ポルトラン・シモノビッチ (イタリア)

たゆまず前進する

ミッシェル・グエツラ

何度か恋愛の痛手を経験したわたしは、姉のところに入り浸るようになりました。そのうちわたしたちはご多分にもれず、スナック菓子を食べてはテレビを見て、惰眠をむさぼるという生活に陥っていきました。ところがあるとき、眠りから覚めたわたしは「わたしたちこんなことしては、お互いにとって良くないと思うわ」と思わず口走りました。そのときは二人で笑い飛ばしただけでした。しかしその晩わたしは、自分が姉をまるで寒さをしのぐ毛布のように利用していることに気づいたことを天の御父に感謝しました。そして自分の人生を切り開くにはどうすればよいかさらによく理解できるようにとお祈りしたのです。その後数か月して祈りの答えが与えられ、一つずつ大切なことが分かってきました。

翌日扶助協会の集会に出席したわたしは、一つの聖句に目が留まりました。「悪魔はほかの人々をなだめ、彼らを欺いて現世での安全を確信させるので、彼らは、『シオンの中では、すべてが良い。まことに、シオンは栄えており、すべてが良い』と言う。……したがって、シオンでのんきに暮らす者は、災いである。」(2 ニーファイ 28:21, 24) わたしはそれまでこの聖句を読む度に、これは型どおりの礼拝に満足している高慢な人を表していると思っていました。姉のところで時間をも持て余していた自分が、シオンでのんきに暮らす者の一人であるとは思ってもいなかったのです。しかし、自分が癒^{いや}してではなく安楽な生活を求めていることに気づき始めました。そのときから、ぬくぬくとした環境から抜け出すために頑張ろうと決心したのです。

そう決心したことはよかったです。ぬるま湯の中から抜け出そうとすればするほど、自分の至らなさばかりが目につき、自分に対してますます厳しい目を向けるようになりました。その気持ちを友人の一人に打ち明けると、「自分自身を



わたしは
打ち砕かれた心を
癒^{いや}す方法が
分かるように
お祈りしました。
するともう一つ
別の意味の
打ち砕かれた心があることが
少しずつ
分かってきました。

ゆる^{ゆる}赦すこともとても大切なんじゃないかな」という言葉が返ってきました。その友人の助言のおかげで「シオンでのんきに暮らす者」のように自己満足にとどまることなく、かつ自分の短所を今以上に赦せる人間になりたいと思うようになりました。

ある日わたしは、モルモン書第2章13節から14節にかけての次の聖句に強く心を打たれました。「彼らの悲しみは、神の慈^{いつく}しみを思って悔い改めに至るものではなかった。それはむしろ、彼らに罪のあるままで幸福になるのを主がいつでも許そうとなさらないことに対する悲しみであり、罰の定めを受ける者の悲しみと同じであった。彼らは、打ち砕かれた心と悔いる霊をもってイエスのもつて来ることをせず……。」失望感^{失望感}は個人の成長の妨げになることが分かりました。そして、どのように悲しむのがふさわしいかをじっくり考えるようになったのです。その答えは日曜学校の中で与えられました。

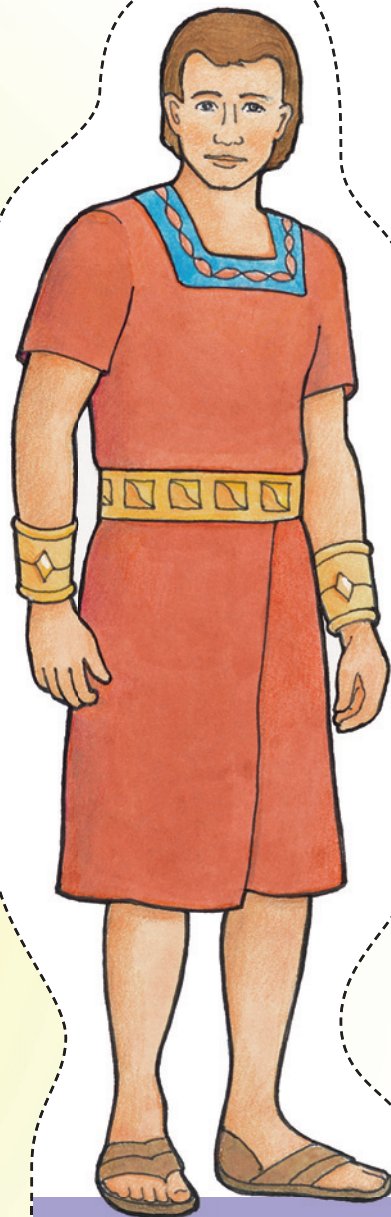
教師が黒板に1本の線を描き、一方の端に「自分に必要以上に厳しくする」、もう一方の端に「飲み食いして浮かれる」と書きました。皆で、両極端に陥らないようにするにはどうすればよいかを話し合いました。その線の中央にはどのような言葉が入るだろうと思いました。すると御霊^{みたま}の導きによってわたしの心に「打ち砕かれた心と悔いる霊」という言葉が浮かんできました。わたしにとって、自分に厳しすぎる傾向への解決策は、悔いる霊、すなわち主の助けを受け入れて悔い改め、主の憐^{あわ}れみに感謝する心を持つことではないかと思いました。また、シオンでのんきに暮らすことの治療薬は、打ち砕かれた心、すなわちそれまでの生き方を変えて立ち直ろうと思いつき持ちではないかと思ったのです。

救い主は「あなたがたは打ち砕かれた心と悔いる霊を、犠牲としてわたしにささげなさい」と諭しておられます(3 ニーファイ 9:20)。シオンでのんきに暮らす者にならないために、また自分に厳しくなりすぎないために主の助けを求めるときに、わたしは主の御心^{みこころ}にかなった犠牲をささげているのです。それは、前向きな人生を送るために助けとなる犠牲です。そのことを理解できたことに心から感謝しています。■

今 年の『リアホナ』には
 モルモン書に とうじょうする
 じんぶつなどの
 絵の セットが たくさん もりこまれます。
 じょうぶで つかいやすくするために、
 それぞれの 絵を きりぬき、
 ポール紙や あつ紙、 小さな 紙ぶくろ、
 または 工作用の ぼうに、
 のりか テープで はってください。
 ふうとうや ふくろに
 それを セットにして しまっておきましょう。
 そのとき、その じんぶつなどが
 モルモン書の どこに 出てくるか
 わかるように ラベルを はっておくと
 よいでしょう。



アビナダイ



アルマ



ノア王と さいしたち

アビナダイと ノア王
 モーサヤ書 だい 11 - 17 しょう



モンソン大管長が言うように、組織がその長について行く影のようなものだとするならば、一人一人を元気づけ、励まし、引きつけ、仲間に入れ、助けようという望みを持つことは、末日聖徒一人一人に下された至上命令です。このような生き方は、「神が共におられるので、よい働きをしながら、……巡回され[た]」救い主の模範を体現しています（使徒10:38）。預言者と、彼の助けの手を差し伸べるといふ才能をさらに知るには、ハイディ・S・スウイントンの「今日われ善きことせしか——トーマス・S・モンソン大管長の半生」14ページを参照してください。

JAPANESE



10483 300

1